LIXIL

テグラン　門袖 B型 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●シーリング材（変成シリコーン系指定、例：セメダインPOSシール、コニシボンド変成シリコンコーク）は、現場手配してください。

ポイント

●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。

＜施工上のご注意＞

注意

●施工工事の担当範囲に未施工箇所がないことを十分に確認したうえで、取付説明書を次行程の担当者に渡してください。
●ボルト, ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
・φ4ネジ：1.5N･m
・φ5ネジ：3.0N･m

＜施工上のご注意　つづき＞

ポイント

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

＜基礎工事についてのご注意＞

注 意

●基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
●養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

ポイント

●モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

＜仕上げ材（タイル）施工のご注意＞

警 告

●モルタルにてタイル張りする「モルタル張り工法」は絶対に行なわないでください。はく離や脱落してケガに至るおそれがあります。またヒビ割れが発生することにより、躯体内部に雨水が浸入して躯体を劣化させるおそれがあります。

注 意

●本工事は、専用乾式下地に専用タイルを専用接着剤で張付ける「接着剤張り工法」を採用しています。この工法以外では仕上げ材施工を行なわないでください。
●取付説明書の順序通りに施工してください。所定の性能が得られないだけでなく、はく離や脱落してケガに至る場合があります。

ポイント

●正しく施工していただくため、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●施工にあたっては、必ず使用する材料に付属する注意書きや取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。

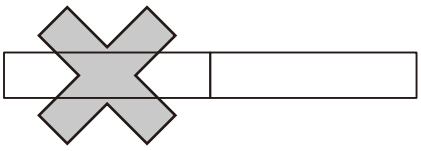
INDEX

1　施工前の重要確認事項…… 4
　1. テグラン門袖の施工条件…… 4
2　梱包明細表…… 4
3　各部の名称と基本寸法…… 8
　1. 各部の名称…… 8
　2. 基本寸法…… 10
　3. 基礎寸法…… 11
4　基礎工事…… 11
5　本体の施工…… 12
　1. ベースプレートの取付け オプション …… 12
　2. 巾木の取付け…… 14
　3. 巾木延長部材の取付け オプション …… 15
　4. 本体ユニットの建込み、基礎の施工…… 16
　5. 門柱の取付け、基礎の施工…… 17
　6. ポストの取付け…… 18
　7. 調整金具の取付け…… 20
　8. 片開き受け部材の取付け…… 26
　9. サイン・LEDブラケット・インターホンの取付け…… 27
　10. 笠木の取付け…… 32
6　仕上げの施工:タイル仕上げ…… 34
　1. 梱包明細表…… 34
　2. 施工フロー…… 36
　3. 施工面の確認…… 36
　4. ジョイントテープの貼付け…… 37
　5. タイルの割付確認…… 38
　6. タイルの張付け…… 38
　7. 目地詰め…… 43
　8. 点検・仕上げ…… 44
　9. タイル割付図…… 45
7　仕上げの施工:塗り仕上げ…… 54
8　門扉の吊込み…… 56

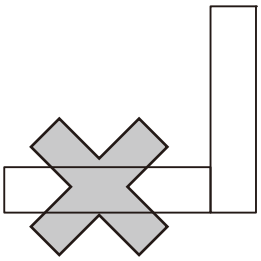
1　施工前の重要確認事項 ※施工時には下記の事項を厳守してください。

1. テグラン門袖の施工条件 ※下記に示す場合は、施工できません。

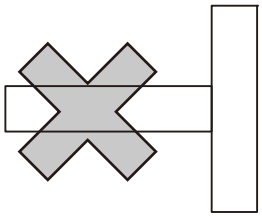
1-1　直線接続



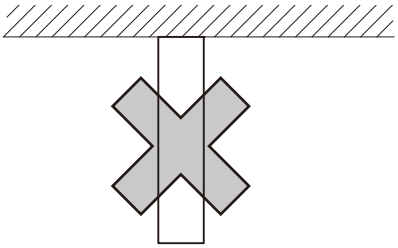
1-2　L接続



1-3　T接続

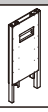


1-4　躯体（住宅）接続



2　梱包明細表

【1】ユニットB　本体セット

名　　称	略　図	員　数					
		1Bポスト			2Bポスト		
		右吊元	左吊元	独立	右吊元	左吊元	独立
ユニットB		1	1	1	1	1	1
取扱説明書<UB013>	−	1	1	1	1	1	1
取付説明書<B078>	−	1	1	1	1	1	1

【2】ポストカバーセット

名　　称	略　図	員　数			
		1Bポスト		2Bポスト	
		右吊元	左吊元	右吊元	左吊元
ポストカバー正面		1	1	1	1
ポストカバー側面		1	1	1	1
ポストカバーコーナーキャップ		1	1	1	1
ポストカバー端部キャップ		2	2	2	2
ポストカバー台座		3	3	3	3
ポスト投入口カバー		1	1	1	1
ポスト投入口カバー用クッション材		2	2	2	2
笠木30		1	1	1	1
笠木ベース		1	1	1	1
笠木30　端部キャップ		2	2	2	2
巾木B		2	2	2	2
巾木B　端部用		1	1	1	1
端部巾木		1	1	1	1
通気キャップ		2	2	2	2
【2-1】φ4×30ナベドリルネジ		6	6	6	6
【2-2】φ4×13ナベドリルネジ		10	10	10	10
【2-3】φ4×16特サラドリルネジ		8	8	8	8
【2-4】φ4×20ナベタッピンネジ2種		8	8	8	8
【2-5】φ4×12トラスタッピンネジ3種		6	6	6	6

【3】エクスポスト S-3型

名　称	略　図	員　数	
		1Bポスト	2Bポスト
ポスト本体 1B05		1	ー
ポスト本体 2B05		ー	1

【4】調整金具カバーセット

名　称	略　図	員数
調整金具カバー		1
調整金具切欠きカバー		2
門柱カバー端部キャップ		左右各1
【4-1】φ4×13ナベドリルネジ		4

【5】調整金具セット

名　称	略　図	員数
調整金具本体		2
シャフト用ワッシャー		2
【5-1】M5×12トラス小ネジ D=10		8

【6】調整金具ピースカバー 下地セット

名　称	略　図	員数
ピースカバー用下地		1
ピースカバー下地用キャップ		1
【6-1】φ4×25ナベドリルネジ		9
【6-2】φ4×15サラタッピンネジ2種		2

【7】調整金具ピースカバー カバーセット

名　称	略　図	員数
調整金具ピースカバー		2
調整金具ピースカバー受け		2
【7-1】φ4×13ナベドリルネジ		8

【8】調整金具取付部品

名　称	略　図	員数
調整金具施工治具		1
【8-1】φ5×12トラスタッピンネジ3種 D=10		8

【9】120角門柱セット

名　称	略　図	員数
120角門柱		1
巾木120角用		1
【9-1】φ4×13ナベドリルネジ		1

【10】調整金具ピースカバー 120角門柱用 下地セット

名　称	略　図	員数
ピースカバー用下地		1
ピースカバー下地用キャップ		1
【10-1】φ4×25ナベドリルネジ		9
【10-2】φ4×15サラタッピンネジ2種		2

【11】調整金具ピースカバー 120角門柱用 カバーセット

名　称	略　図	員数
調整金具ピースカバー		2
調整金具ピースカバー受け		2
【11-1】φ4×13ナベドリルネジ		8

【12】笠木30セット 120角門柱用

名　称	略　図	員数
笠木30		1
笠木ベース		1
【12-1】φ4×15ナベタッピンネジ2種		2

【13】笠木30端部キャップセット 120角門柱用

名　称	略　図	員数
笠木30 端部キャップ		2

B078_201405A

【14】LED笠木照明セット

名　　称	略　図	員数
LED笠木照明ユニット		1
LEDユニット 固定金具		2
【14-1】φ4×8トラスタッピンねじ3種 D=8		2

【15】サイン・照明取付セット

名　　称	略　図	員数
【15-1】φ4×40 ナベタッピンネジ1種		4
【15-2】φ5×40 ナベタッピンネジ1種		4
【15-3】30フィッシャープラグ S6		4
【15-4】40フィッシャープラグ S8		4

【16】ベースプレート　90角用

名　　称	略　図	員数
ベースプレートスリーブ90角用		1
ベースプレート		1
【16-1】六角ボルトM10×25		4
【16-2】φ4×16ナベドリルネジ		4
【16-3】φ5×55サラタッピンネジ2種		4
【16-4】グリップアンカー		4
【16-5】M10バネ座金		4
【16-6】M10平座金		4

【17】ベースプレート　50×90用

名　　称	略　図	員数
ベースプレートスリーブ50×90用		1
ベースプレート		1
【17-1】六角ボルトM10×25		4
【17-2】φ4×16ナベドリルネジ		4
【17-3】φ5×55サラタッピンネジ2種		4
【17-4】グリップアンカー		4
【17-5】M10バネ座金		4
【17-6】M10平座金		4

【18】ベースプレート　120角門柱用

名　　称	略　図	員数
ベースプレートスリーブ120角門柱用		1
ベースプレート		1
【18-1】六角ボルトM10×25		4
【18-2】φ4×16ナベドリルネジ		4
【18-3】φ5×55サラタッピンネジ2種		4
【18-4】グリップアンカー		4
【18-5】M10バネ座金		4
【18-6】M10平座金		4

【19】延長用巾木セット

名　　称	略　図	員数
巾木延長部材		1
【19-1】φ4×13ナベドリルネジ		5

【20】片開き受け部材セット

名　　称	略　図	員数
片開き受け部材		1
錠受け部材		1
片受け部材上下キャップ（上）		1
片受け部材上下キャップ（下）		1
受け部材カバー		1
【20-1】φ4×10トラスタッピンネジ3種		2
【20-2】φ4×19ナベドリルネジ		8
【20-3】φ5×30サラタッピンネジ3種		2

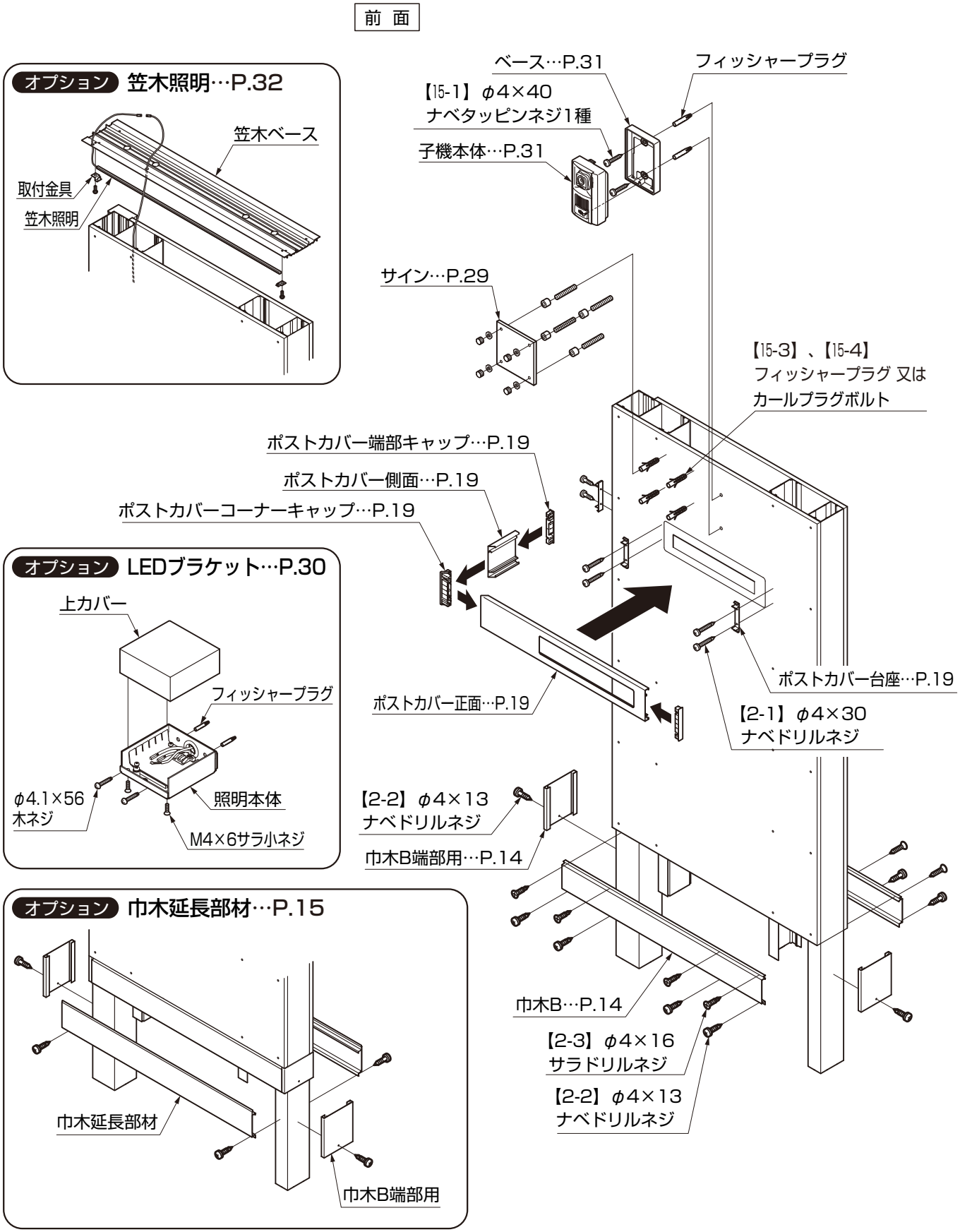
【21】小口シーラー（VKSY2）（※）

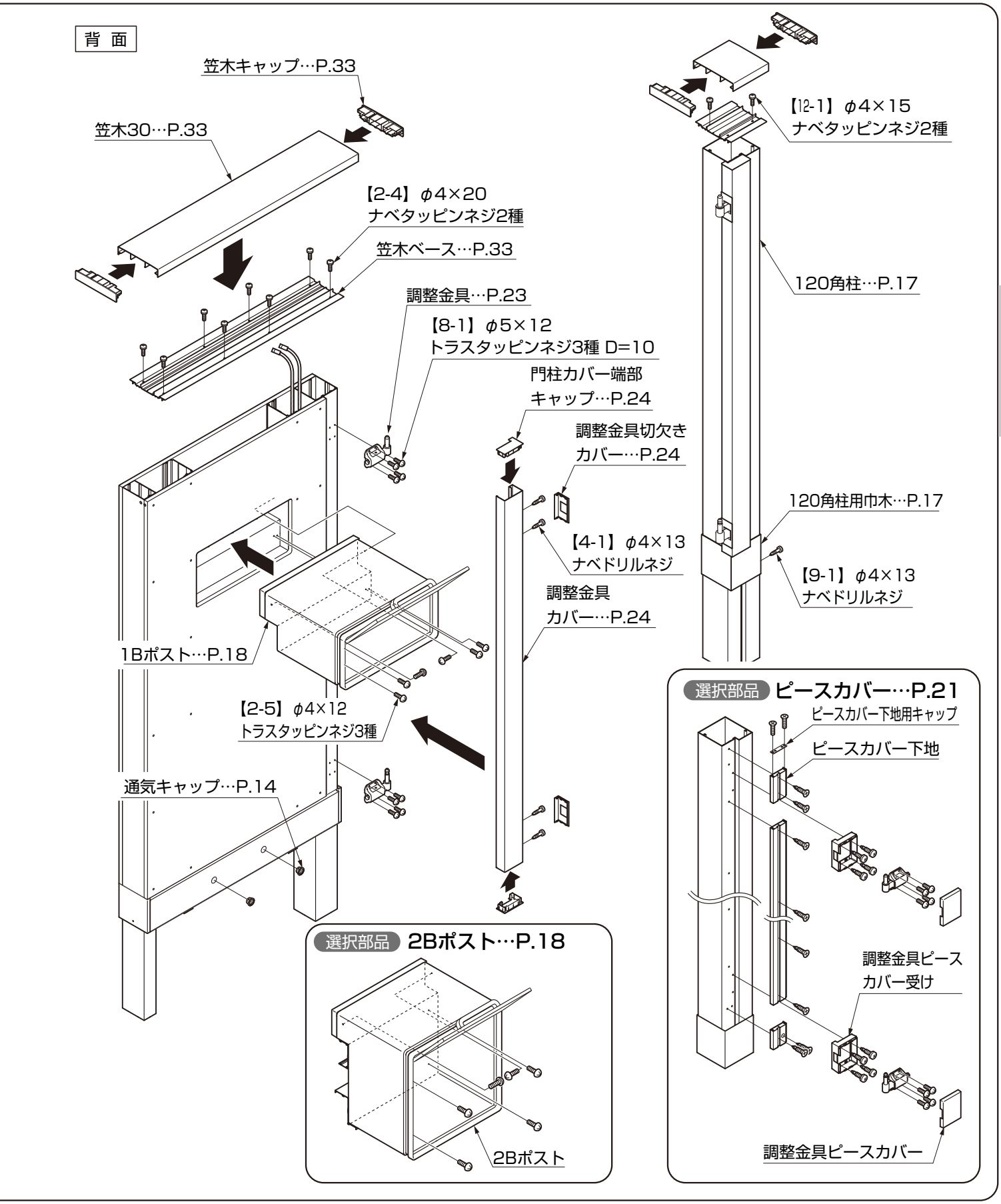
名　　称	略　図	員数
小口シーラー（VKSY2）		1

※下地ボードを現場切断した場合は、かならず切断面に塗付してください。

3　各部の名称と基本寸法

1. 各部の名称

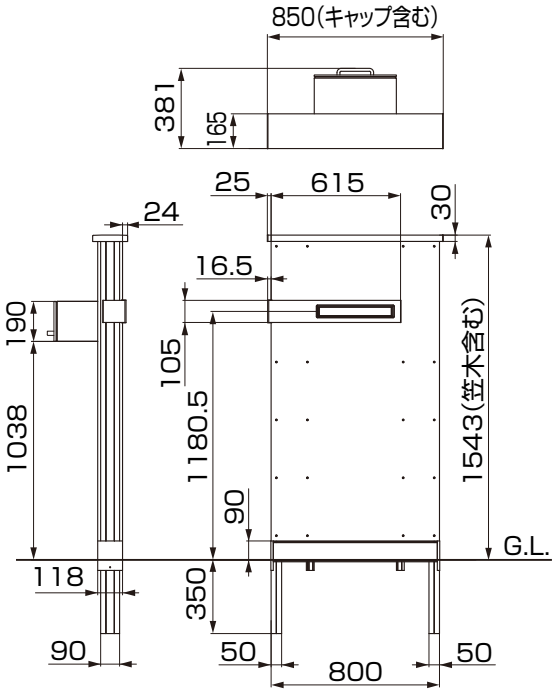



背 面
笠木キャップ…P.33
笠木30…P.33
【2-4】φ4×20
ナベタッピンネジ2種
笠木ベース…P.33
調整金具…P.23
【8-1】φ5×12
トラスタッピンネジ3種 D=10
門柱カバー端部
キャップ…P.24
調整金具切欠き
カバー…P.24
【4-1】φ4×13
ナベドリルネジ
調整金具
カバー…P.24
1Bポスト…P.18
【2-5】φ4×12
トラスタッピンネジ3種
通気キャップ…P.14
【12-1】φ4×15
ナベタッピンネジ2種
120角柱…P.17
120角柱用巾木…P.17
【9-1】φ4×13
ナベドリルネジ
選択部品 2Bポスト…P.18
2Bポスト
選択部品 ピースカバー…P.21
ピースカバー下地用キャップ
ピースカバー下地
調整金具ピース
カバー受け
調整金具ピースカバー

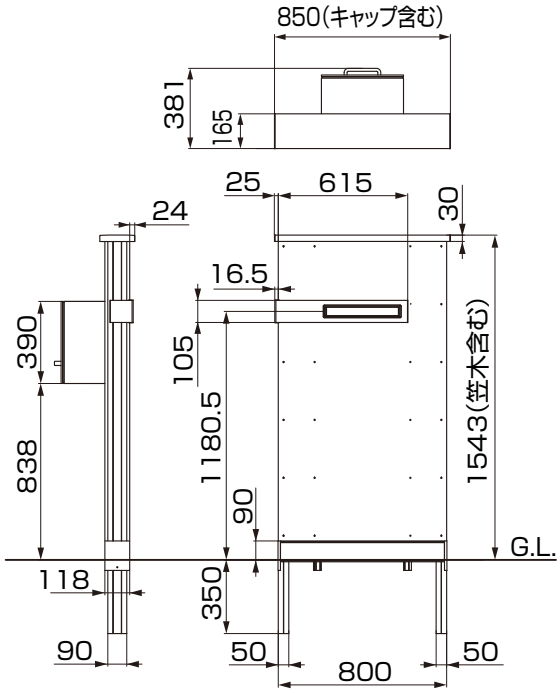
2. 基本寸法

1-1 独立仕様

(1)1Bポスト

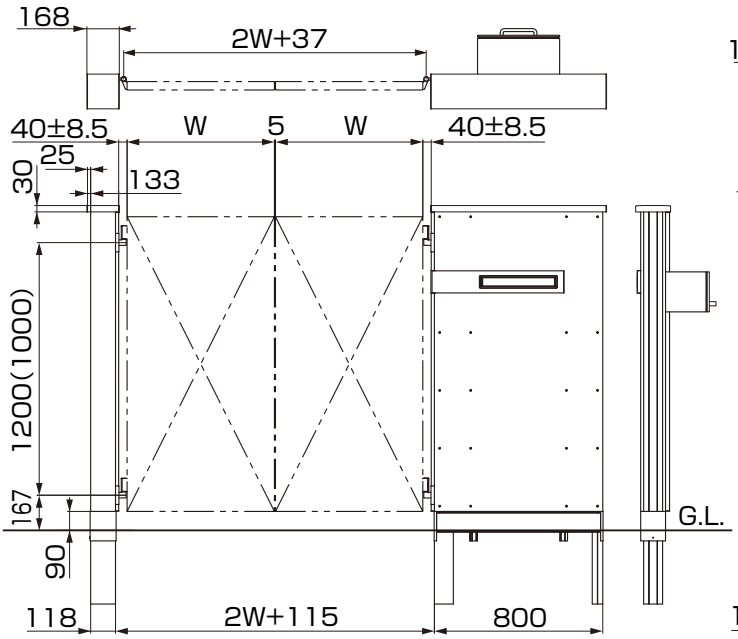


(2)2Bポスト

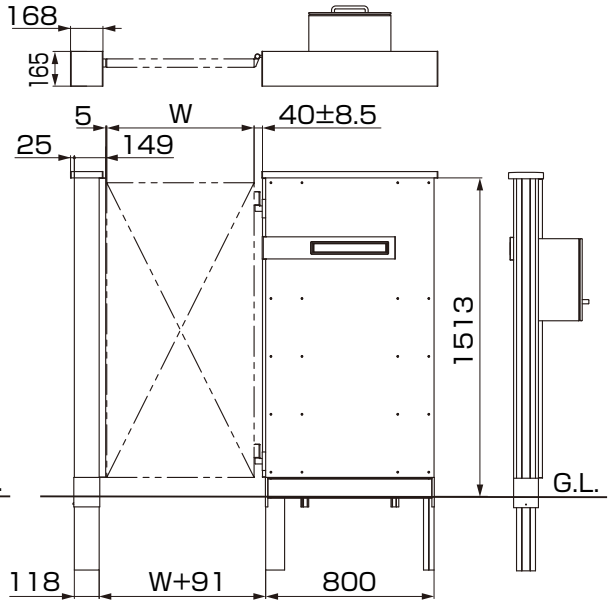


1-2 門柱仕様 ※Wの寸法は取付ける内扉に添付の取付説明書を確認してください。

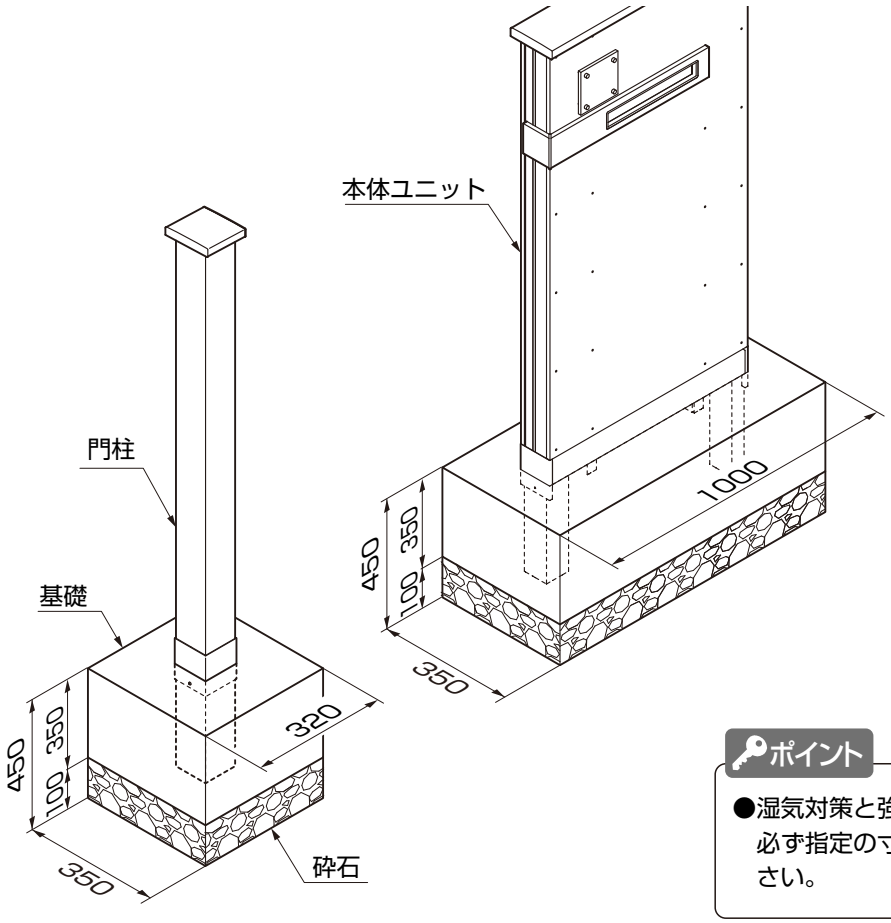
(1)両開き



(2)片開き



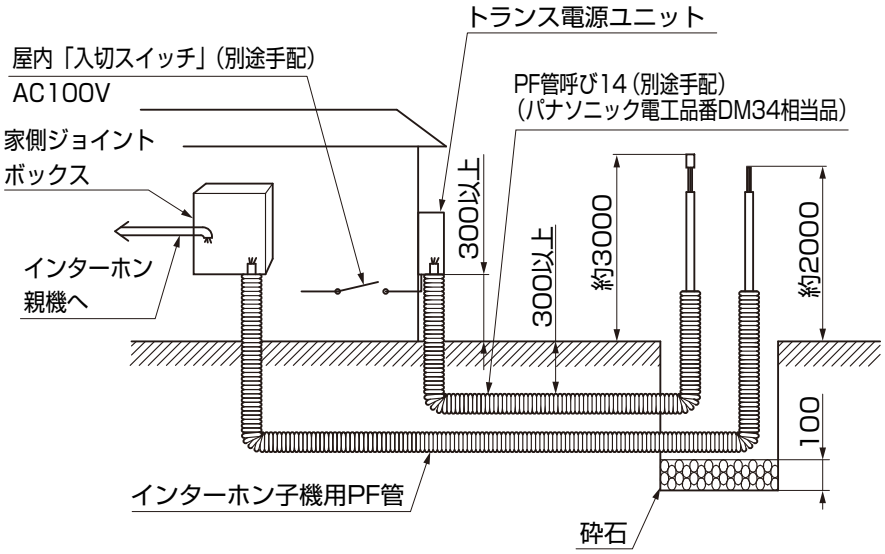
3. 基礎寸法



ポイント

●湿気対策と強度保持のため、基礎は必ず指定の寸法以上で施工してください。

4　基礎工事



①基礎穴を掘り、砕石を敷いてください。

ポイント

●配管はG.L.より100mm程度立上げ、パテ埋めなどの処理を施してください。
●照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
●屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際、夜間照明を消灯したい場合に電源をOFFにできなくなります。

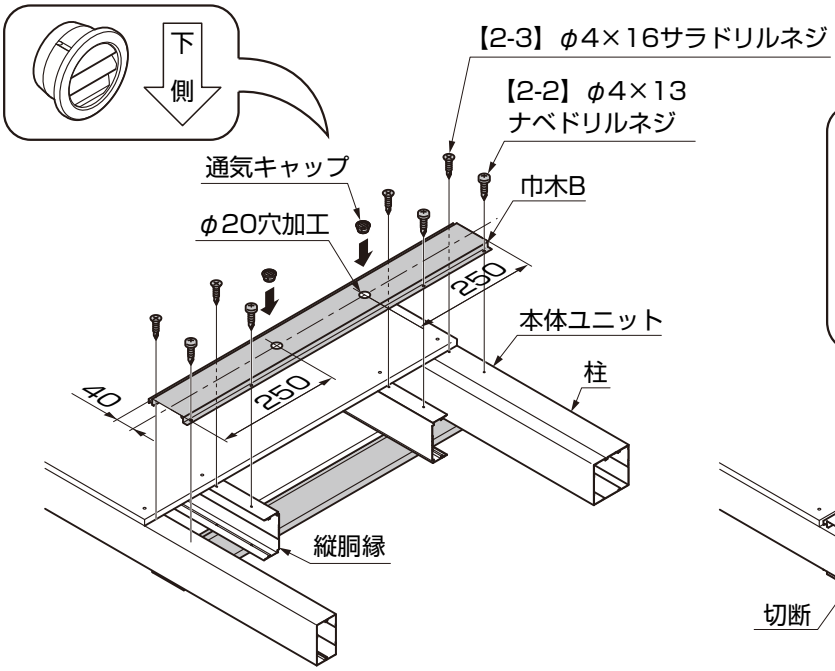
②照明およびインターホン子機用の配線配管をしてください。

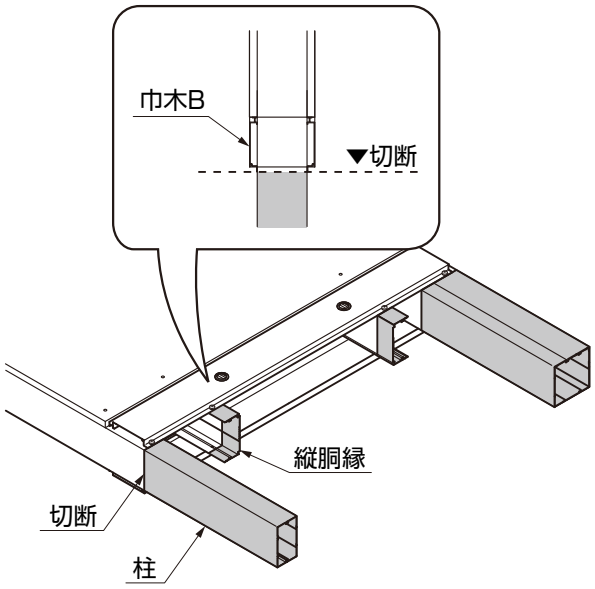
5　本体の施工

1. ベースプレートの取付け　オプション

※ベースプレートを使用して柱を埋込む場合の作業です。

1-1　巾木Bの取付け

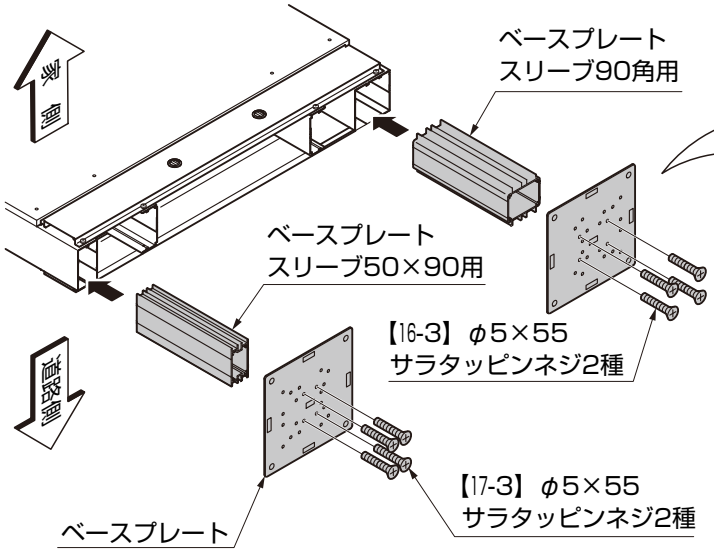




①家側の巾木Bにφ20穴加工をし、通気キャップをはめ込んでください。
②巾木Bを本体ユニットの柱と縦胴縁に【2-2】、【2-3】で取付けてください。

③柱と縦胴縁を切断してください。

1-2　ベースプレート取付け



①ベースプレートスリーブとベースプレートを【16-3】、【17-3】で固定してください。
②ベースプレートスリーブを本体ユニットの柱に挿入してください。

ポイント

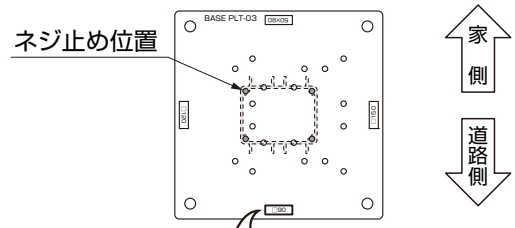


図5-1 90角用

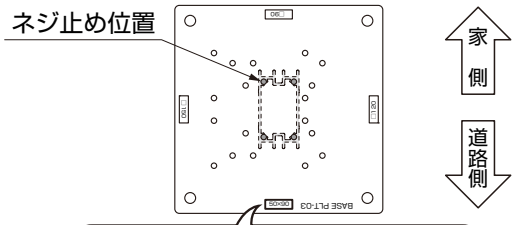
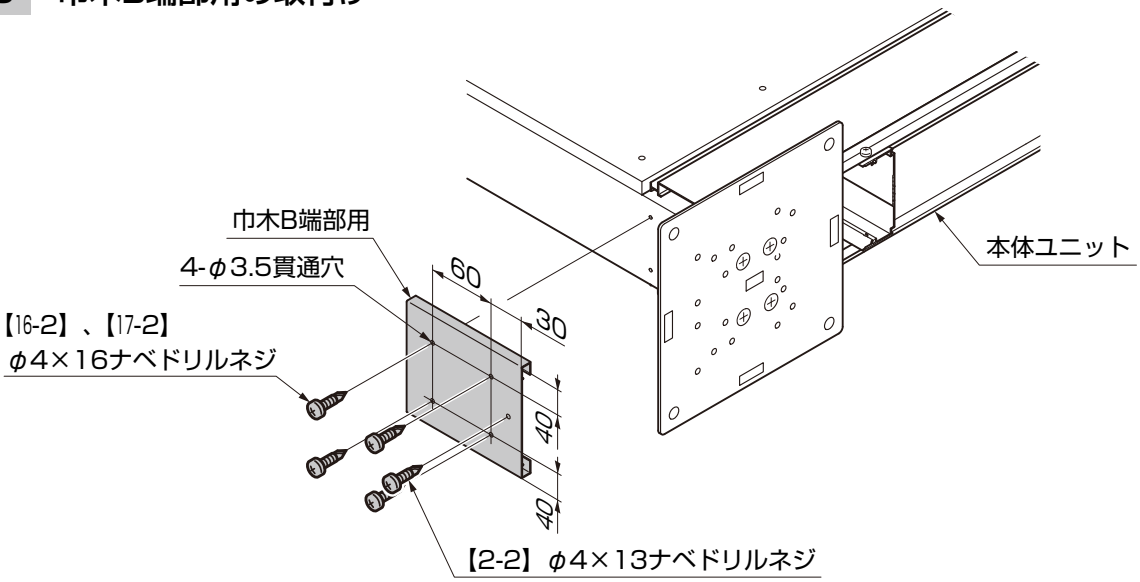


図5-2 50×90角用

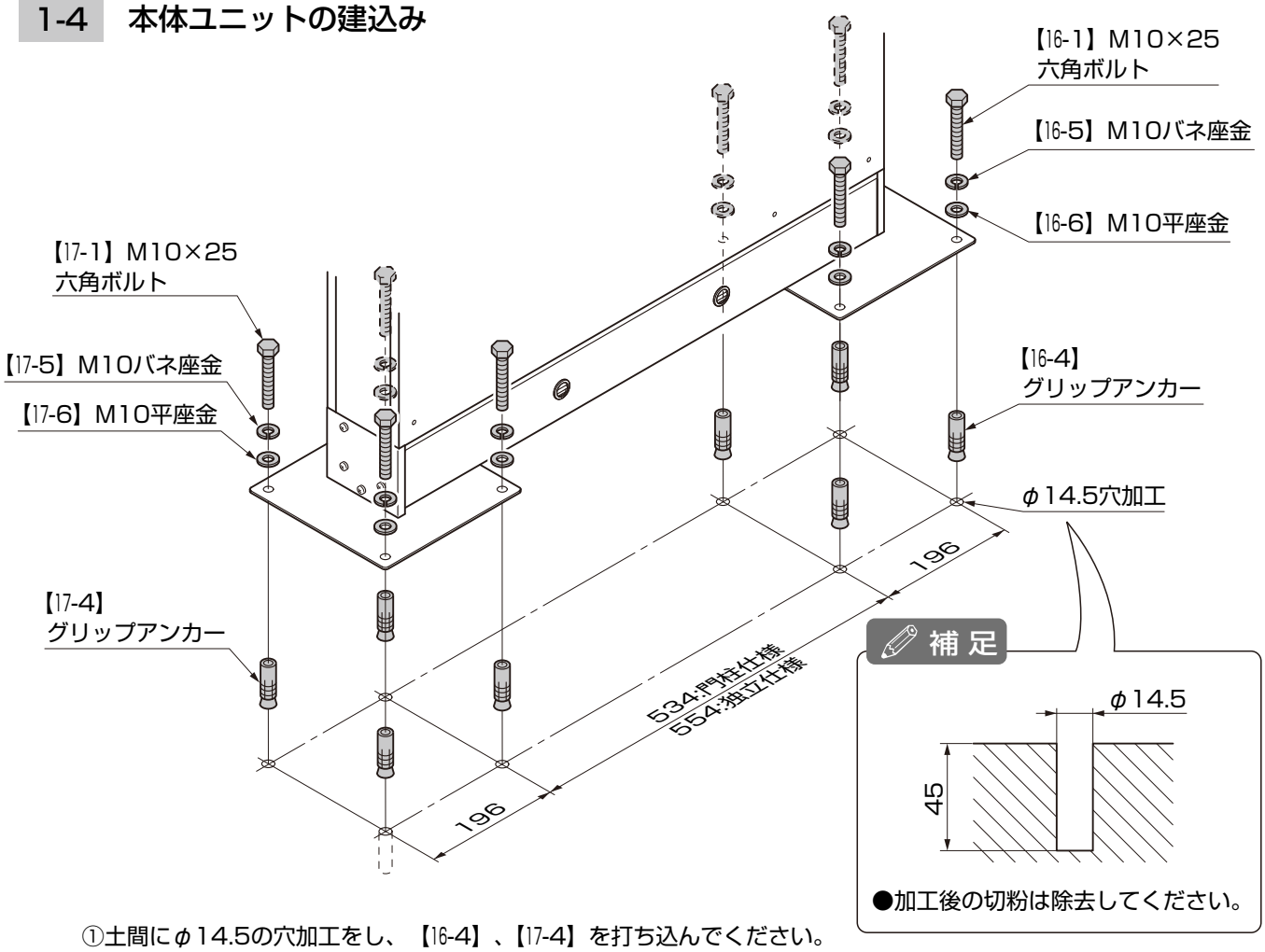
●取付ける向きを間違えないでください。

1-3　巾木B端部用の取付け



①巾木B端部用を柱にあてがいφ3.5の貫通穴をあけてください。
②巾木B端部用を柱に【2-2】、【16-2】、【17-2】で取付けてください。

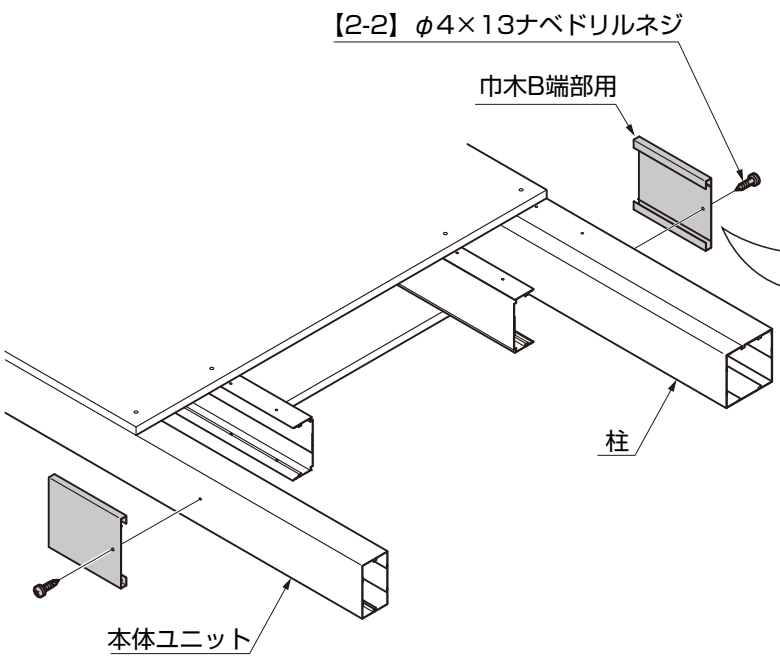
1-4　本体ユニットの建込み

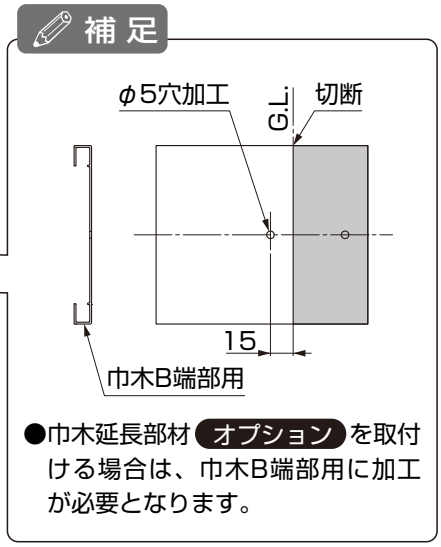


①土間にφ14.5の穴加工をし、【16-4】、【17-4】を打ち込んでください。
②本体ユニットを土間に【16-1】、【16-5】、【16-6】、【17-1】、【17-5】、【17-6】で取付けてください。

2. 巾木の取付け

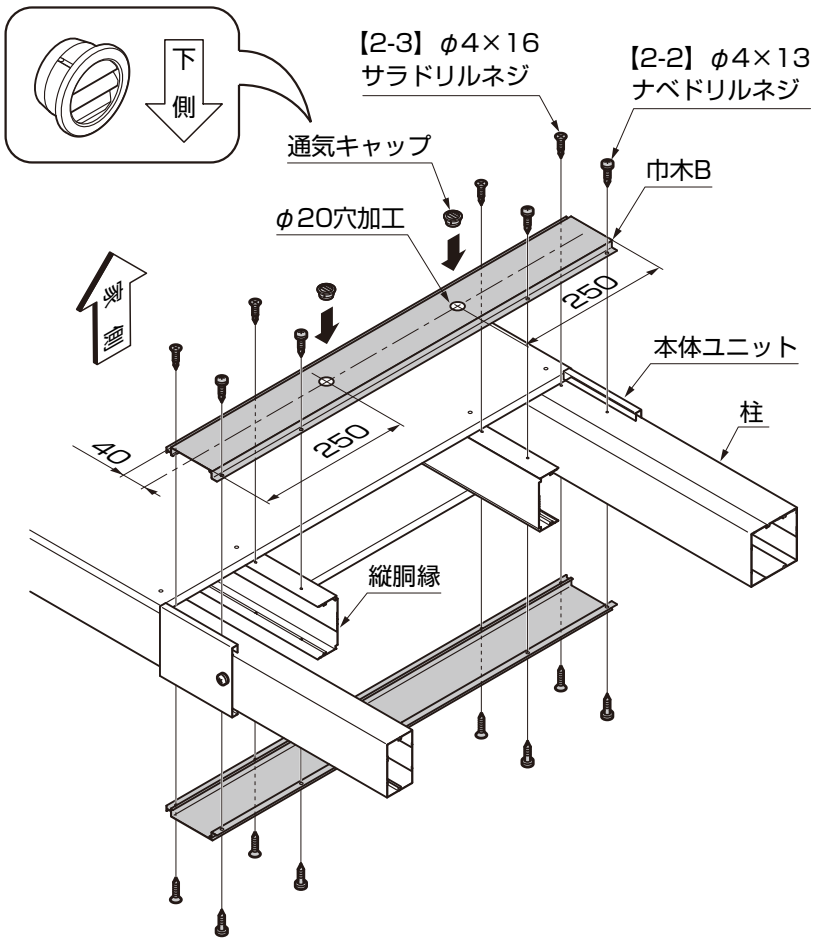
2-1 巾木B 端部用の取付け





①巾木B端部用を本体ユニットの柱に【2-2】で取付けてください。

2-2 巾木Bの取付け



①家側の巾木Bにφ20穴加工をし、通気キャップの向きを確認してはめ込んでください。

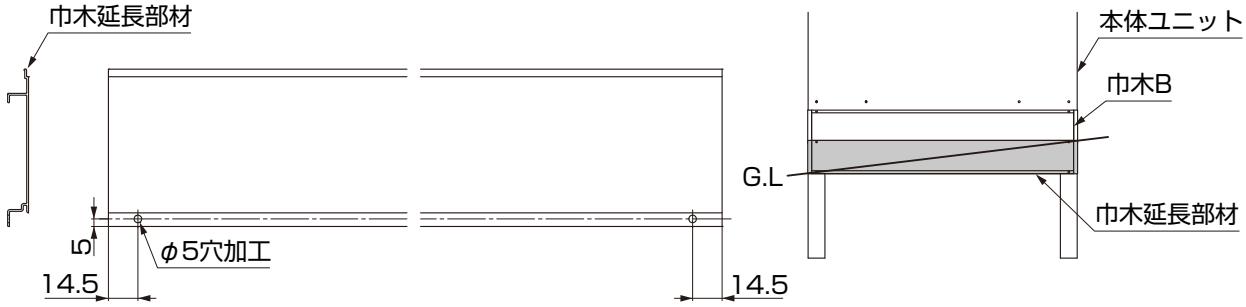
注 意

●通気穴を加工しないと、結露などで下地ボードがダメージを受け、タイルや塗材がはく離するおそれがあります。

②巾木Bを本体ユニットの柱と縦胴縁に【2-2】、【2-3】で取付けてください。

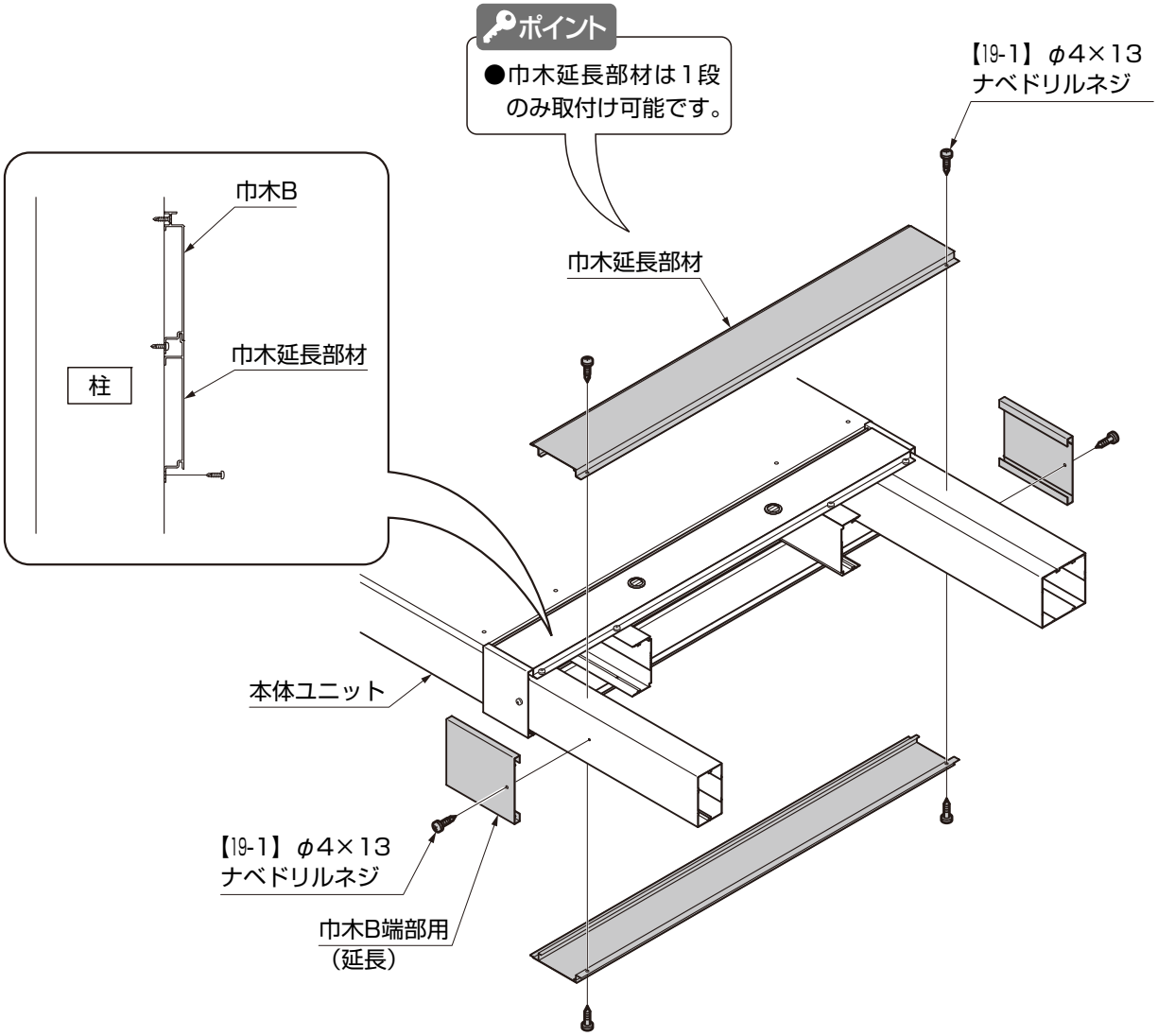
3. 巾木延長部材の取付け オプション

3-1 部材の加工



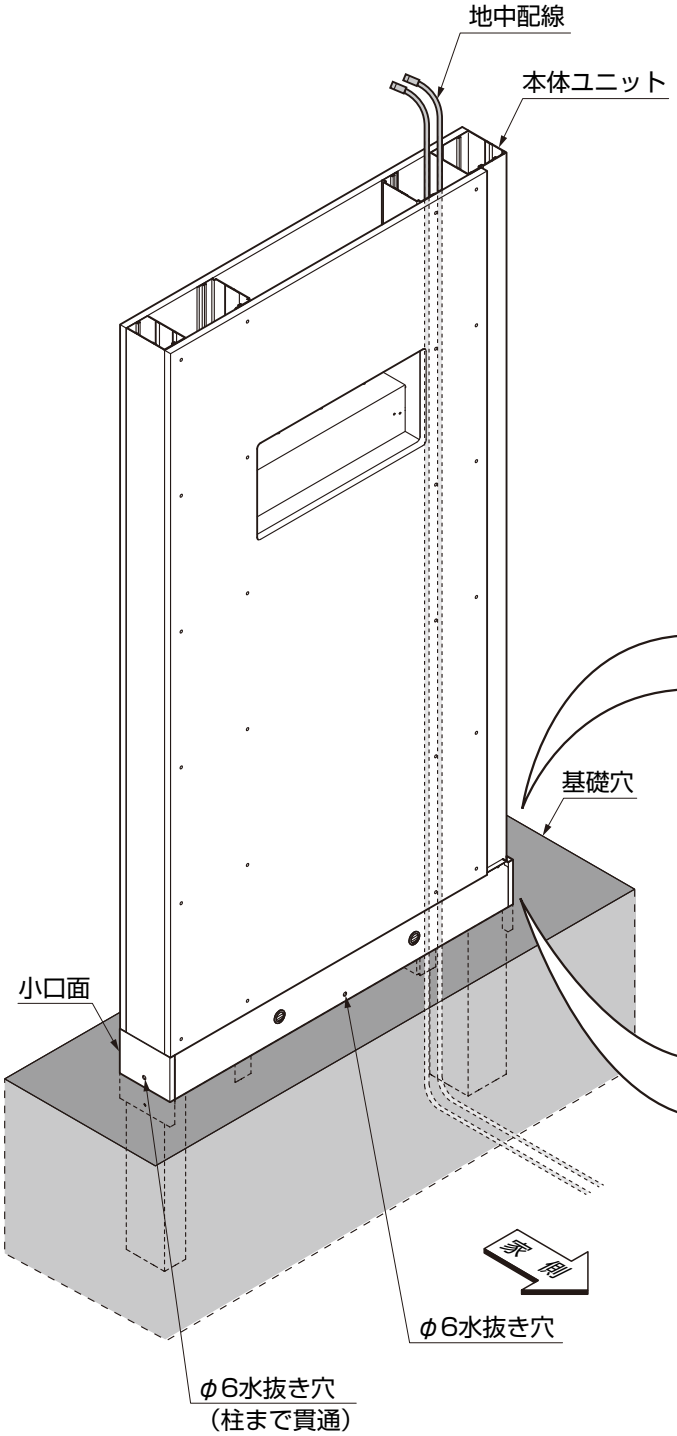
①巾木Bに合わせて、巾木延長部材を加工してください。

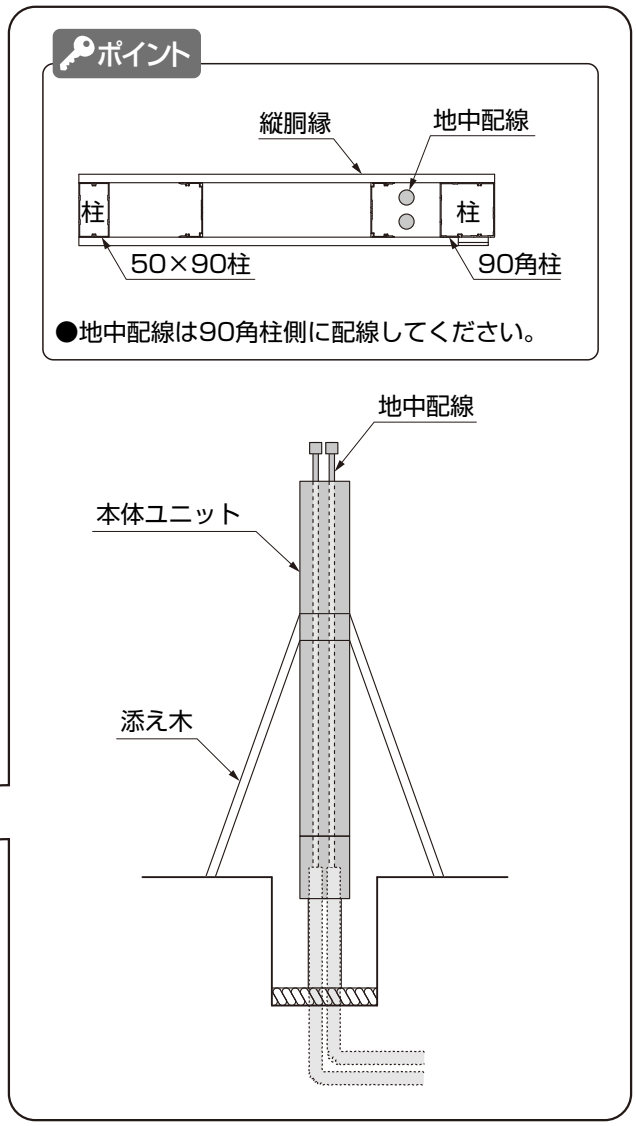
3-2 巾木延長部材の取付け

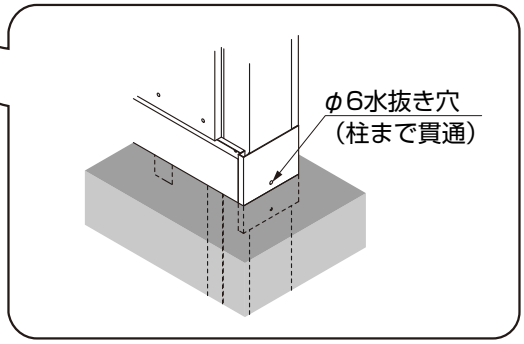


①巾木B端部用を本体ユニットに【19-1】で取付けてください。
②巾木延長部材を本体ユニットに【19-1】で取付けてください。

4. 本体ユニットの建込み、基礎の施工



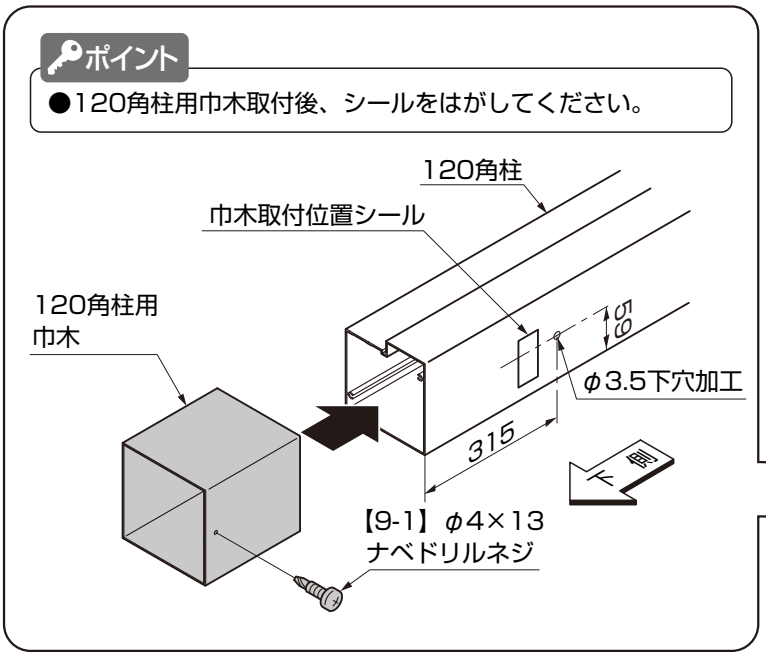


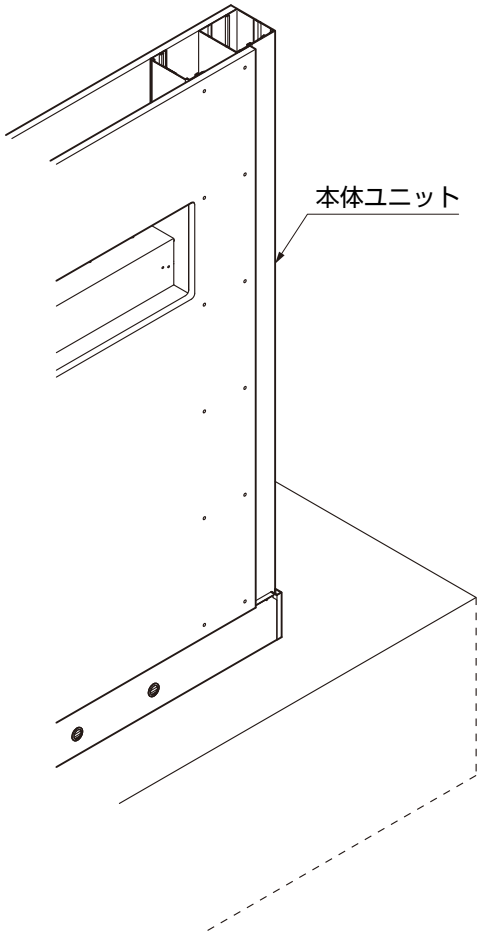


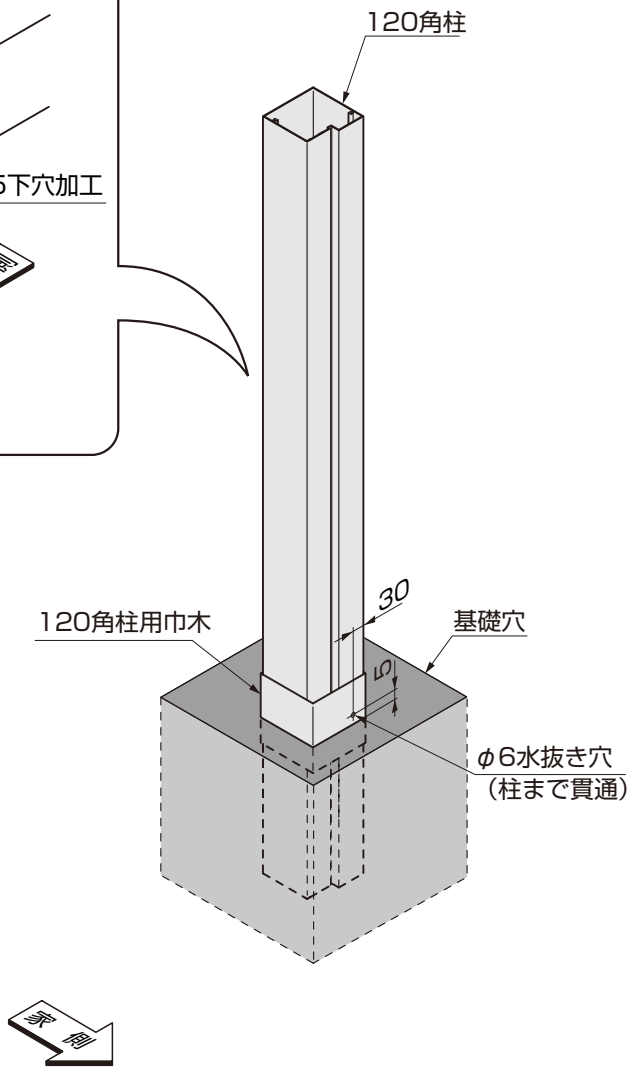
①地中配線を本体ユニットに通し、上部より引き出してください。
②本体ユニットを基礎穴に建込み、添え木などで仮固定してください。
③基礎を施工してください。
④基礎が固まってから、両小口面、巾木Bのセンター GL付近にφ6水抜き穴を加工してください。両小口面は、必ず柱まで貫通させてください。

B078_201405A

5. 門柱の取付け、基礎の施工 ※120角門柱の場合の作業です。



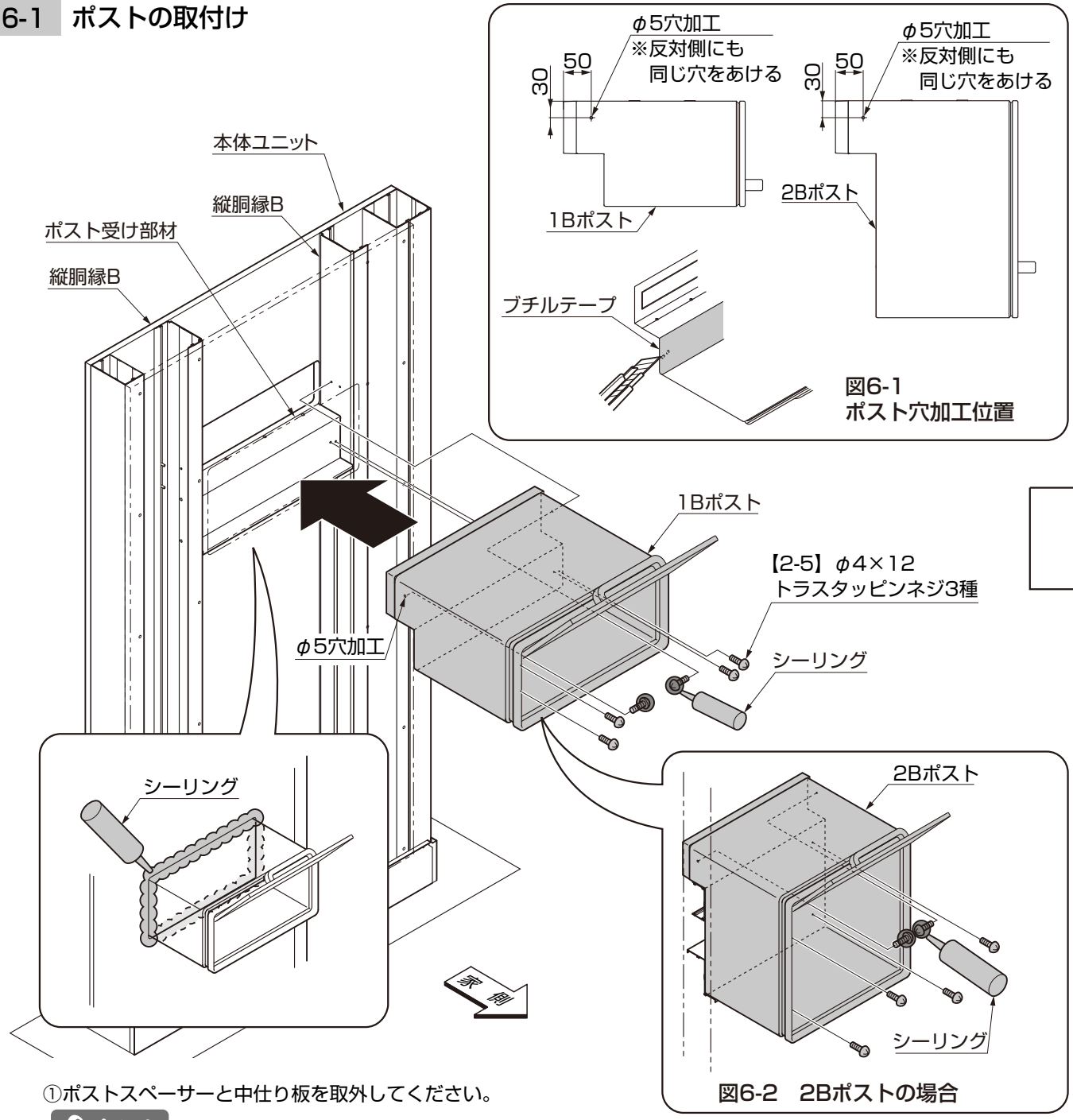




①120角柱にφ3.5の穴加工をしてください。
②120角柱用巾木を120角柱に【9-1】で取付けてください。
③120角柱を基礎穴に建込み、添え木などで仮固定してください。
④基礎を施工してください。
⑤基礎が固まってから、120角柱用巾木に柱まで貫通したφ6の水抜き穴を指定の位置に加工してください。

6. ポストの取付け

6-1 ポストの取付け



①ポストスペーサーと中仕り板を取外してください。

ポイント

●ポストスペーサーと中仕り板は「エクスポスト　口金タイプ　取付説明書（F189）」を参照して取外してください。
●ポスト投入口下にブチルテープが貼られている場合はネジ穴部にカッターなどで穴をあけてください。（図6-1）

②ポスト側面にφ5の穴をあけてください。
③ポストを本体ユニットの縦胴縁B、ポスト受け部材に【2-5】で取付けてください。
④ポスト周りの下地ボード、取付ネジ頭にシーリングしてください。シーリング材（現場手配）は、必ず「変性シリコーン系」を使用してください。

ポイント

●指定以外のシーリング材を使うとタイル接着剤や塗材の密着性低下の原因になります。

6-2 ポストカバーの取付け

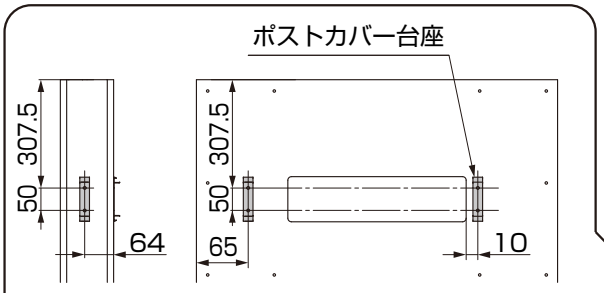
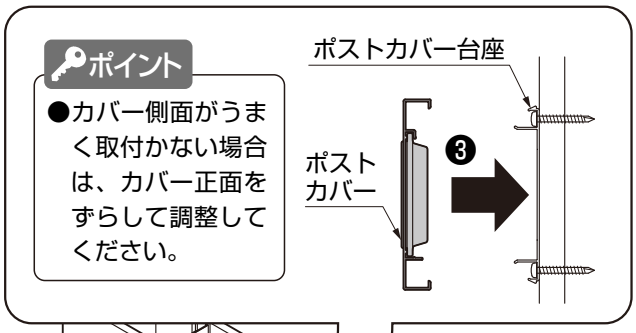


図6-3　ポストカバー台座取付け位置



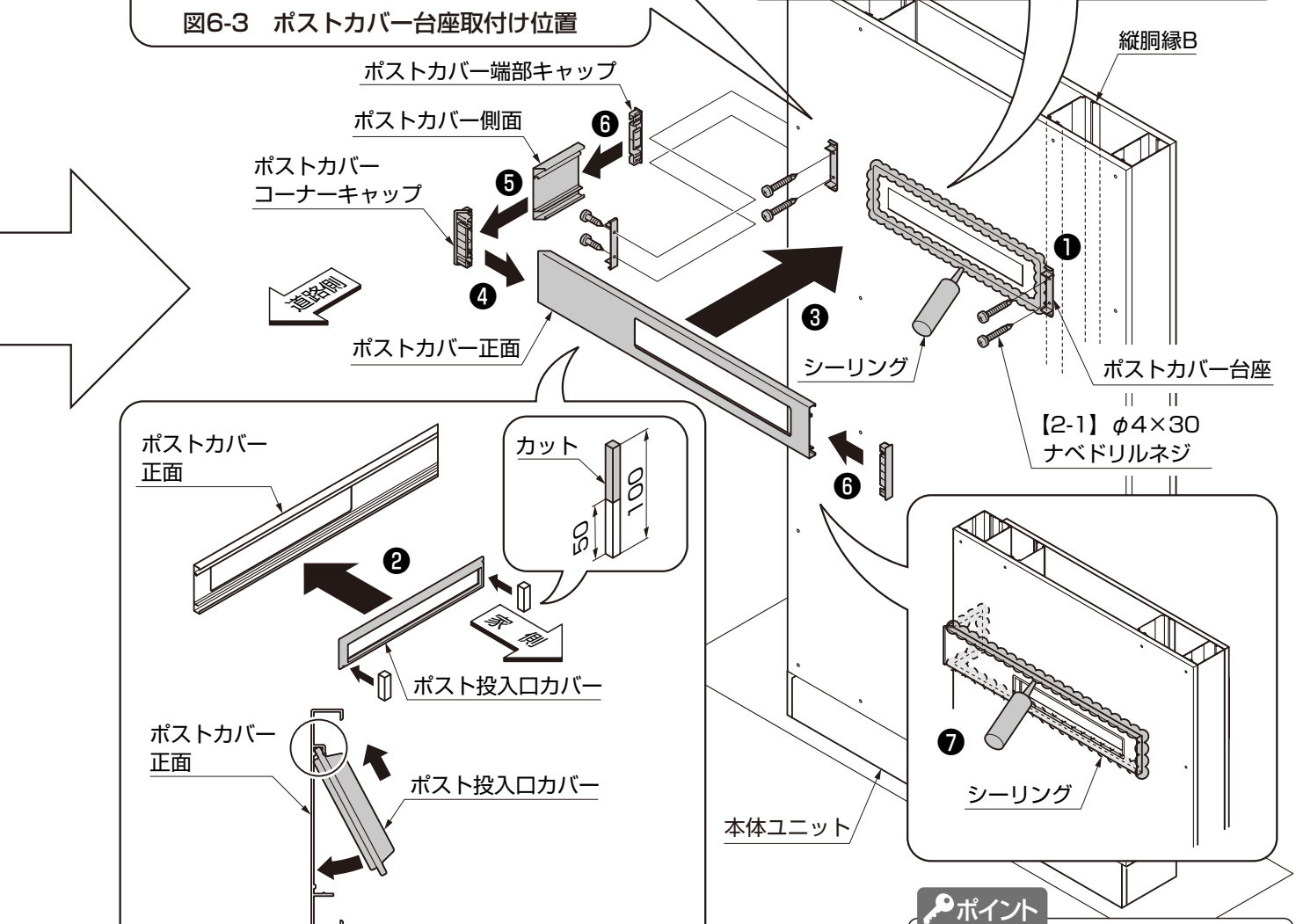


図6-4　ポストカバーの組立て

①ポストカバー台座をボードの上から本体ユニット縦胴縁Bに【2-1】で取付けてください。（図6-3）
②ポスト投入口カバー家側の左右にカットしたクッション材を貼り、ポストカバー正面に取付けてください。（図6-4）
③ポストカバー正面をポストカバー台座にはめ込んでください。
④ポストカバーコーナーキャップをポストカバー正面にはめ込んでください。
⑤ポストカバー側面をポストカバーコーナーキャップにはめ込んでください。
⑥ポストカバー端部キャップをポストカバー正面、側面にはめ込んでください。
⑦ポストカバー周りをシーリングしてください。

ポイント

●端部キャップ取付け後、キャップが動かないように養生テープ等で仮固定してください。

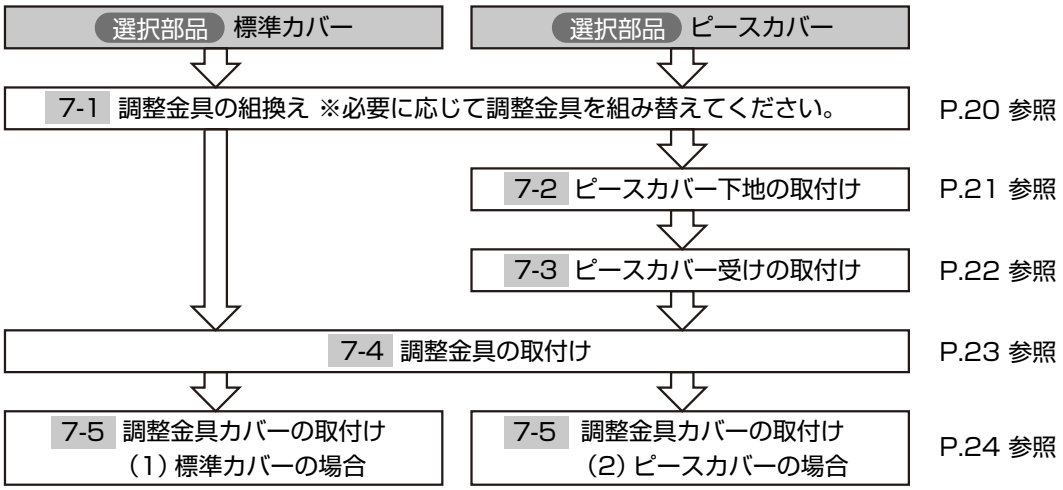
ポイント

●メンテナンス時にポストカバーを外す場合は、シーリングをカットし、メンテナンス後に再度シーリングしてください。

7. 調整金具の取付け　※門柱仕様の場合の作業です。

ポイント

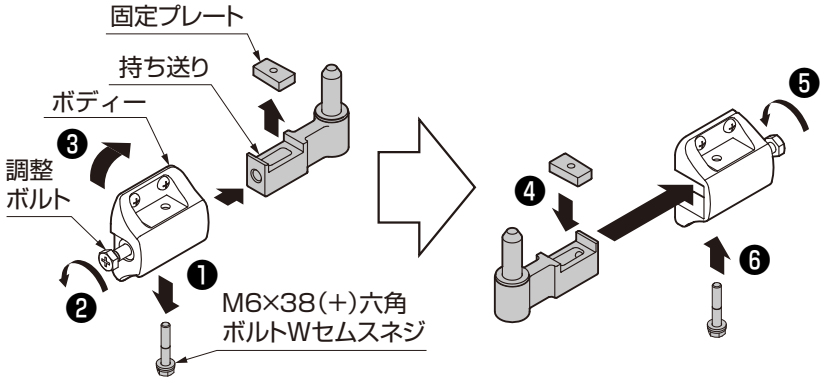
●調整金具カバーには、標準カバーとピースカバーがあり、施工手順が一部異なります。



7-1 調整金具の組替え

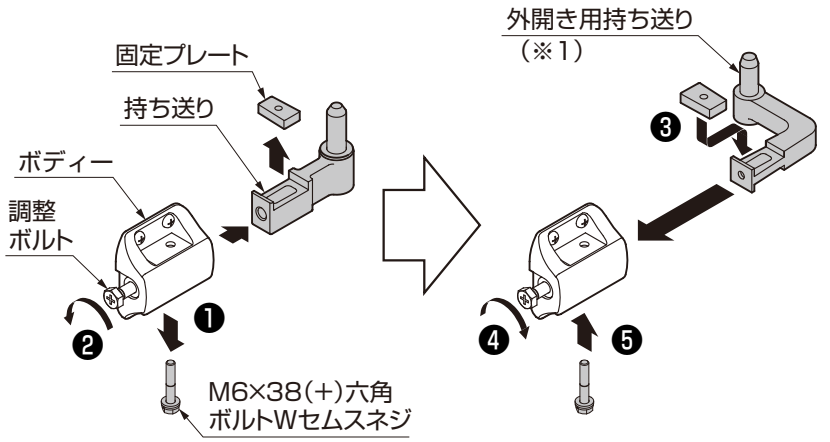
※調整金具ピースカバーの場合、調整金具切り欠きカバーの取り付けは不要です。
組替え手順のみ参照してください。

（1）片開き、左勝手に組替える場合



①「M6×38（+）六角ボルトWセムスネジ」を外してください。
②調整ボルトをゆるめて、持ち送りと固定プレートを外してください。
③ボディーの向きを変えてください。
④固定プレートを持ち送りに取付け、ボディーに挿入してください。
⑤調整ボルトを締めてください。
⑥持ち送りを調整ボルトと「M6×38（+）六角ボルトWセムスネジ」で固定してください。

（2）外開き用持ち送りに組替える場合



①「M6×38（+）六角ボルトWセムスネジ」を外してください。
②調整ボルトをゆるめて、持ち送りと固定プレートを外してください。
③固定プレートを外開き用持ち送りに取付け、ボディーに挿入してください。
④調整ボルトを締めてください。
⑤持ち送りを調整ボルトと「M6×38（+）六角ボルトWセムスネジ」で固定してください。

ポイント

●外開き（※1）の場合は、90°以上開くと門袖本体に門扉が当たる場合があります。

7-2 ピースカバー下地の取付け 選択部品

（1）ピースカバー下地の加工

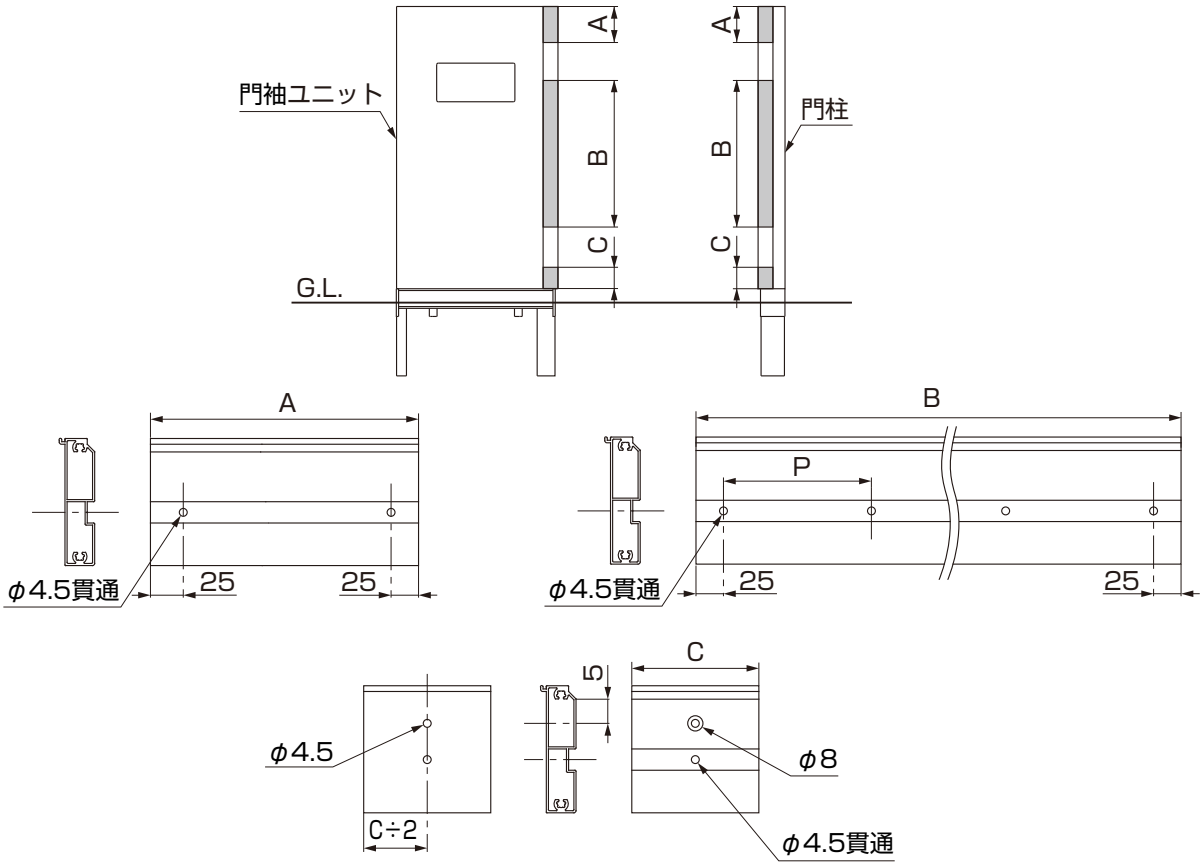


図7-1　切断と穴加工

表7-1

	寸法	寂雅楽Ⅱ	細割ボーダー	サイモン	センティア	セラヴィオR	エクセンシア	塗り
H12門扉	A	309	305	302	302	301	307	296
	B	890	894	875	860	876	875	900
	P	210	211	206.25	202.5	206.5	206.25	212.5
	C	22.5	22.5	44.5	44.5	44.5	39.5	25.5
H14門扉	A	116.5	109	101.5	100.5	101.5	119.5	96
	B	1082.5	1090	1075.5	1061.5	1075.5	1062.5	1100
	P	258	260	256	253	256	253	262.5
	C	22.5	22.5	44.5	44.5	44.5	39.5	25.5
H12門扉（ラフィーネ門扉1型・4型）	A	396	392	402	403	401	419	396
	B	803	807	775	759	776	763	800
	P	188.25	189.25	181.25	177.25	181.5	178.25	187.5
	C	22.5	22.5	44.5	59.5	44.5	39.5	25.5

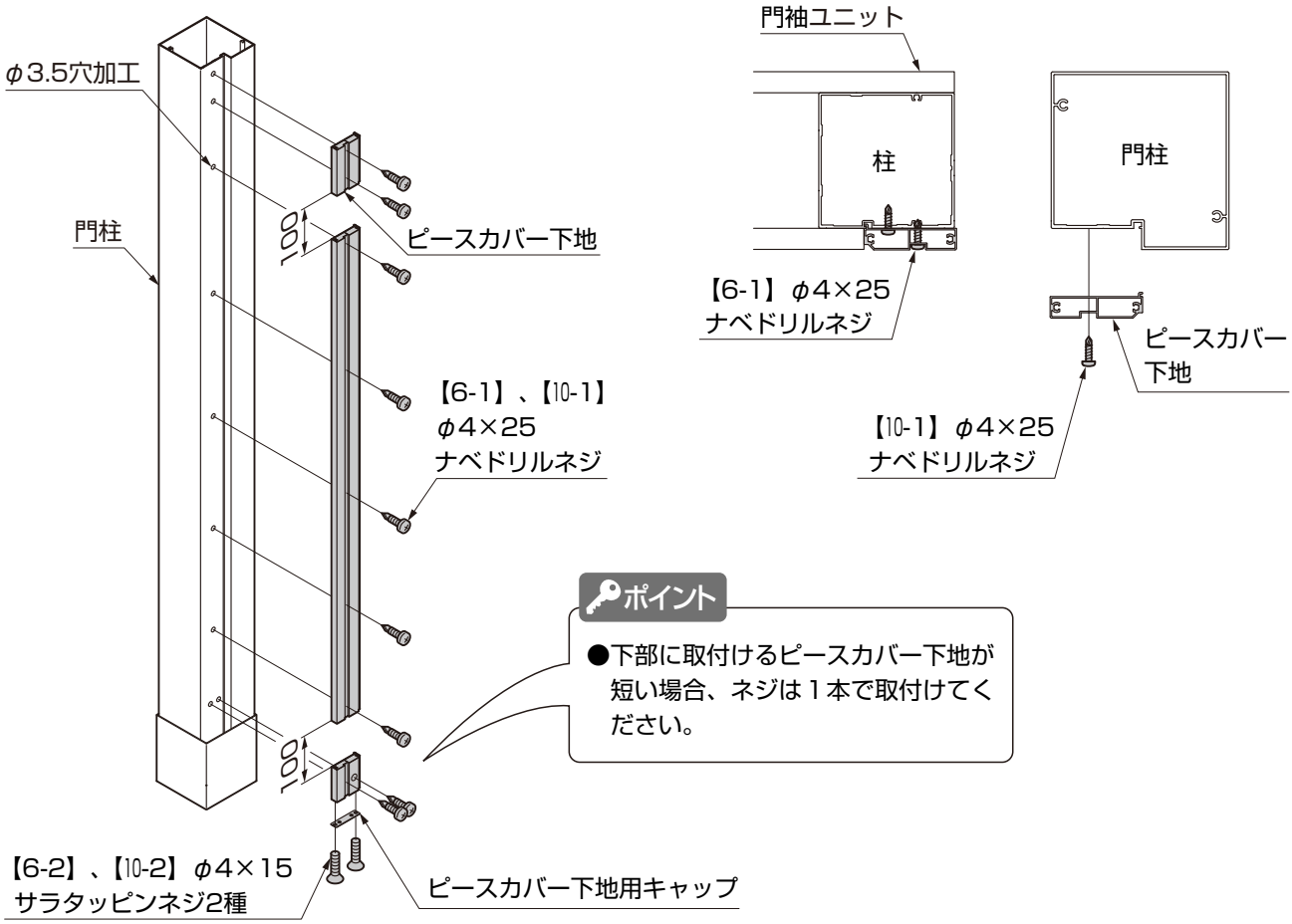
①ピースカバー下地を加工してください。

ポイント

●ラフィーネ門扉1型・4型を使用する場合、調整金具ピッチが900のためピースカバー仕様は現場でのタイルカットが必要になります。

7.（つづき）

（2）ピースカバー下地の取付け



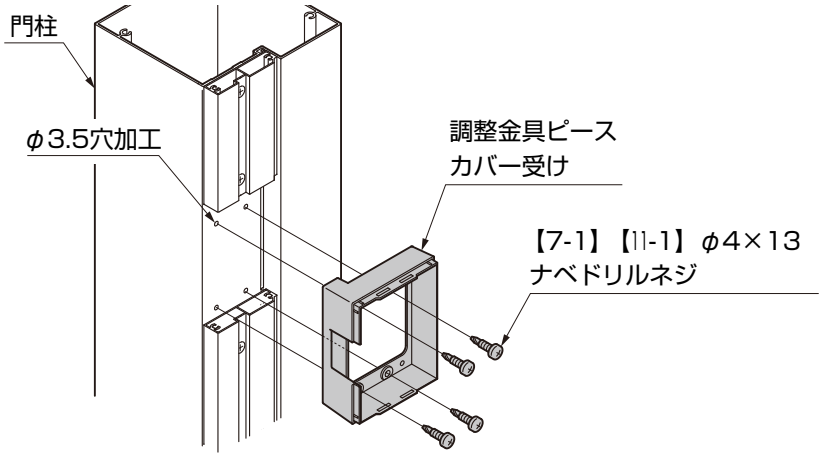
ポイント

●下部に取付けるピースカバー下地が短い場合、ネジは１本で取付けてください。

①門柱（または門袖ユニットの柱）にφ3.5の穴加工をし、ピースカバー下地を【6-1】、【10-1】で取付けてください。
②ピースカバー下地用キャップをピースカバー下地に【6-2】、【10-2】で取付けてください。

7-3　調整金具ピースカバー受け 選択部品 の取付け

※図は門柱に取付ける場合を示します。
門袖に取付ける場合も同様の手順です。

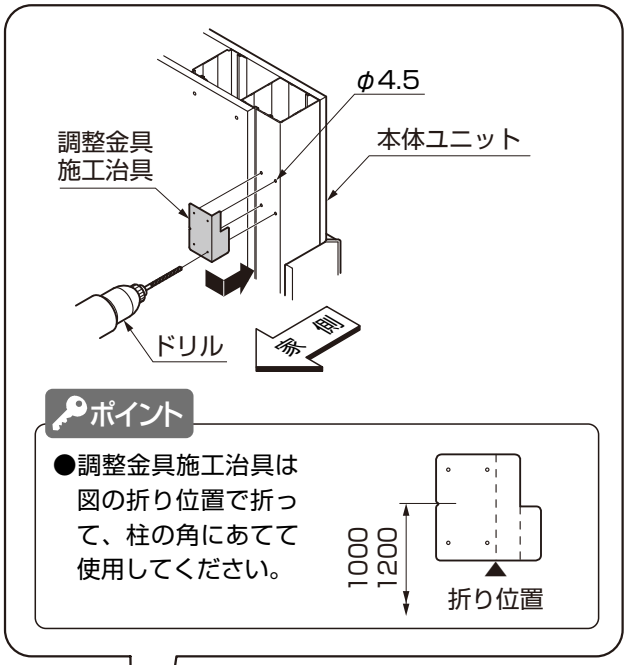


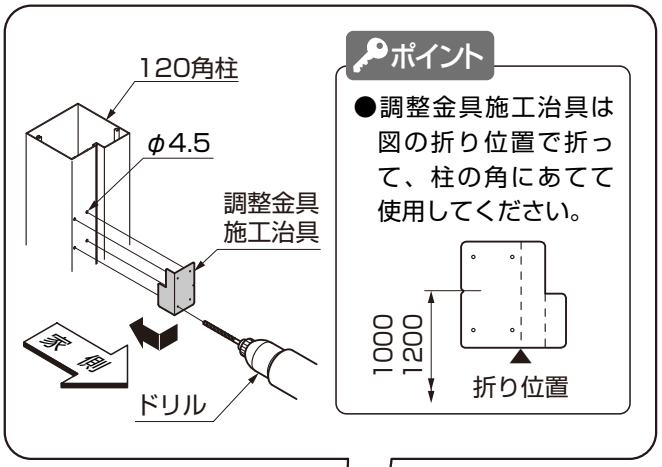
①門柱（または門袖ユニットの柱）にφ3.5の穴加工をし、調整金具ピースカバー受けを【7-1】、【11-1】で取付けてください。

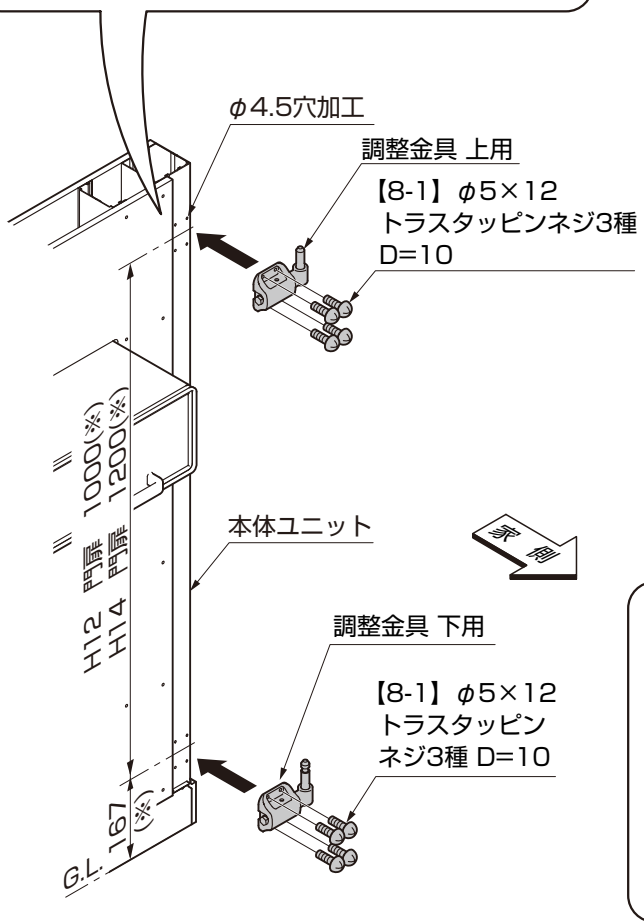
ポイント

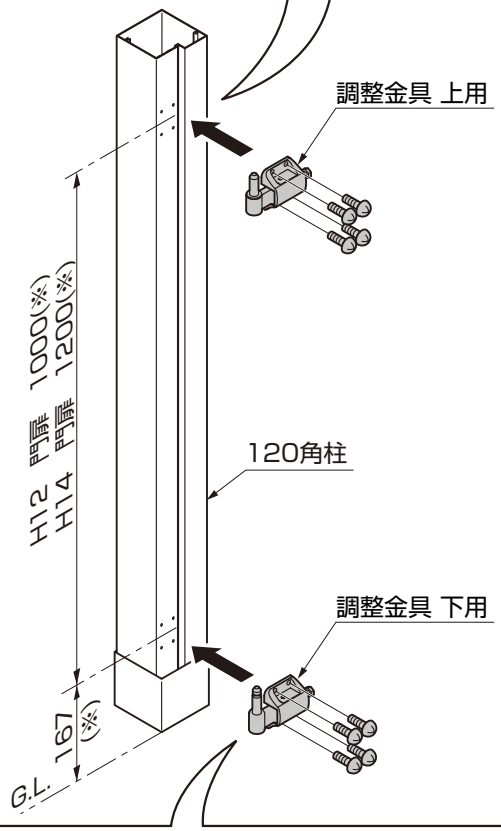
●下側も同様に取付けてください。

7-4 調整金具の取付け









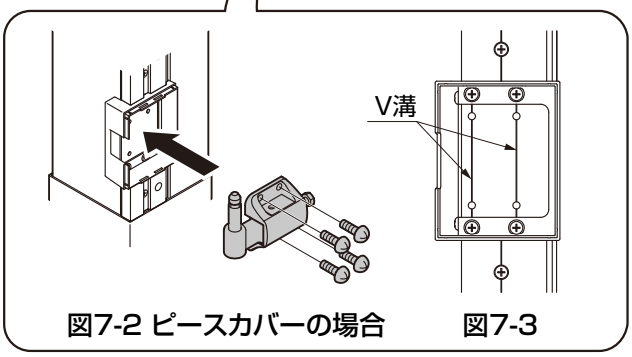


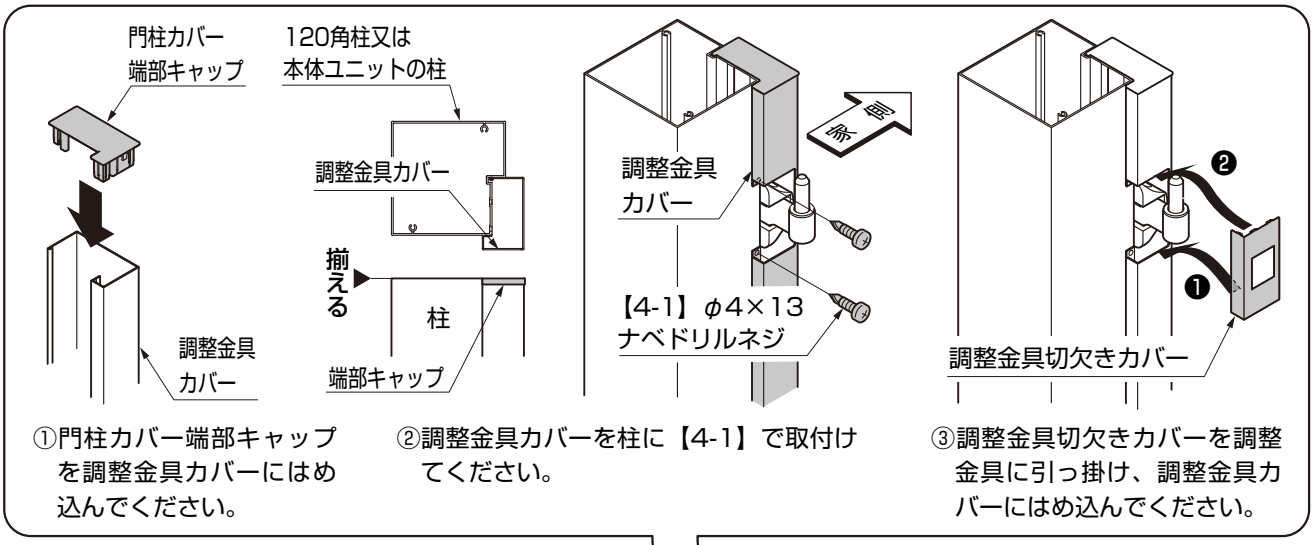
図7-2 ピースカバーの場合　　図7-3

①門柱または本体ユニットに調整金具施工治具をあてケガキ、ドリルで穴加工してください。
②調整金具ピースカバーの場合、ピースカバー受けを取付けた後、調整金具の写し穴をV溝に加工してください。
③調整金具を柱に【8-1】で取付けてください。
※ピースカバー仕様でタイル張りの場合は図7-3を参照して写し穴で取付けてください。

7.（つづき）

7-5 調整金具カバーの取付け 選択部品

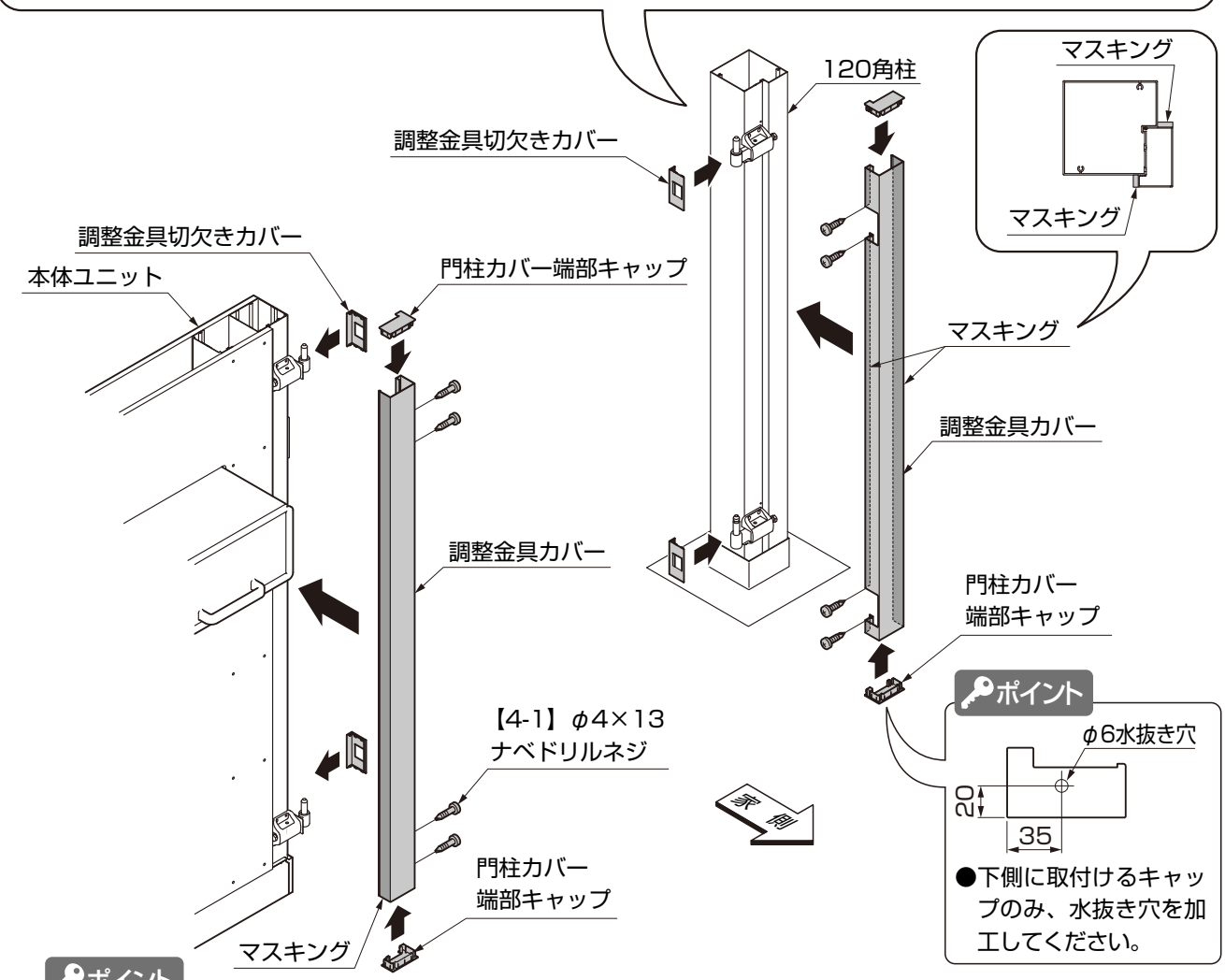
（1）標準カバーの場合



①門柱カバー端部キャップを調整金具カバーにはめ込んでください。

②調整金具カバーを柱に【4-1】で取付けてください。

③調整金具切欠きカバーを調整金具に引っ掛け、調整金具カバーにはめ込んでください。

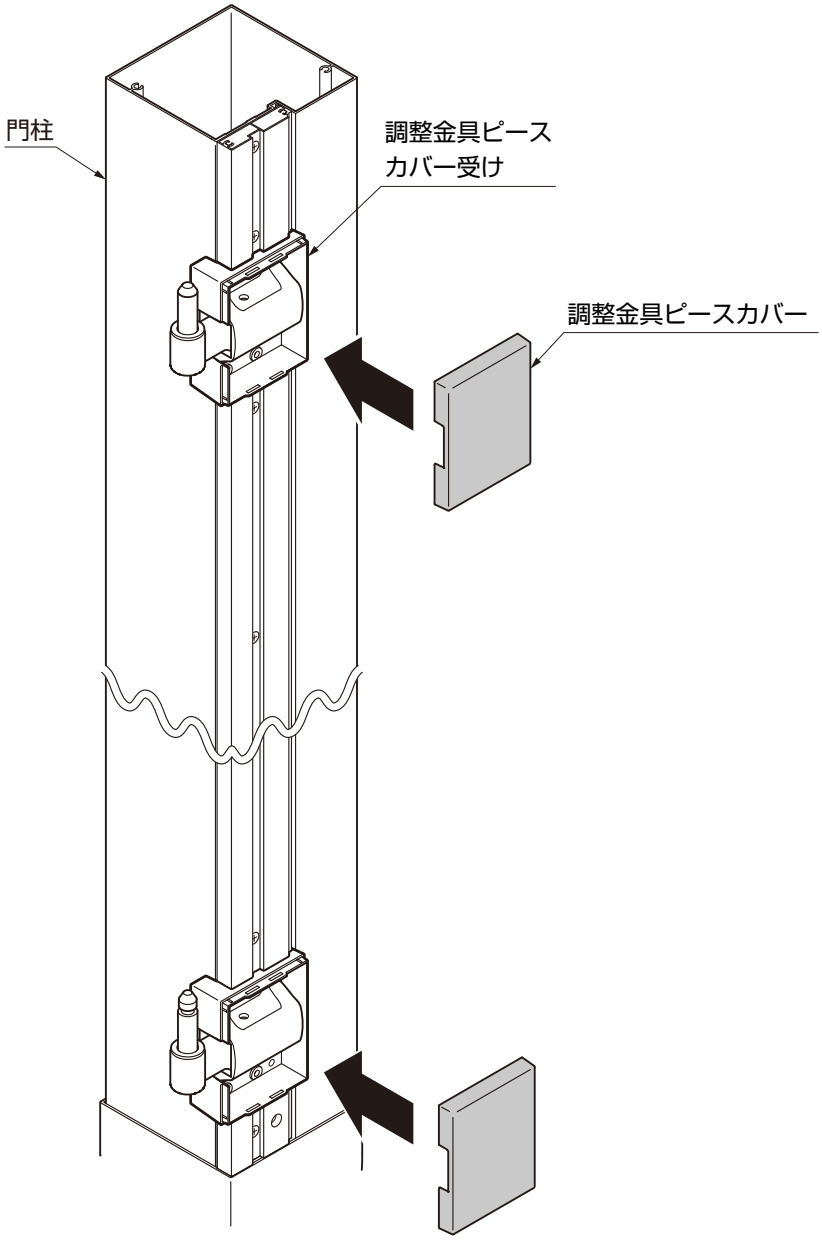


ポイント

●タイル仕上げ、塗り仕上げの際に調整金具カバーにタイル用接着剤や塗材がつかないように、調整金具カバーをマスキングしてください。あとから調整金具カバーが外れなくなってしまいます。

（2）ピースカバーの場合

※図は門柱に取付ける場合を示します。門袖に取付ける場合も同様の手順です。



ポイント

●タイル施工の際、接着剤が付着しないよう調整金具ピースカバーにマスキングしてください。

①調整金具ピースカバーを調整金具ピースカバー受けにはめ込んでください。

8. 片開き受け部材の取付け

※図は門柱に取付ける場合を示します。
門袖に取付ける場合も同様の手順です。

8-1 部品配置

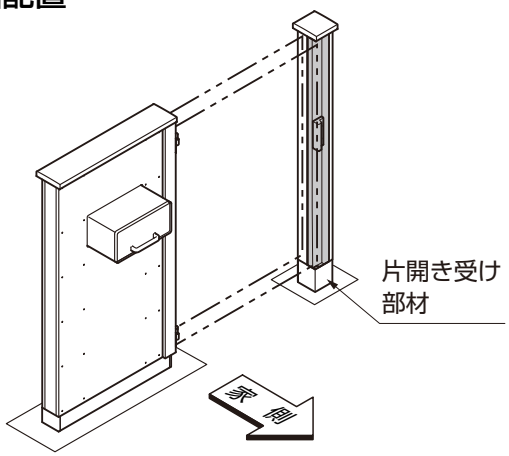


図8-1 門柱に取付ける場合

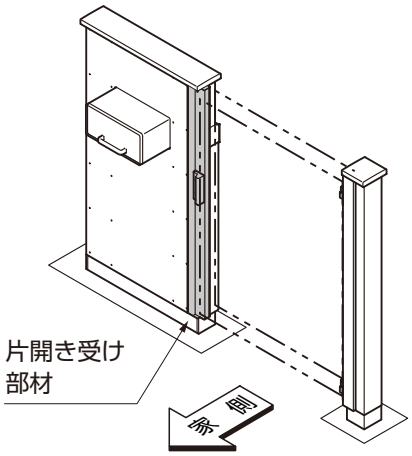
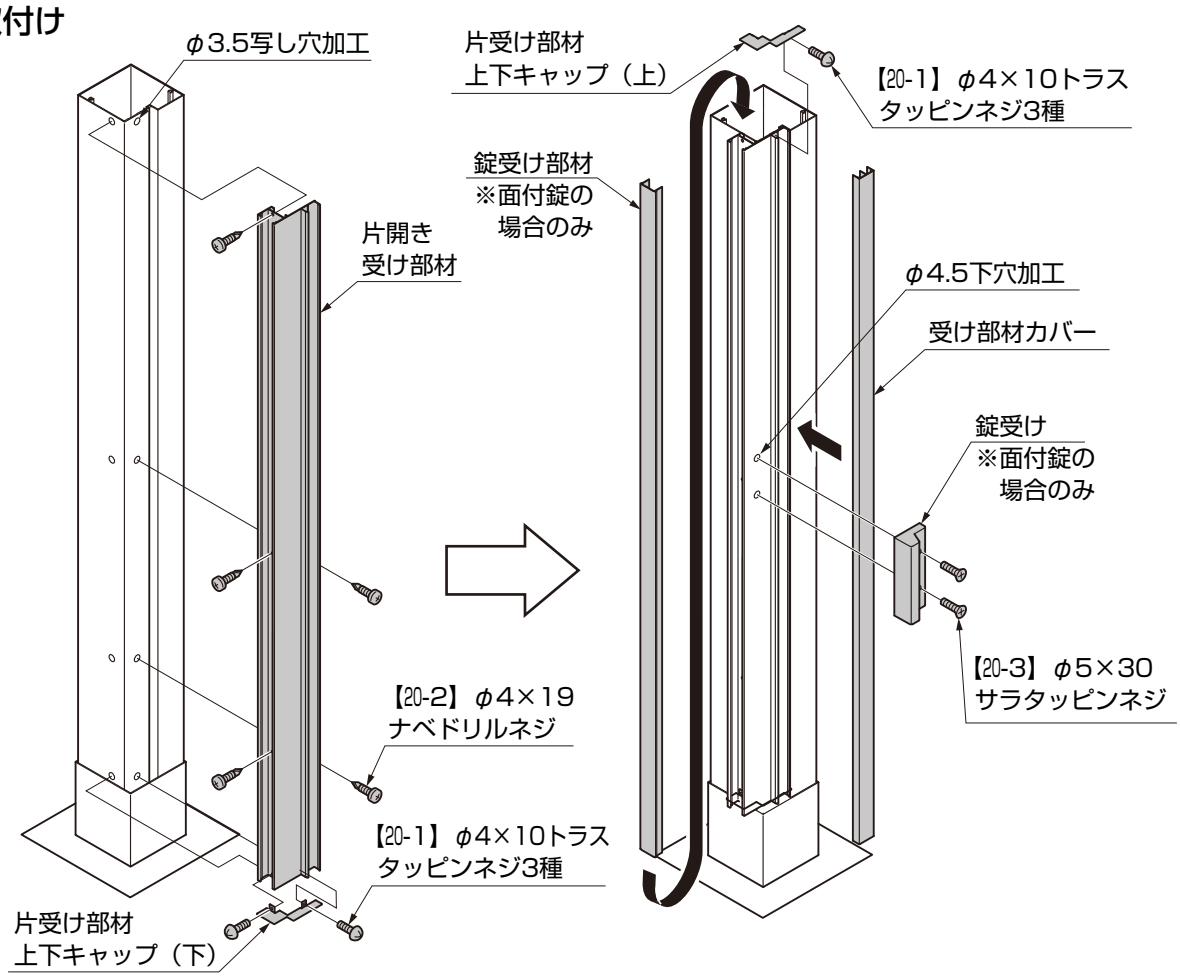


図8-2 門袖に取付ける場合

8-2 取付け



①柱に片開き受け部材を当てがい、φ3.5の写し穴をあけてください。
②片開き受け部材、片受け部材上下キャップ（下）を柱に【20-1】、【20-2】で取付けてください。
③錠受け部材を片開き受け部材に挿入してください。
④片受け部材上下キャップ（上）を片開き受け部材に【20-1】で取付けてください
⑤受け部材カバーを片開き受け部材にはめてください。
⑥片開き受け部材にφ4.5の下穴をあけ、面付け錠を【20-3】で取付けてください。

ポイント

●各錠の取付説明書も確認してください。

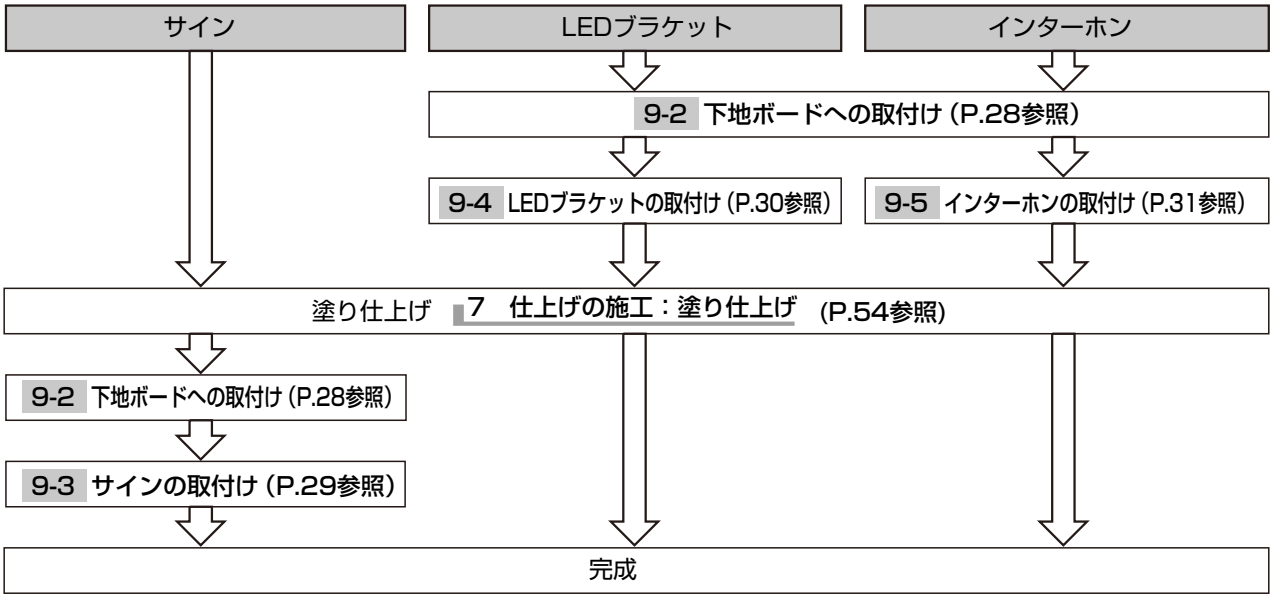
9. サイン・LEDブラケット・インターホンの取付け

9-1 施工の流れの確認

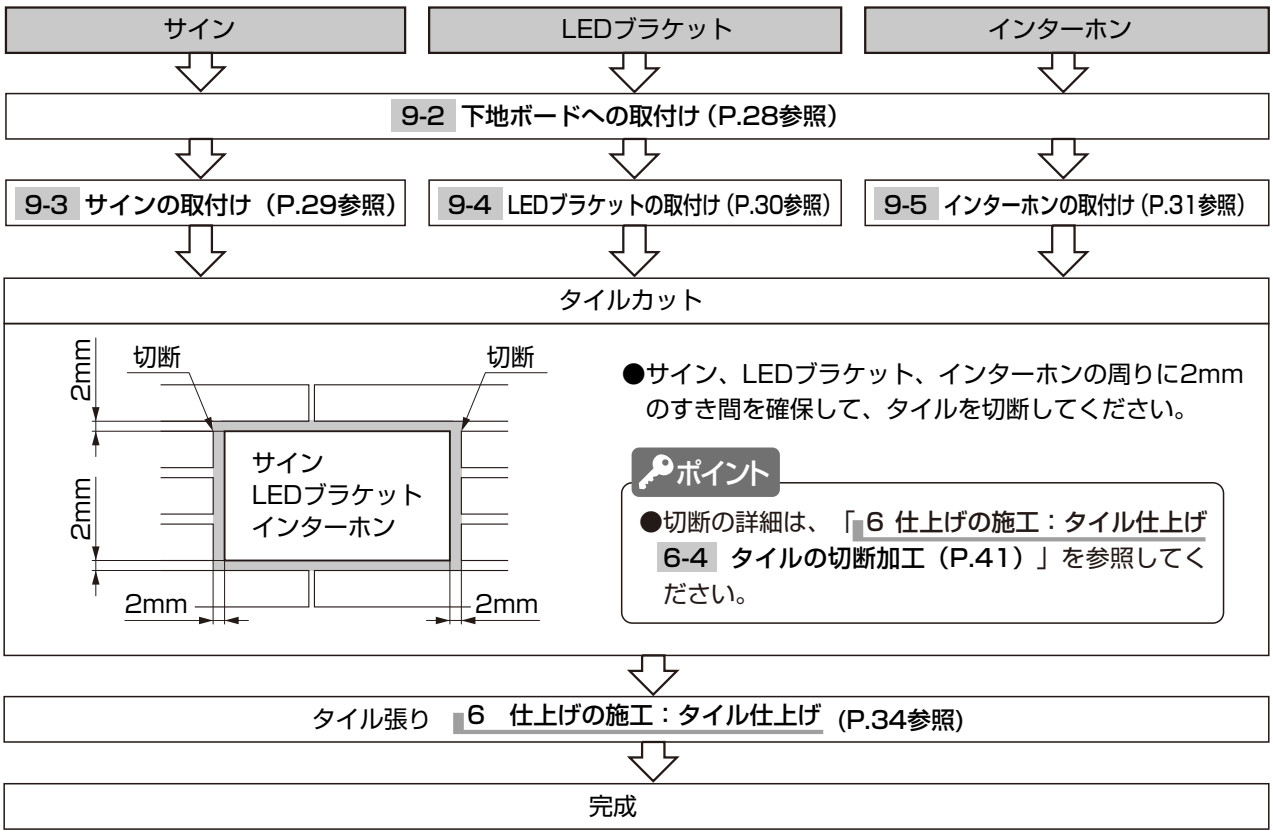
ポイント

●サイン・LEDブラケット・インターホンの取付けから完成までの手順は「タイル仕上げ」と「塗り仕上げ」で異なります。下記手順を参照し、それぞれの部品を取付けてください。

（1）塗り仕上げの場合



（2）タイル仕上げの場合



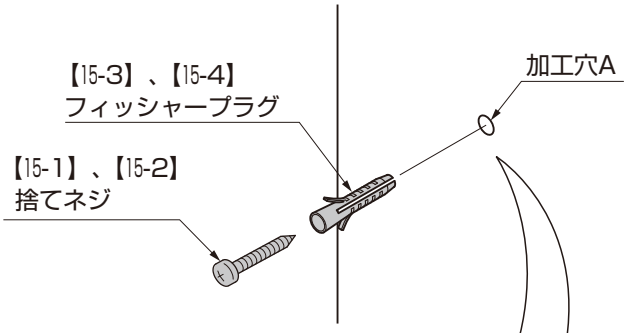
9.（つづき）

9-2 下地ボードへの取付け

（1）フィッシャープラグの場合

ポイント

●サイン、LEDブラケット、インターホンにカールプラグボルトが同梱されてない場合、「サイン・照明取付セット」に同梱のフィッシャープラグを使用します。



①取付け面に下穴加工をしてください。

注 意

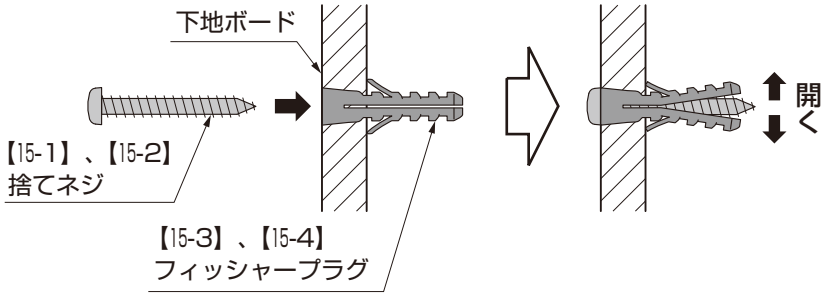
●指定より大きいサイズの穴加工はしないでください。サイン、LEDブラケット、インターホンが落下し、ケガをするおそれがあります。

補 足

表9-1

取付ネジサイズ	フィッシャープラグ	加工穴A	捨てネジ（ナベタッピンネジ1種）
φ4～φ5	【15-3】S6	φ6	【15-1】φ4×40
φ4.5～φ6	【15-4】S8	φ8	【15-2】φ5×40

●各部品に付属の取付ネジから、使用するフィッシャープラグを選択し加工穴を決めます。

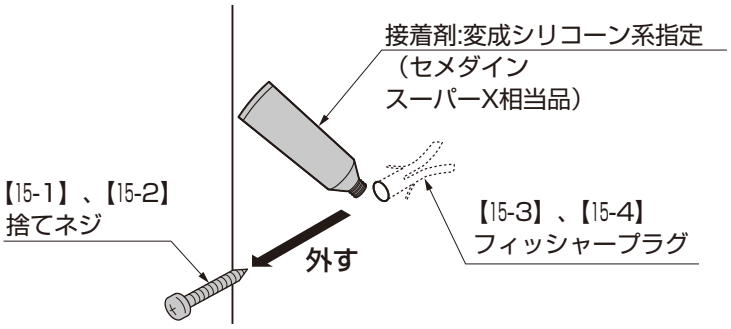


②加工穴に【15-3】または【15-4】を差込み、捨てネジ【15-1】または【15-2】を取付けてください。

ポイント

●必ず捨てネジは根元までねじ込んでください。

③捨てネジ【15-1】または【15-2】を取外してください。



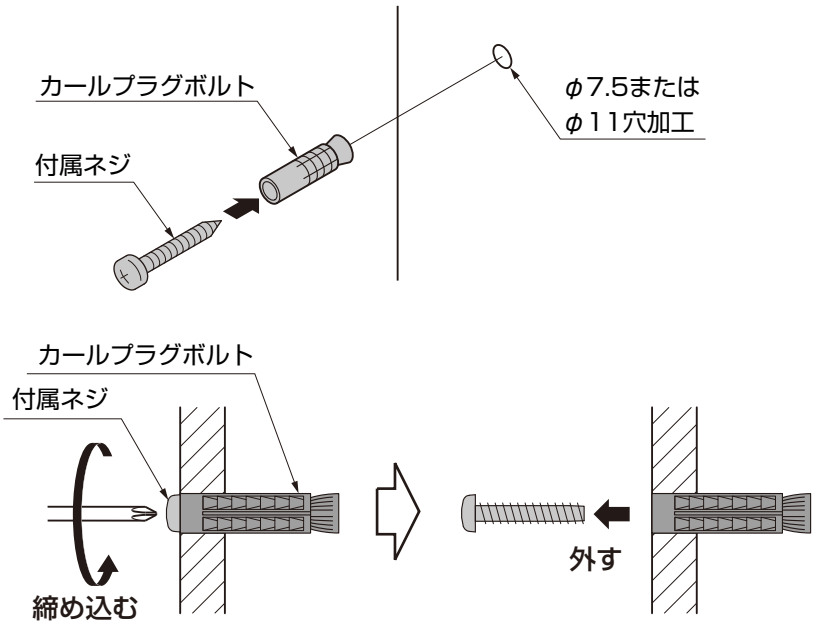
④接着剤（現場手配）をフィッシャープラグに注入してください。

ポイント

●部品取付けの際、接着剤がはみ出さない量を注入してください。

⑤各部品（サイン、LEDブラケット、インターホン）の取付けを行なってください。

（2）カールプラグボルトの取付け



①取付位置にφ7.5またはφ11の下穴加工をしてください。

②加工穴に「M6（M8）用カールプラグボルト」を差込み、「付属ネジ」を締め込んでください。

ポイント

●カールプラグボルトは下地ボードと面合わせで差込んでください。

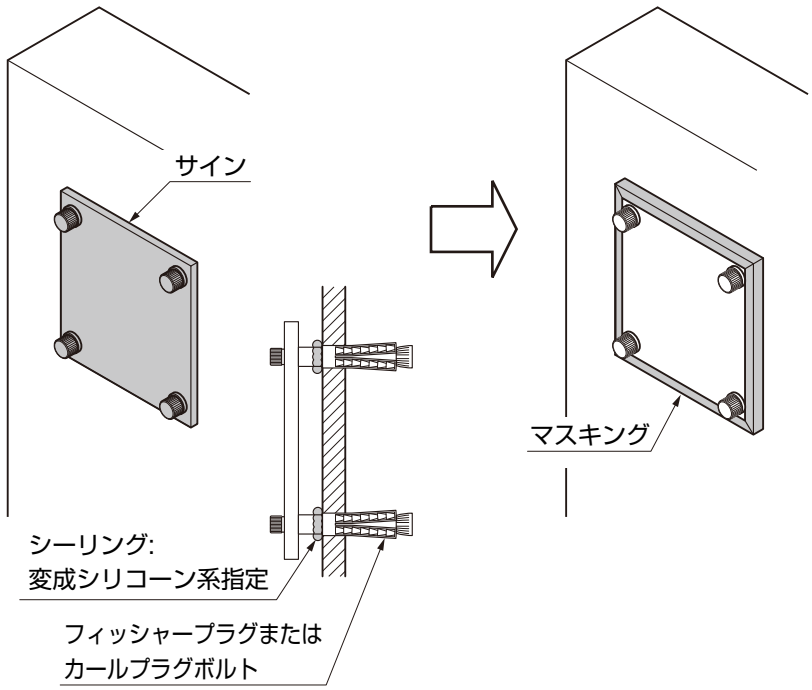
③「付属ネジ」を一旦取外してください。

④各部品（サイン、LEDブラケット、インターホン）の取付けを行なってください。

9-3 サインの取付け

ポイント

●アイサイン、ステンレスサインWは、フィッシャープラグでの固定以外にサイン裏面と取付けるボンド面を清掃し、現場手配の接着剤を両面に適量塗ってください。



①サインに付属の取付説明書を参照し、サインを取付けてください。

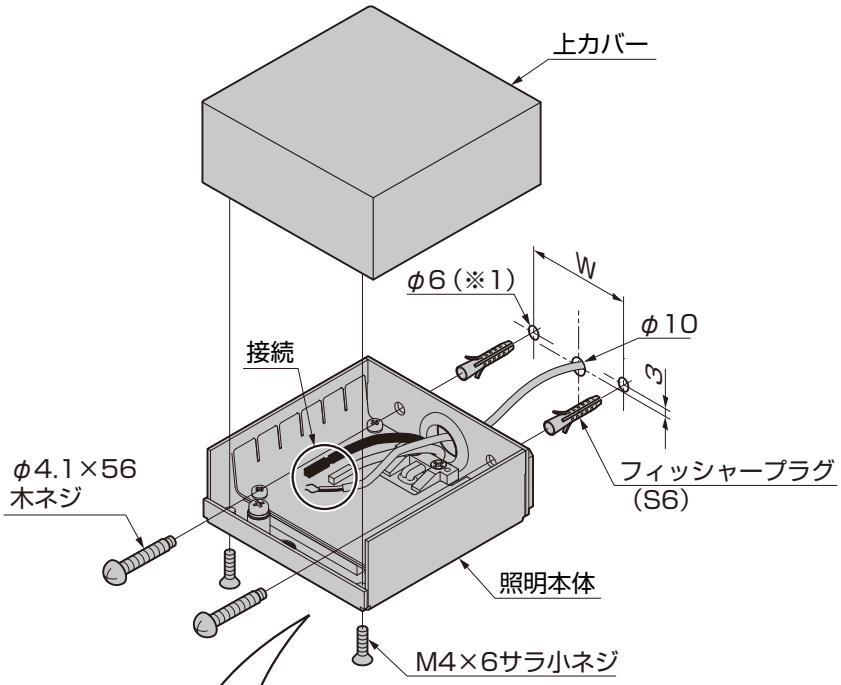
ポイント

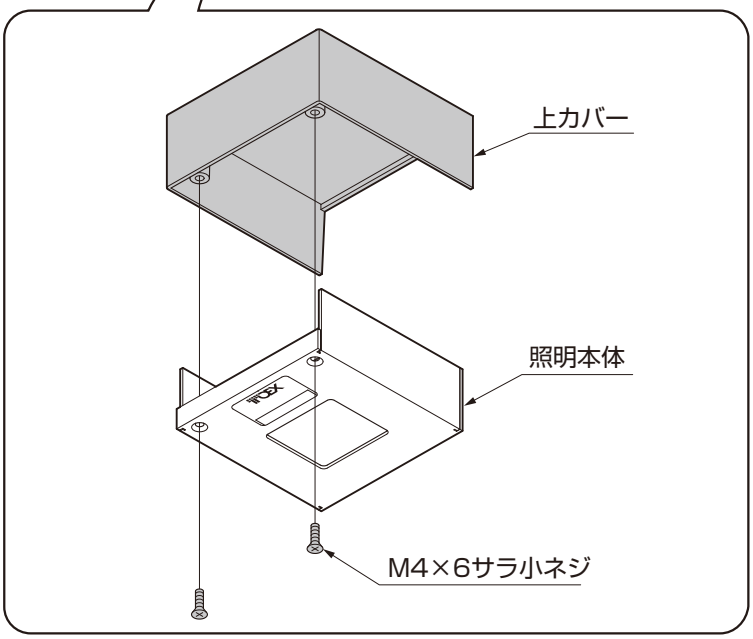
●接着剤が硬化するまで、水に濡れないように養生してください。
●接着剤が硬化するまで、ズレないように仮固定してください。
●一時的な固定のためにテープを使うとより簡単に取付けできます。壁面によってはテープがはがれる場合がありますので注意してください。

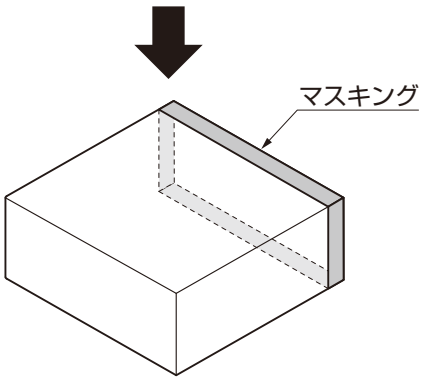
②フィッシャープラグまたはカールプラグボルト周りをシーリング（現場手配）してください。

③サインの周りをマスキングしてください。

9-4 LEDブラケット（LPK-8型）の取付け







①照明本体を「φ4.1×56木ネジ」で取付けてください。

ポイント

●φ6穴加工とフィッシャープラグの取付けは「 9-2 下地ボードへの取付け（1）フィッシャープラグの場合」を参照してください。

②電源入力線とAC100V電源線を接続してください。

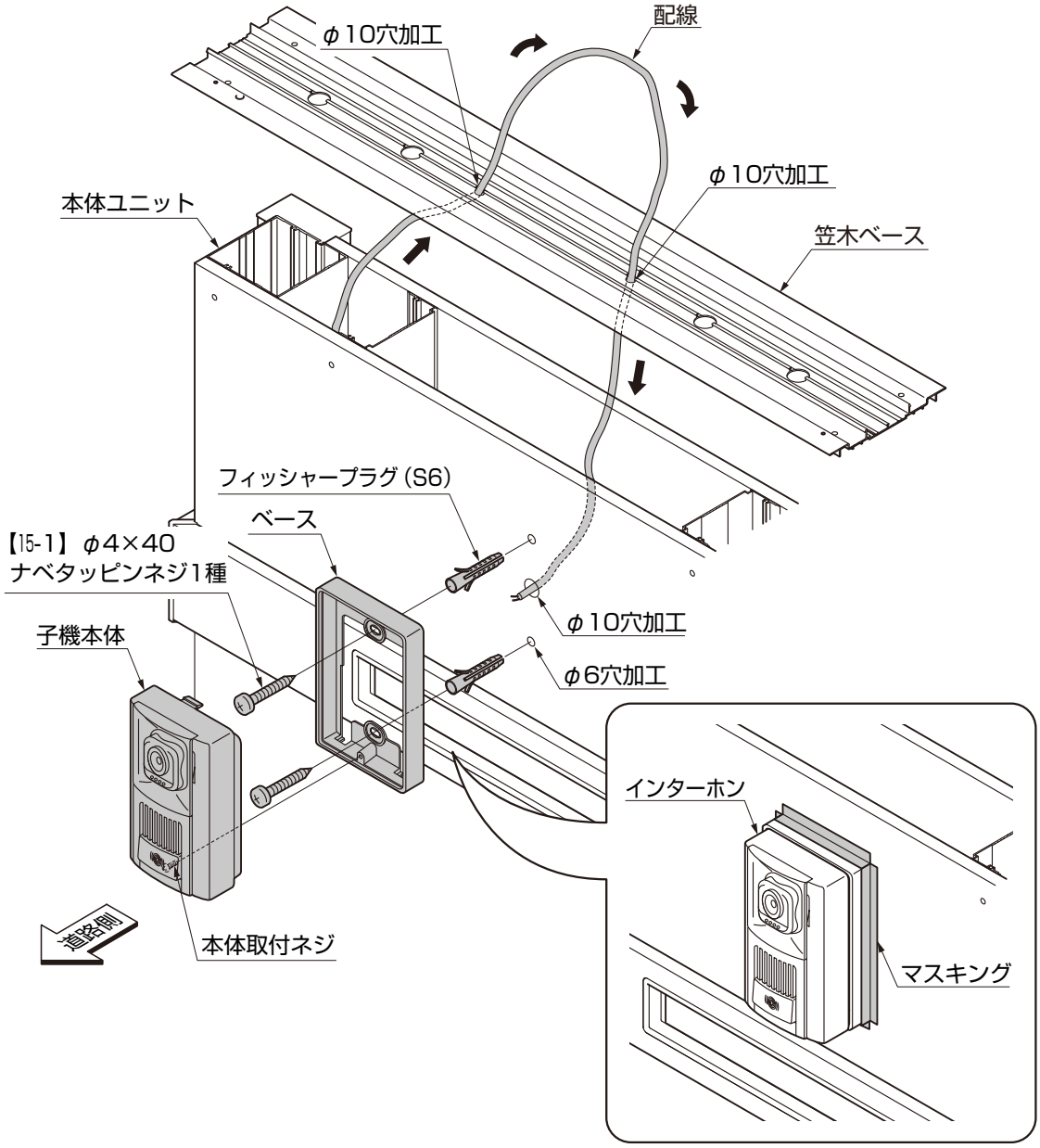
警 告

●配線接続部は圧着スリーブで確実に行い、自己融着テープなどで防水テーピングを施してください（内線規定1335-7～9に準ずる）。不完全な場合、絶縁不良による火災・感電の原因になります。
●接地端子ネジからD種接地工事を行なってください。接地不完全な場合、感電のおそれがあります。

③上カバーを「M4×6サラ小ネジ」で取付けてください。

④LEDブラケットにマスキングしてください。

9-5 インターホンの取付け ※インターホンを取付ける場合の作業です。



①本体ユニットと笠木ベースに配線用穴φ10をあけ、配線を引き出してください。
②ベースを【15-1】で固定してください。

ポイント

●φ6穴加工とフィッシャープラグの取付けは「 9-2 下地ボードへの取付け（1）フィッシャープラグの場合」を参照してください。

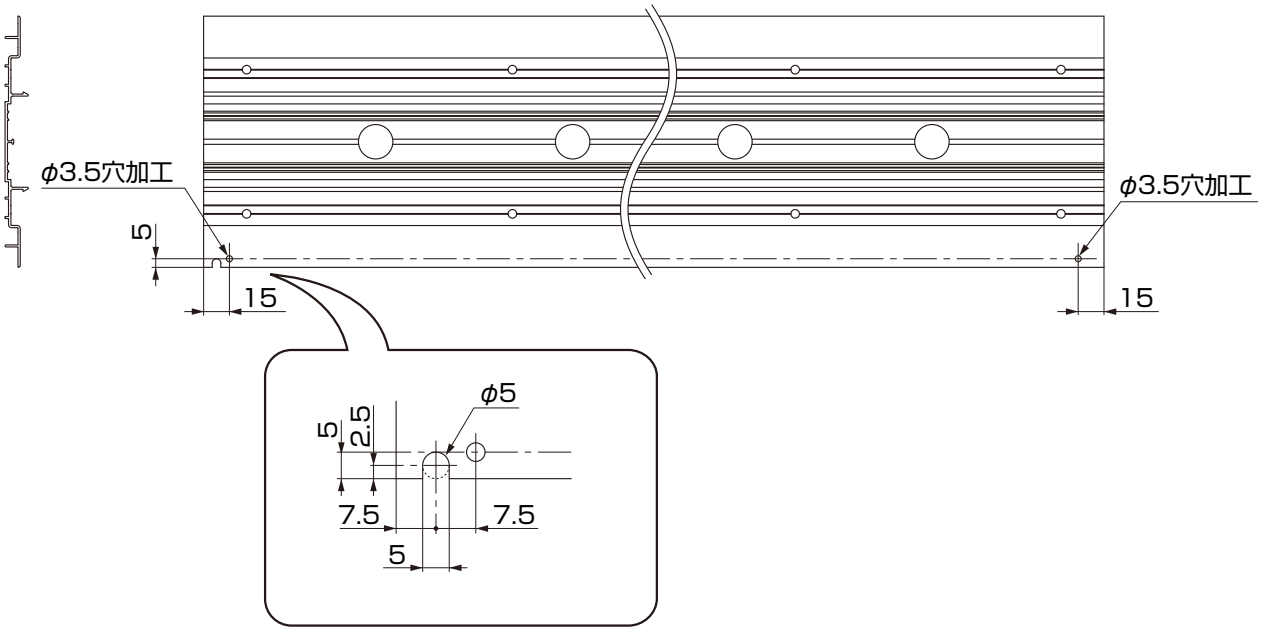
③インターホン子機の取付けおよび配線を行なってください。
④インターホン子機のまわりをマスキングしてください。

ポイント

●取付けと配線の詳細は、インターホン子機の取付説明書を参照してください。
●タイル施工時に水抜き穴をふさがないように注意してください。

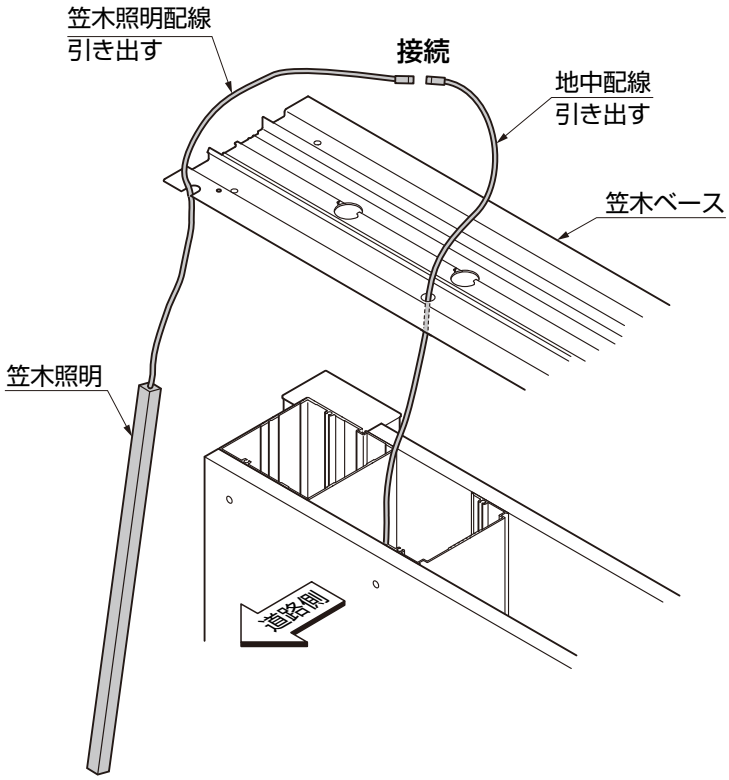
10. 笠木の取付け

10-1 笠木ベースの加工 オプション ※笠木照明を取付ける場合の作業です。



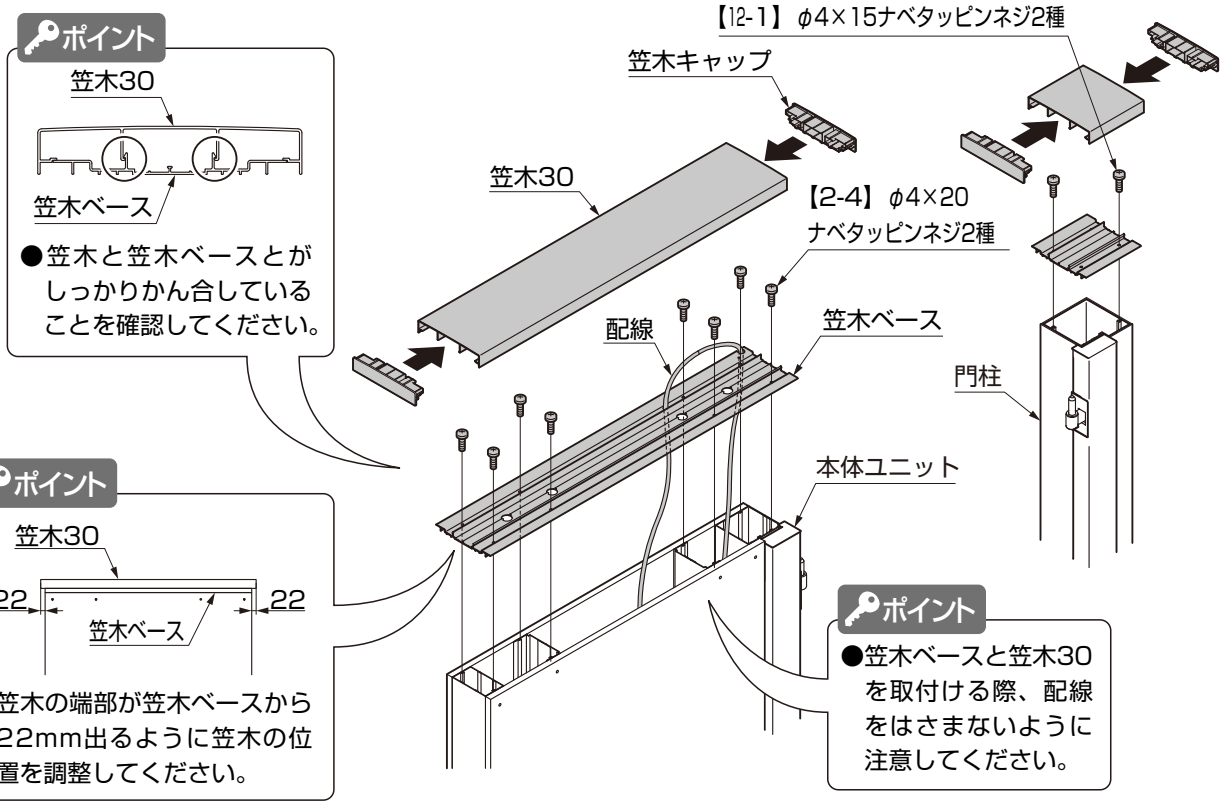
①笠木ベースに照明配線用の穴加工を行なってください。

10-2 笠木照明配線 オプション ※笠木照明を取付ける場合の作業です。



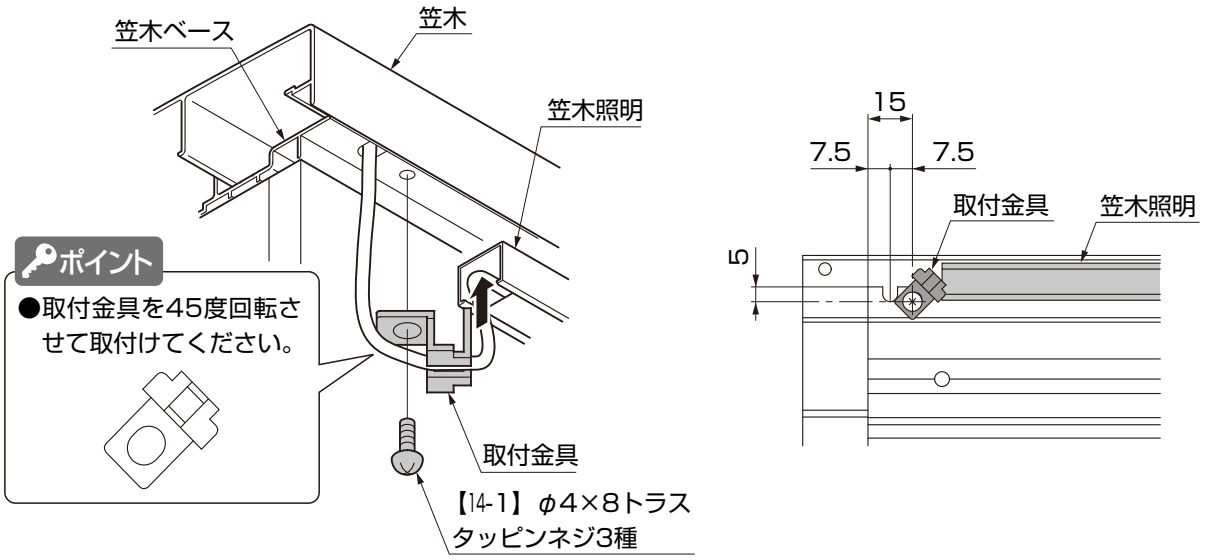
①地中配線を引き出してください。
②笠木照明の配線を接続してください。

10-3 笠木の取付け



①笠木ベースを本体ユニット、門柱に【2-4】、【12-1】で取付けてください。
②笠木30を笠木ベースにはめ込んでください。
③笠木キャップを笠木30にはめ込んでください。

10-4 笠木照明の取付け オプション ※笠木照明を取付ける場合の作業です。



①取付金具を45度回転させた状態で笠木照明をはさみこみ、笠木ベースに【14-1】で仮固定してください。
②笠木照明を笠木外側に当てた状態で取付金具を本固定してください。

6　仕上げの施工:タイル仕上げ

1. 梱包明細表

はるかベタイル形状一覧　※寸法はユニット実寸法です。

商品名	寂雅楽(さびうた)Ⅱ　（目地幅）縦：2mm　横：2.5mm
テグラン 門袖用B-1	Ⓐ 15シート 315
テグラン 門袖用B-2	Ⓐ 4シート 315　Ⓑ 10シート 134　Ⓚ 5シート 138.5　Ⓟ 5シート 98.5
テグラン 門袖用B-3	Ⓓ 18シート 210　Ⓡ 1シート 187.5　Ⓢ 2シート 207　Ⓤ 1シート 135.5　Ⓧ 2コ 15 198　Ⓨ 各2コ 25 18.5 25 28.5
120角門柱用	Ⓑ 20シート 134　Ⓟ 5シート 98.5　Ⓥ 5シート 62.5

商品名	細割りボーダー（標準割面）　（目地幅）縦：2mm　横：2.1mm
テグラン 門袖用B-1	Ⓐ 14シート 280.5
テグラン 門袖用B-2	Ⓐ 4シート 280.5　Ⓑ 10シート 129　Ⓛ 5シート 121.3　Ⓟ 1シート 185　Ⓢ 5シート 96
テグラン 門袖用B-3	Ⓓ 18シート 190.3　Ⓠ 各14コ 19.5 12.3 19.5 57.8　Ⓧ 各3コ 19.5 18.5 19.5 26　Ⓨ 各1コ 15 175.3 15 220.8
120角門柱用	Ⓑ 20シート 129　Ⓢ 5シート 96　Ⓤ 5シート 60

B078_201405A

商品名	サイモン　（目地幅）縦：2mm　横：2.5mm		
テグラン 門袖用B-1	Ⓐ 14シート 305	120角門柱用	Ⓑ 20シート 132　Ⓡ 5シート 97.5　Ⓣ 5シート 61.5
テグラン 門袖用B-2	Ⓐ 5シート 305　Ⓑ 10シート 132　Ⓜ 5シート 133.5　Ⓡ 5シート 97.5		
テグラン 門袖用B-3	Ⓒ 1シート 133.5　Ⓓ 18シート 204　Ⓟ 2シート 204　Ⓠ 1シート 186.5 Ⓧ 各1コ 13×195　13×235　13×103.5　13×182.5 Ⓨ 各1コ 20×165　20×235 Ⓩ 各3コ 22.5×18.5　22.5×27.5		

モザイクタイル形状一覧　※寸法はユニット実寸法です。

商品名	ニュアンス
目地幅 縦：2.5mm 横：2.5mm	6シート 47.5×297.5

商品名	シェブレンド
目地幅 縦：2.5mm 横：2.5mm	6シート 47.5×297.5

施工部材形状一覧

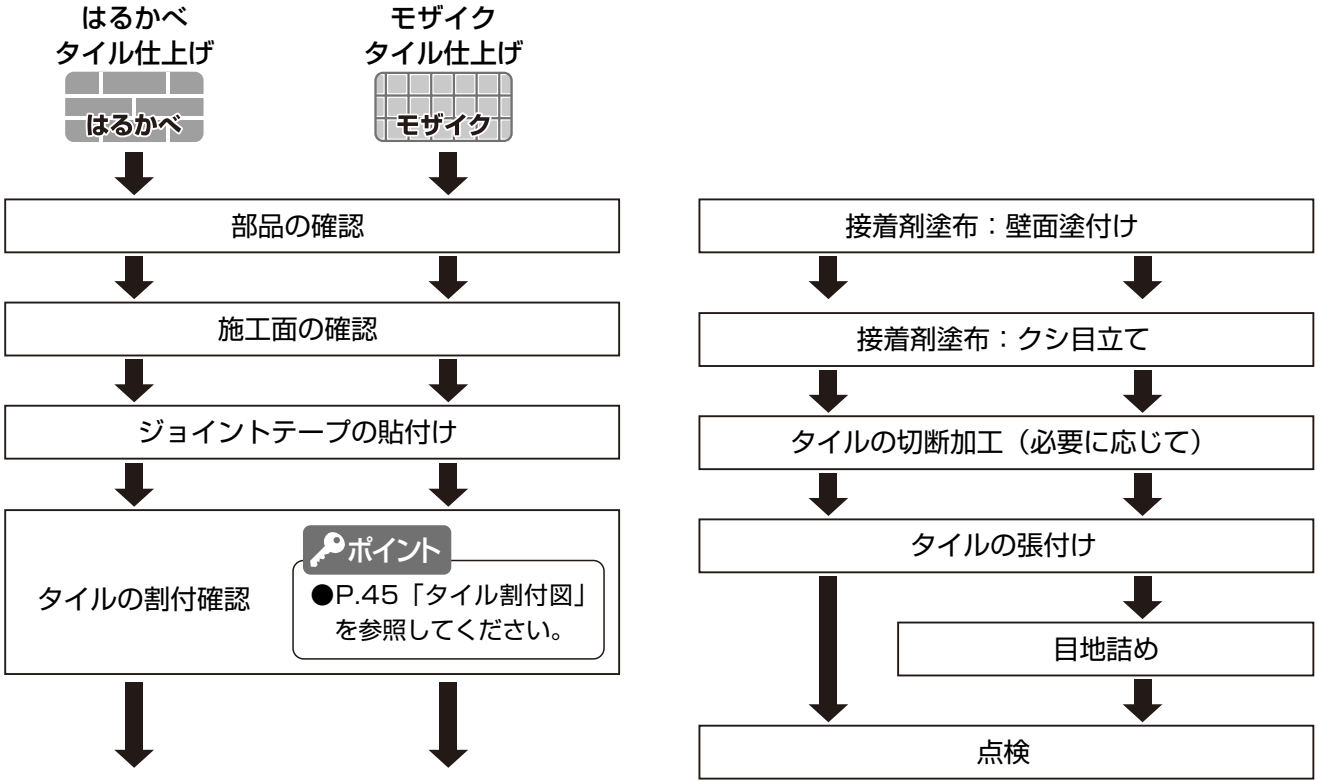
商品名	外装用弾性接着剤（V1LT）	タイル用目地材（SS）	接着剤用アダプターノズルセット	3mmクシ目ヘラ
材質	変成シリコーン系　1kgアルミパック	セメント系　0.5kgPEパック	PE	PE
形状				

商品名	3mmクシ目コテ	ジョイントテープ（幅100）	タイル用切断刃（105F）	
材質	ステンレス	ブチルゴム系	直径：φ105	
形状		100		

2. 施工フロー

ポイント

●仕上げ材には「はるかべタイル仕上げ」と「モザイクタイル仕上げ」があります。
仕上げ材の種類により、以下のフローにしたがってください。

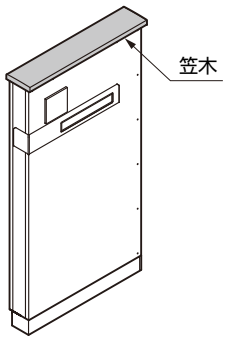


3. 施工面の確認

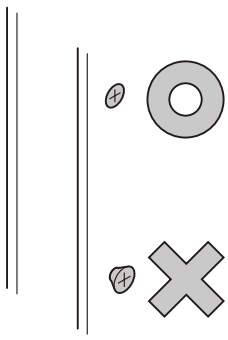
ポイント

●下地ボードが下記の条件になっているか確認してください。
確認できたら☑ を入れてください。

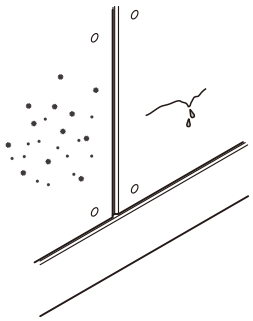
☐ 取付け部品の施工が完了しているか？
(笠木、土台水切りなど)



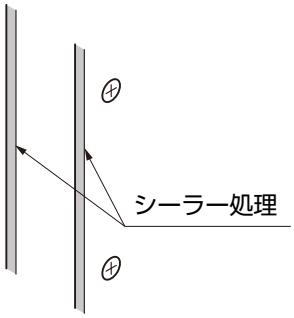
☐ 取付ネジ頭が突出していないか？



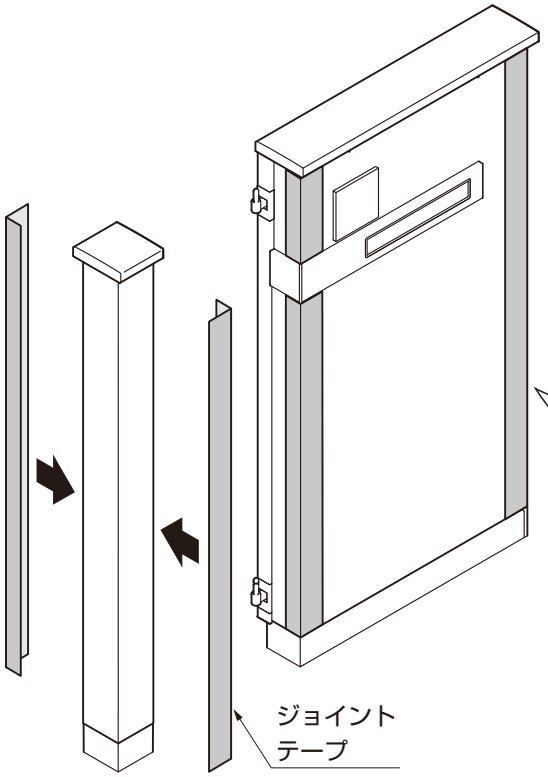
☐ 表面にゴミやホコリ、水濡れはないか？



☐ 切断小口面はシーラー処理されているか？
(現場切断した場合)



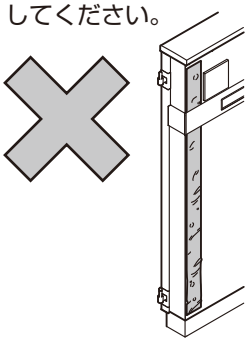
4. ジョイントテープの貼付け



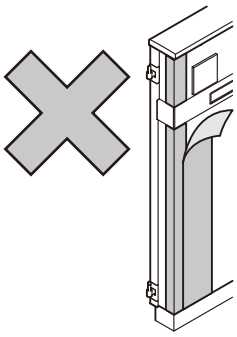
ポイント

●塗り仕上げを行う部分にはジョイントテープを貼付けないでください。

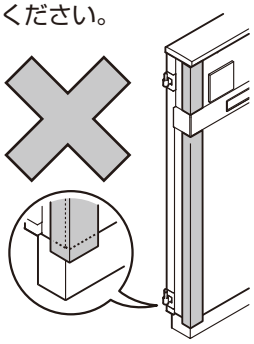
●貼付けの際は、シワや空気が入らないようにしてください。



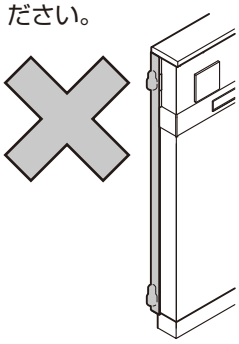
●テープ同士を重ねて貼付けしないでください。



●下地ボードからはみ出さないように貼付けてください。



●門扉金具取付部にはテープを貼らないでください。



●空気が入ってしまった場合は、カッターで切込みを入れて空気を抜いてください。

補 足

●あらかじめ高さに合わせてカットしておくと作業しやすいです。

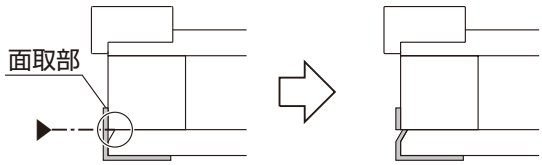
表4-1　テープ必要数量一覧

	100mm幅	
	必要長さ（m）	1420mm　カット枚数
門袖B型	5.70	4
120角門柱	2.85	2

※上記数量は、壁面全面をタイル仕上げする場合の数量です。タイル施工面積により、数量は増減します。

①ジョイントテープ裏面の離型紙をはがして、貼付けてください。

[ジョイントテープ貼付け位置]　　:テープ幅100mm



①カッターナイフでジョイントテープを柱の外面で切ります。

②ジョイントテープを面取部に十分押付けてください。

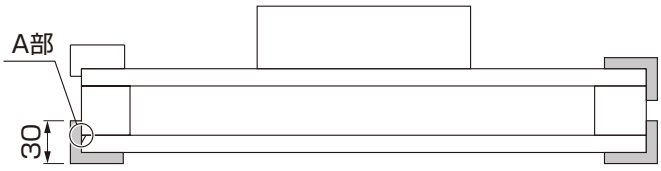


図4-1　門袖B型　門柱仕様

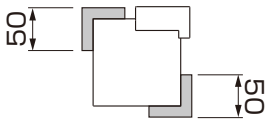


図4-2　120角門柱

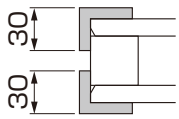
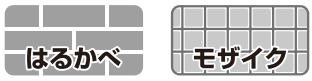


図4-3　門袖B型　独立仕様

5. タイルの割付確認



を施工の場合

①P.45「タイル割付図」を参照し、タイル張り位置を確認してください。

を施工の場合

①現場ごとにタイルの施工位置を決定し、タイル張り位置を確認してください。

6. タイルの張付け

6-1　接着剤、タイル張付け順序の確認

ポイント

●記載されている順番ごとに「接着剤の塗布」「タイルの張付け」を行なってください。

順番	❶		❷		❹	参照ページ
行程	接着剤塗布 タイル張付け	⇨	接着剤塗布 タイル張付け	・・・	接着剤塗布 タイル張付け	→「6-3 接着剤塗布」参照（P.40） →「6-5 タイルの張付け」参照（P.42）

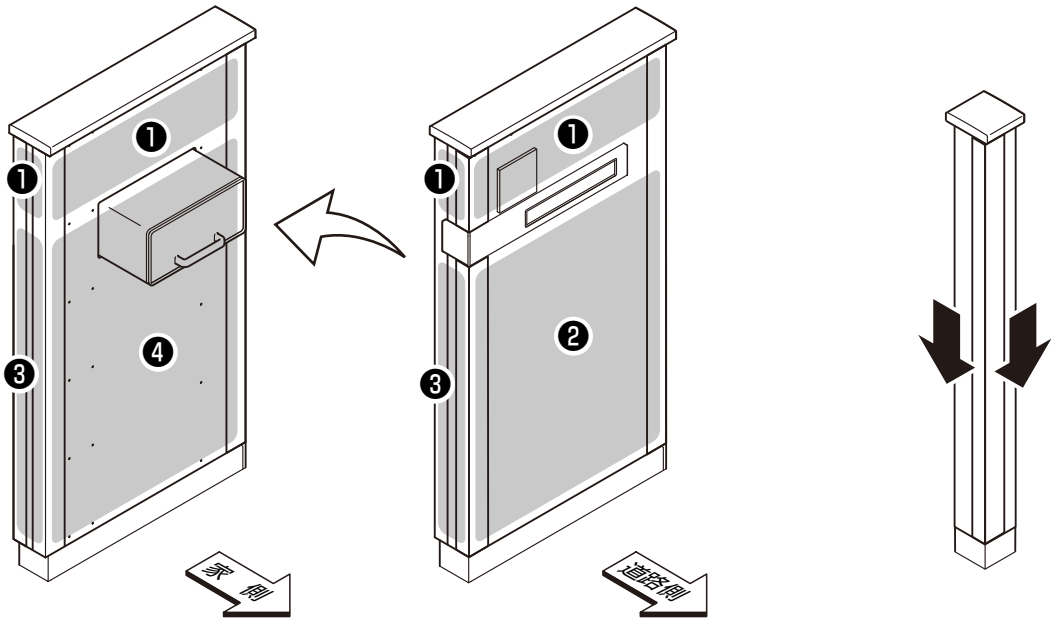


図6-1　門袖B型

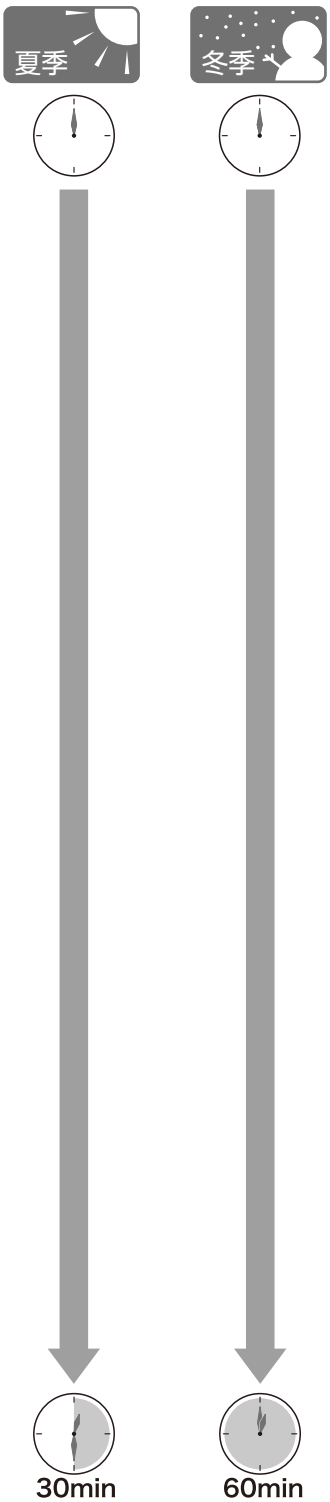
図6-2　120角門柱

①接着剤とタイルの張付け順序を確認してください。

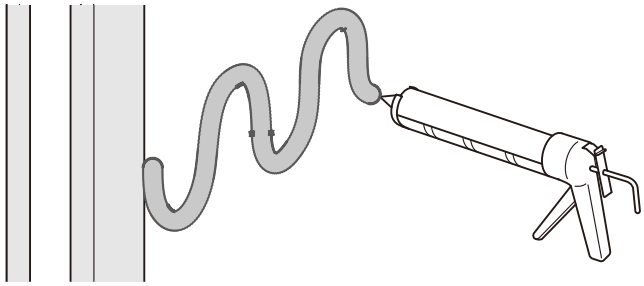
6-2　接着剤塗布～タイル張付け・目地直しまでの作業時間

ポイント

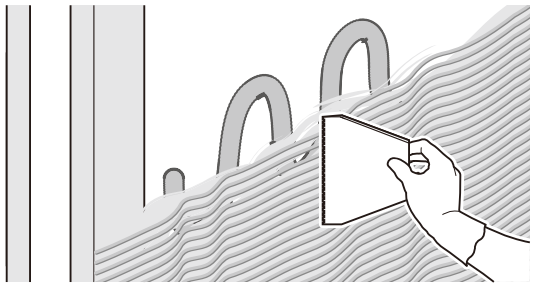
- 接着剤を塗布してからタイルの張付け・目地直しまでの作業は下記の時間内に行なってください。
- 作業時間は、環境条件により変動する場合があります。
- 冬季の作業は5℃以上で行なうようにしてください。5℃を下回る環境では接着剤の硬化が遅くなります。



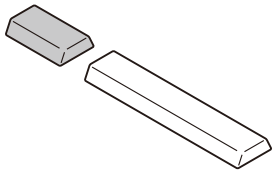
接着剤塗布：壁面塗付け



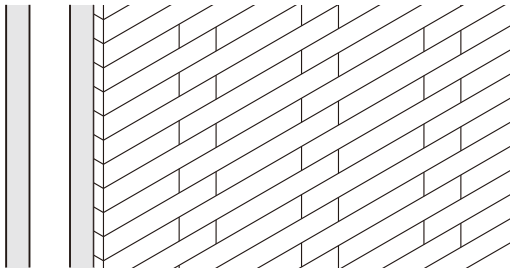
接着剤塗布：クシ目立て



タイルの切断加工（必要に応じて）



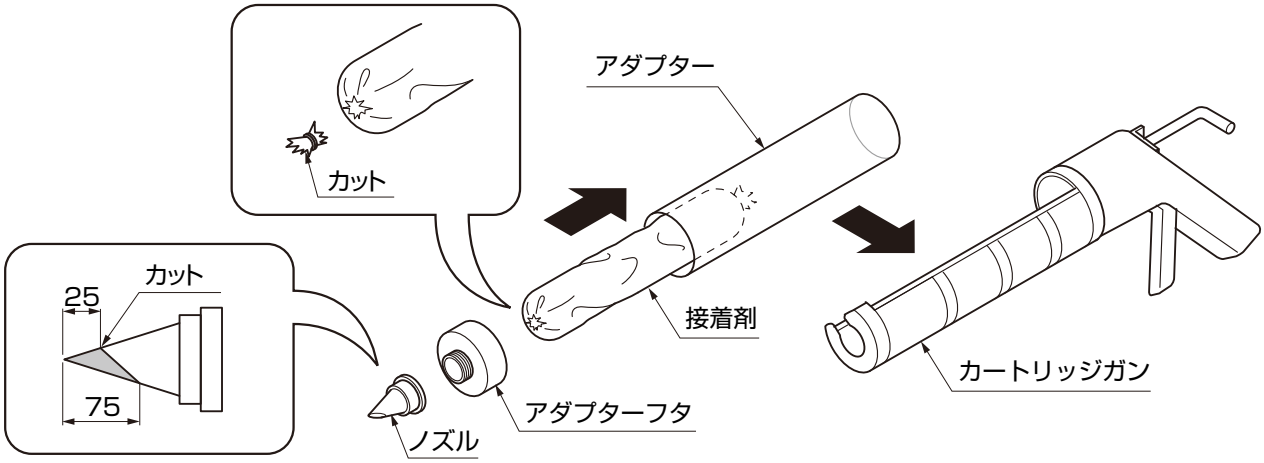
タイルの張付け・目地直し



6.（つづき）

6-3　接着剤塗布

（1）カートリッジガンの準備



①ノズルの先端をカットしてください。（上記寸法は目安です。）
②接着剤の先端をカットして、アダプターに挿入し、アダプターフタとノズルをはめてください。
③アダプターをカートリッジガンに取付けてください。

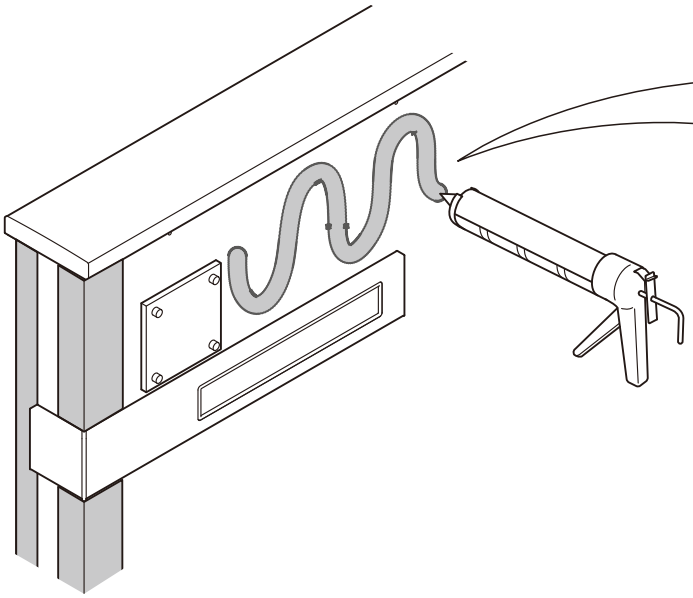
（2）壁面塗付け

注 意

●作業時には、手袋・長袖等を着用して皮膚を保護してください。
※本接着剤は体質によっては、まれにかぶれる場合があります。

ポイント

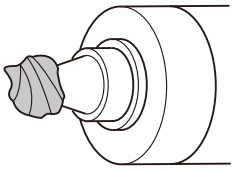
●接着剤塗布からタイルを張付け終えるまでの時間が、指定の作業時間内に納まるよう接着剤塗布の範囲を区切りながら作業を行なってください。



ポイント

●ビード状に塗布してください。
・使用量目安:0.75㎡/本（1.5kg/㎡）
●ノズルの開口面を壁面に密着させながら接着剤を塗布してください。

補 足



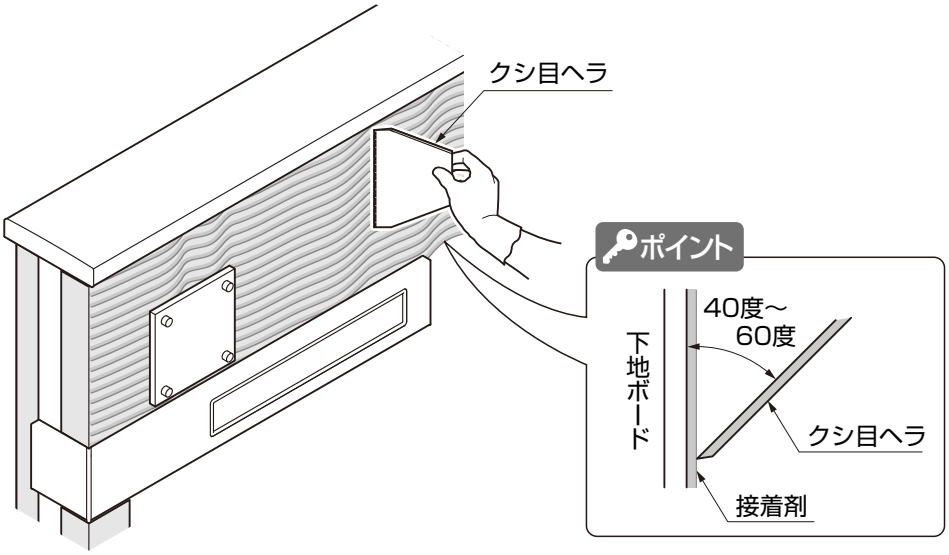
●作業を中断する場合、ノズル先端の接着剤をふき取り、ビニールテープなどで覆ってください。

①接着剤を下地ボードに塗布してください。

（3）クシ目立て

ポイント

●他部材に接着剤が付着した場合、すぐにふき取ってください。
●クシ目はかならず3mmのクシ目ヘラを使用してください。
　3mm以上のクシ目を立てると、接着剤の量が多くなり接着不良の原因となります。



①クシ目ヘラ（またはクシ目コテ）を使用し、接着剤をかき取るようにしてクシ目を立ててください。

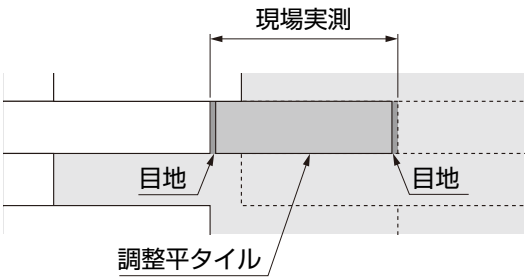
ポイント

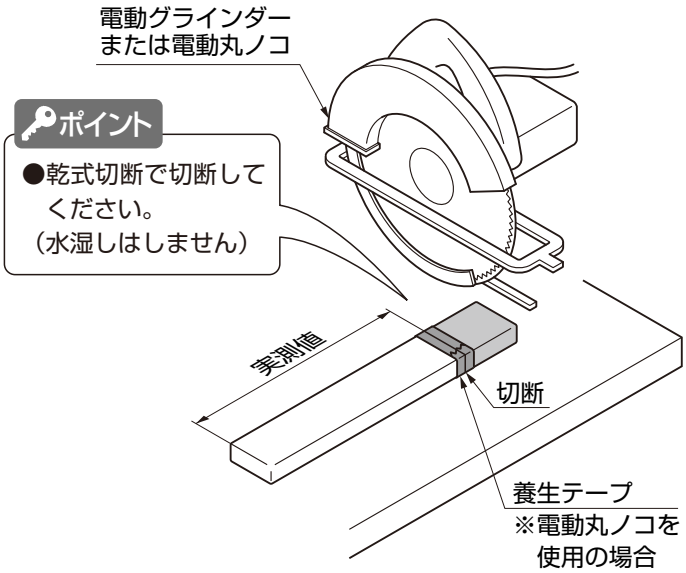
●かき取りはヘラを40度～60度程度に傾けて、下地が透けない程度にかき取ってください。

6-4　タイルの切断加工　※補修等で加工が必要な場合の作業です。

ポイント

●タイル同士の目地幅、他部材とのすき間（1～2mm）を含め実測してください。





注 意

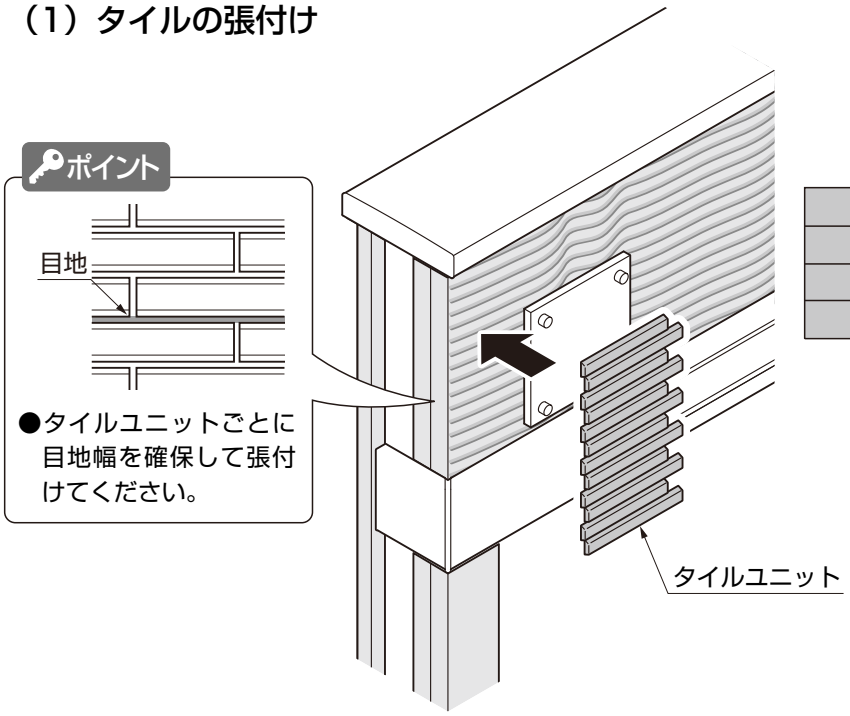
●タイルの切断面は鋭利になっているので触れないでください。ケガをするおそれがあります。

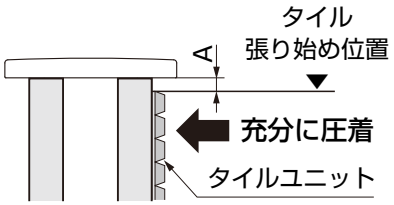
①加工が必要な場合はタイルを切断してください。

6.（つづき）

6-5 タイルの張付け

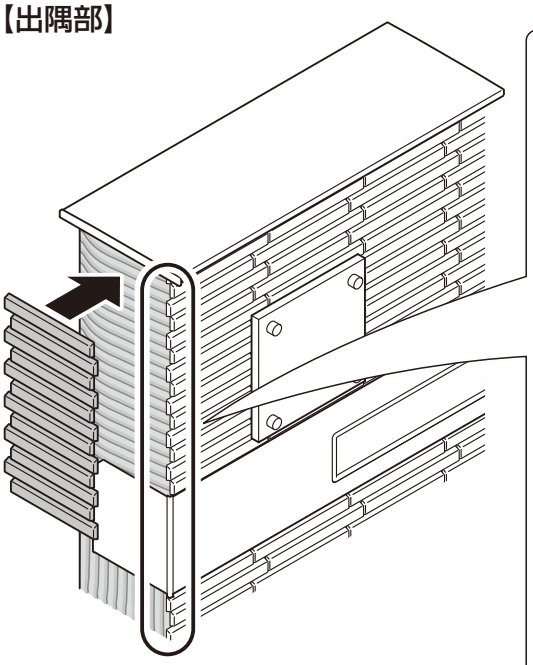
（1）タイルの張付け



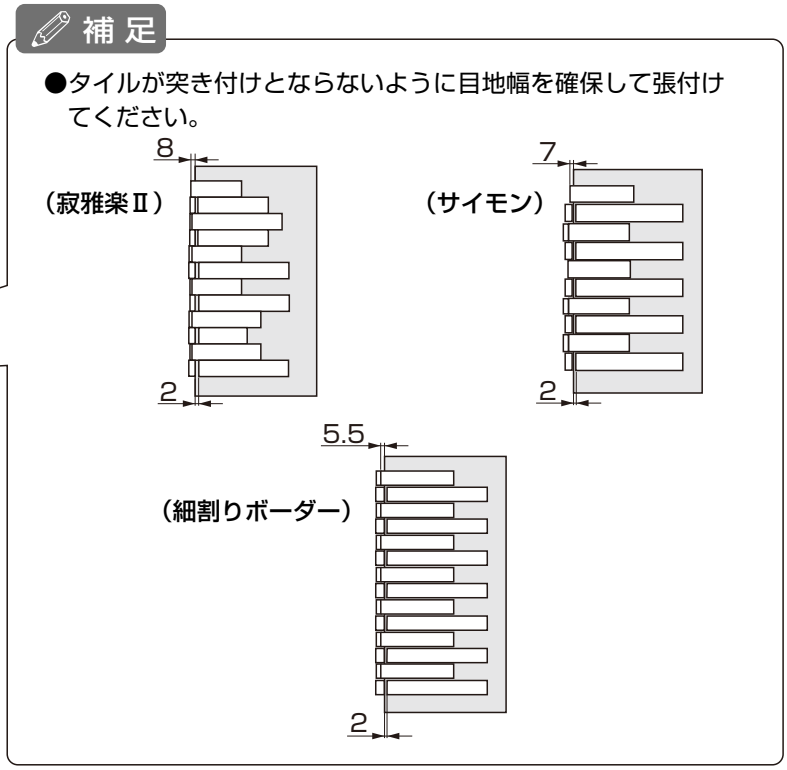


商品名	A
寂雅楽Ⅱ	3.0
細割ボーダー	0.0
サイモン	3.0

【出隅部】



①タイルユニットを張付けてください。



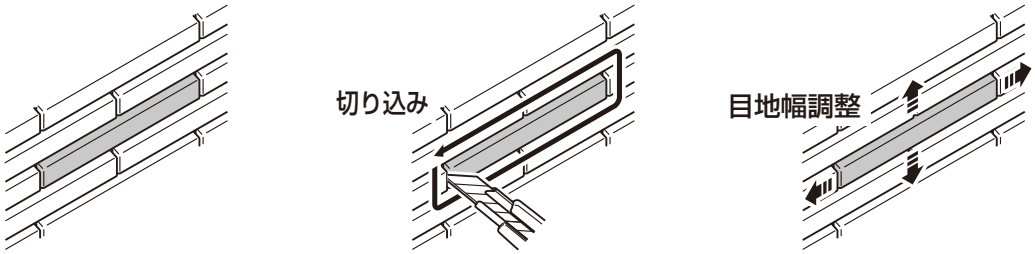
ポイント

- ●タイル目地部から接着剤がはみ出す場合は、接着剤の塗りすぎであるため再度クシ目ヘラ（コテ）でかき取ってください。
- ●下地ボードの面取部にも接着剤を十分に充填してください。
- ●やむを得ずタイル張りを中断する場合は、接着剤を塗布した範囲を張り終えてから中断してください。

(2) 目地直し

ポイント

●指定の作業時間内で作業を完了させてください。



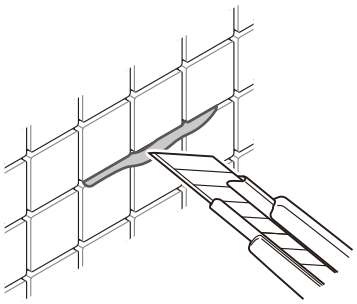
①タイル周囲の目地に切り込みを入れてください。
②タイルの目地幅を調整してください。

7. 目地詰め

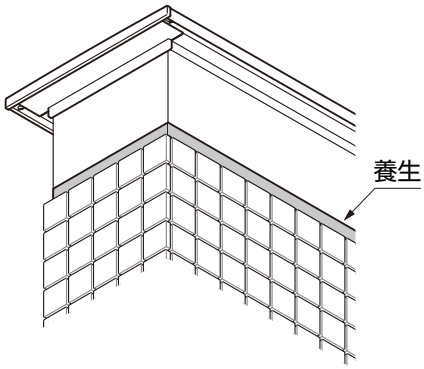
ポイント

●接着剤が硬化したことを確認の上、作業を行なってください。

7-1 接着剤の除去と養生

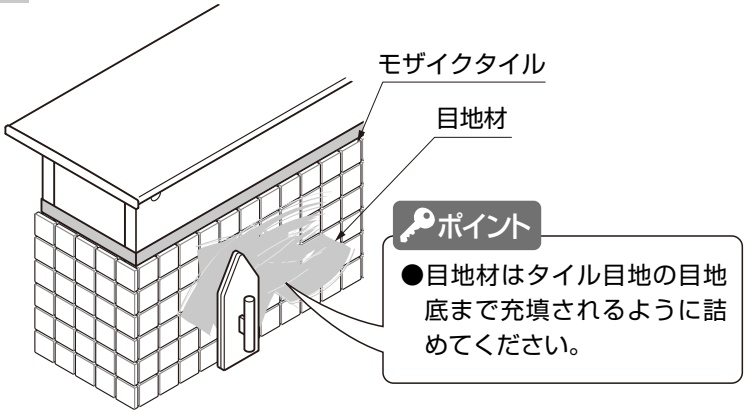


①タイル目地部の接着剤のはみ出しを除去してください。

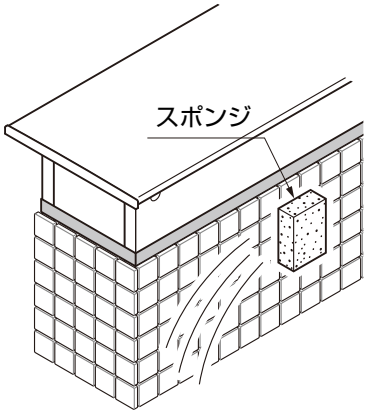


②目地詰めする周囲を養生してください。

7-2 目地詰め



①ゴムコテにて目地材を詰めてください。



②目地詰め後、スポンジで拭き仕上げをしてください。

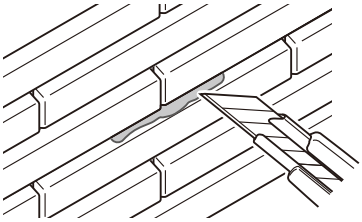
8. 点検・仕上げ

ポイント

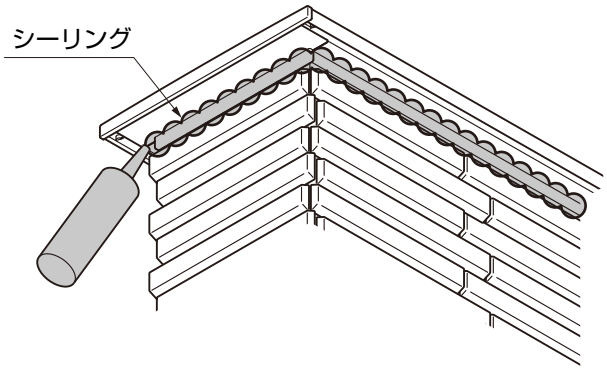
●接着剤・目地材が硬化後、仕上がりの点検を行なってください。

を施工の場合

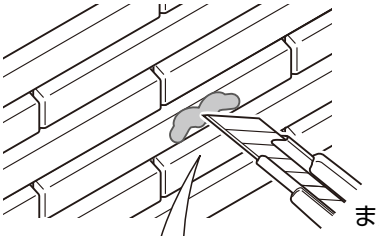
●タイル目地部からの接着剤のはみ出しを除去する



●必要箇所にシーリングする



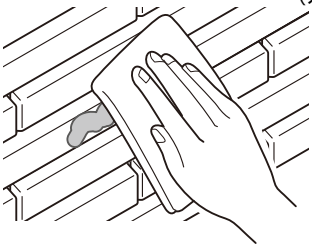
●表面に付着した接着剤を除去する



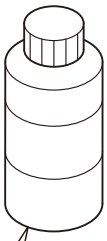
砂消しゴム

または

取れない場合は…



溶剤
（アセトン・シンナー）



ポイント

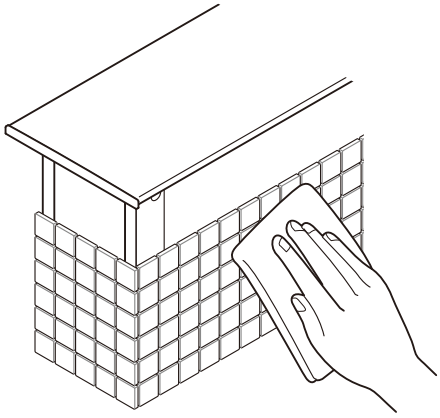
●表面をキズ付けないようにしてください。

ポイント

●他部材に使用する際は、事前に変色・変質確認をしてください。
●溶剤の取扱いには十分に注意してください。

を施工の場合

●タイル表面の汚れをふき取る



ポイント

●ウエスなどで乾拭きしてください。

9.タイル割付図

ポイント

●施工場所に有余地があればタイルを事前に仮並べしてください。
●表示説明
(A (5)) : ユニット識別番号Aを上または下から5段分にカット
(A (上5)) : ユニット識別番号Aを上から5段分にカット　(A (下5)) : ユニット識別番号Aを下から5段分にカット
(A (上2-5)) : ユニット識別番号Aを上から2−5段分にカット　無表記 : 上段のユニットと同じ
※タイルユニットをカットする際は、タイルの配列 (目地位置) に注意してください。(下記イラストを参照してください。)
※2Bポストの場合はタイルのカットが必要になります。詳細は補足「2Bポスト時のタイル割付け」を参照してください。

9-1　寂雅楽Ⅱ

(1) 独立仕様

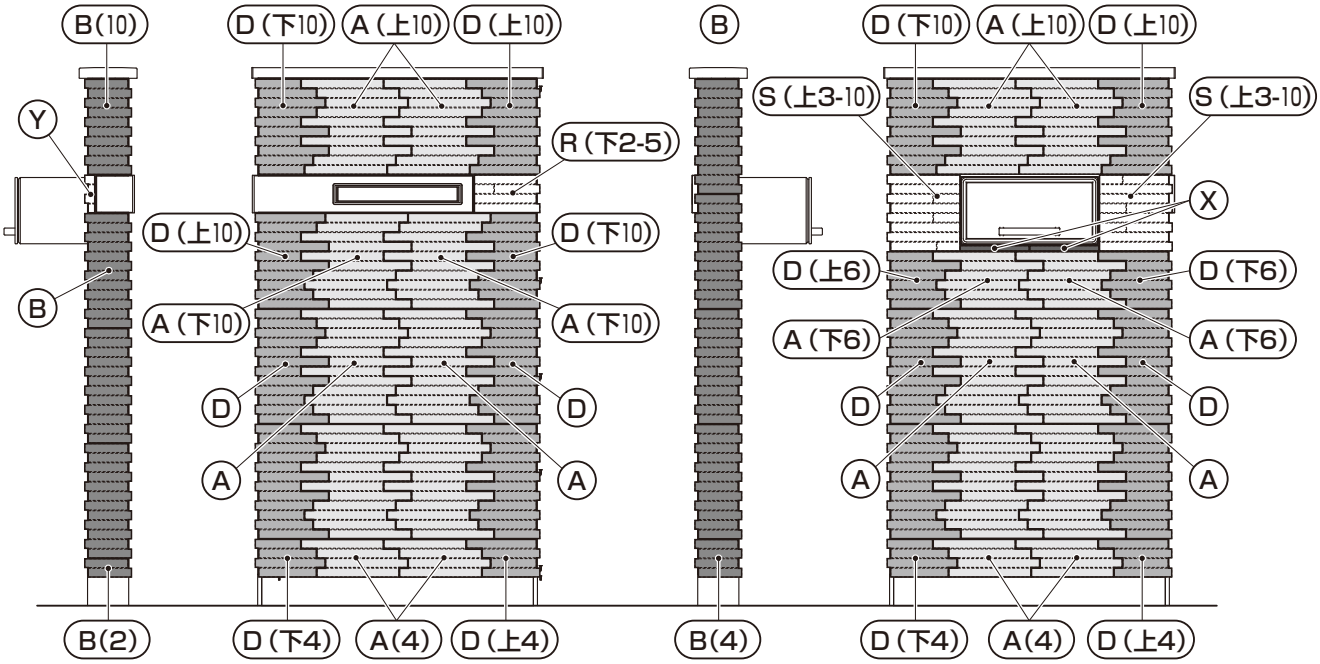
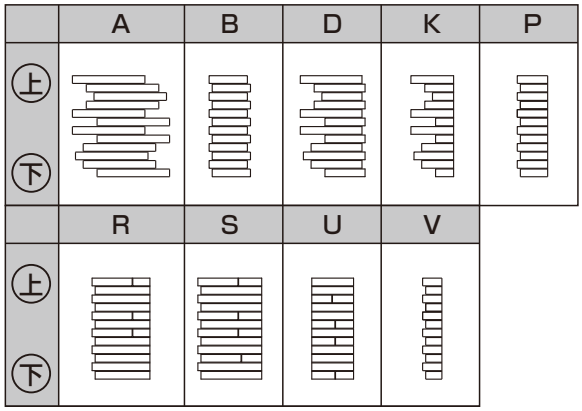


図9-1　門袖

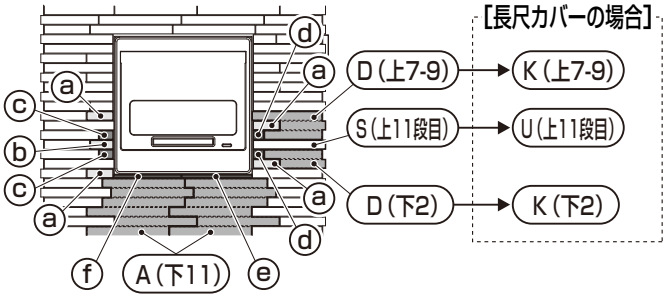
表9-1　寂雅楽Ⅱのタイルユニット形状図



※A (上□) 、A (下□) 、A (上□-○) は上記ユニット形状図を参考にカットしてください。
(P.45〜P.47共通)

補 足

【2Bポスト時のタイル割付け】
●下記を参考にタイルをカット、割付けをしてください。



ⓐ : L=75mm　4本　ⓓ : L=30mm　2本
ⓑ : L=65mm　1本　ⓔ : L=201mm×H=9mm　1本
ⓒ : L=40mm　2本　ⓕ : L=198mm×H=9mm　1本

9.（つづき）

ポイント

●施工場所に有余地があればタイルを事前に仮並べしてください。

●表示説明

A (5)：ユニット識別番号Aを上または下から5段分にカット

A (上5)：ユニット識別番号Aを上から5段分にカット　　A (下5)：ユニット識別番号Aを下から5段分にカット

A (上2-5)：ユニット識別番号Aを上から2−5段分にカット　　無表記：上段のユニットと同じ

※タイルユニットをカットする際は、タイルの配列（目地位置）に注意してください。（下記イラストを参照してください。）

※2Bポストの場合はタイルのカットが必要になります。詳細はP.45補足「2Bポスト時のタイル割付け」を参照してください。

（2）門柱仕様　調整金具カバー

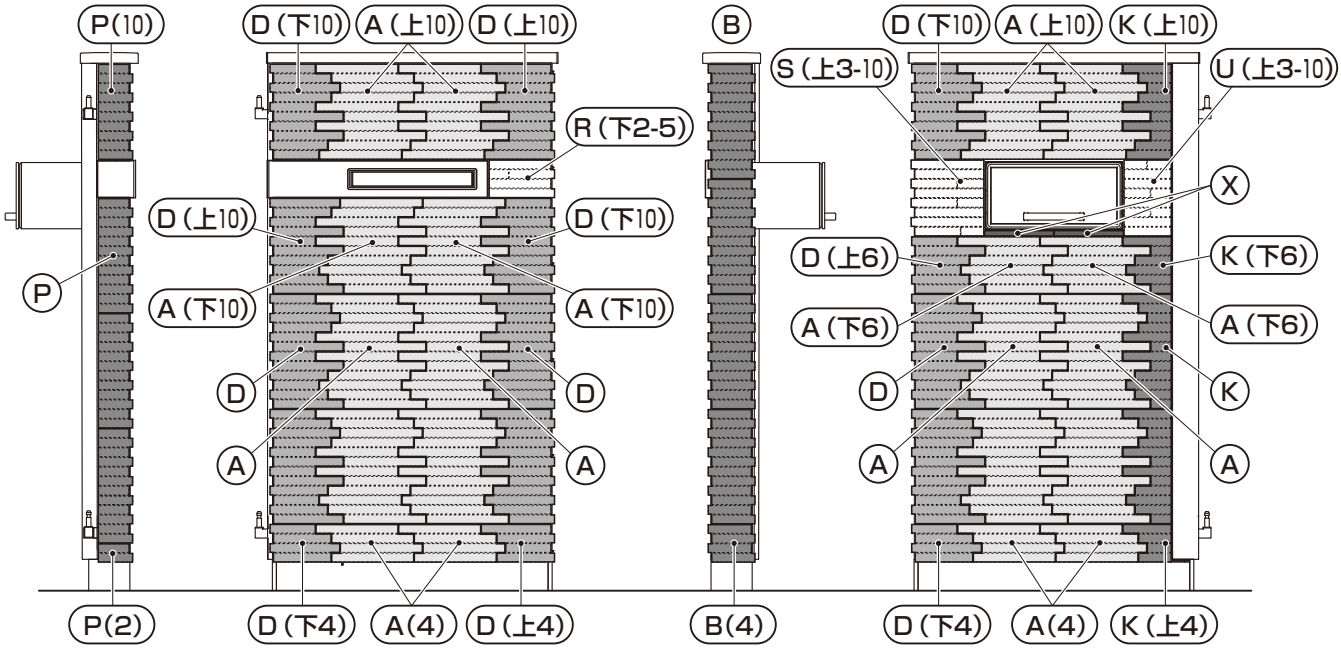


図9-2　門袖

※この面ではユニット識別番号Aより先にKを施工してください。

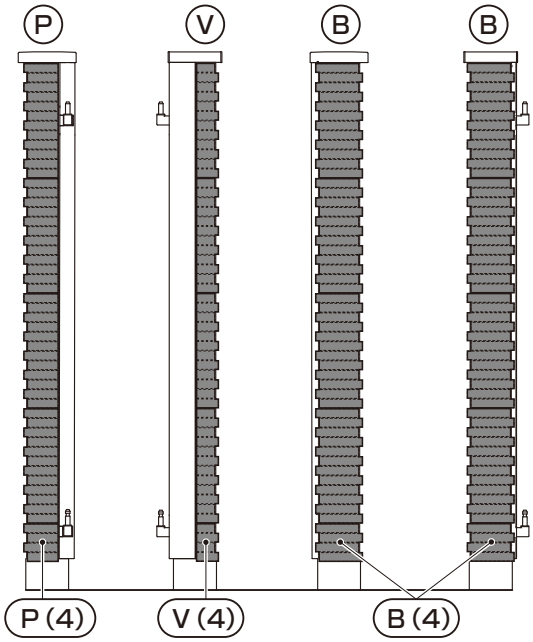


図9-3　120角門柱

ポイント

●施工場所に有余地があればタイルを事前に仮並べしてください。

●表示説明

A (5)：ユニット識別番号Aを上または下から5段分にカット

A (上5)：ユニット識別番号Aを上から5段分にカット　　A (下5)：ユニット識別番号Aを下から5段分にカット

A (上2-5)：ユニット識別番号Aを上から2−5段分にカット　　無表記：上段のユニットと同じ

※タイルユニットをカットする際は、タイルの配列（目地位置）に注意してください。（下記イラストを参照してください。）

※2Bポストの場合はタイルのカットが必要になります。詳細はP.45補足「2Bポスト時のタイル割付け」を参照してください。

（3）門柱仕様　ピースカバー（H14門扉吊り仕様の場合）

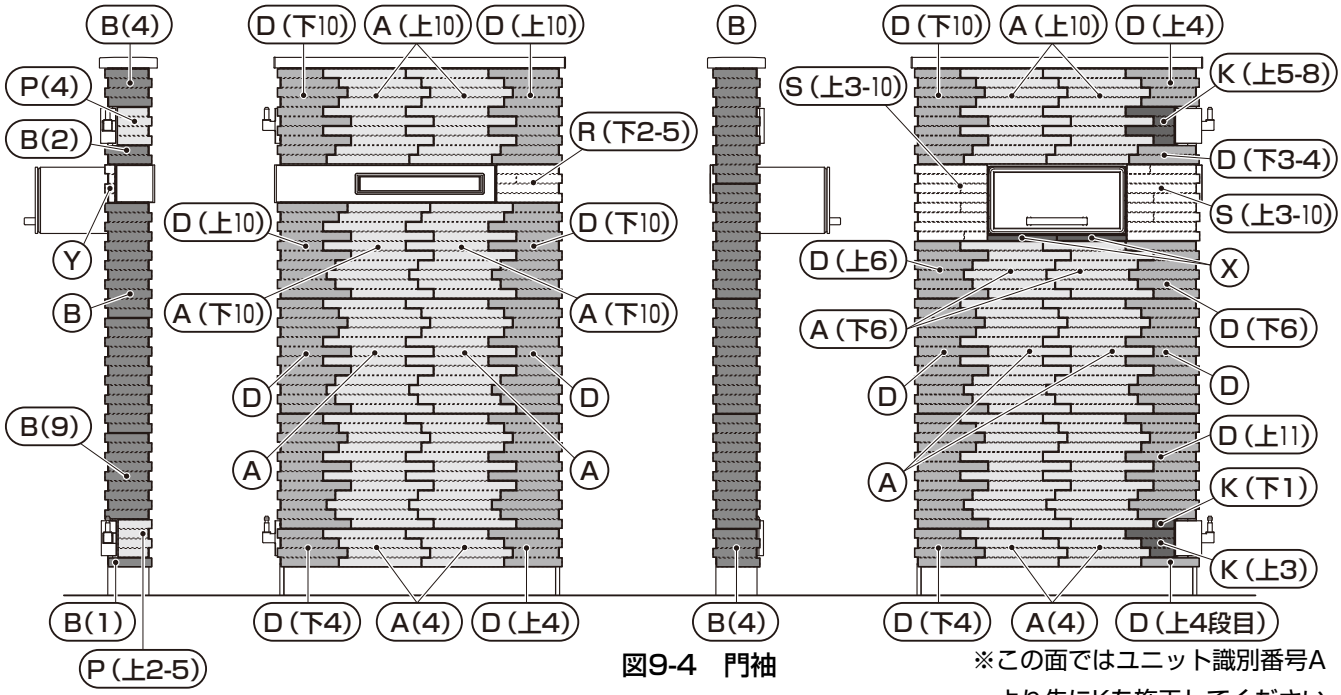


図9-4　門袖

※この面ではユニット識別番号Aより先にKを施工してください。

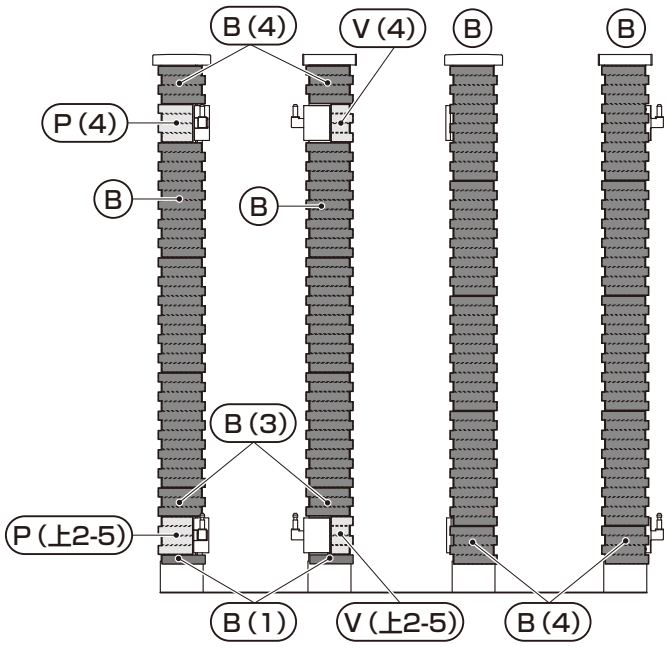


図9-5　120角門柱

補足

●H12門扉吊り仕様の場合は下記の図を参考にしてください。

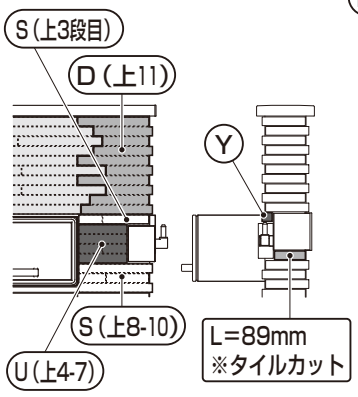


図9-6

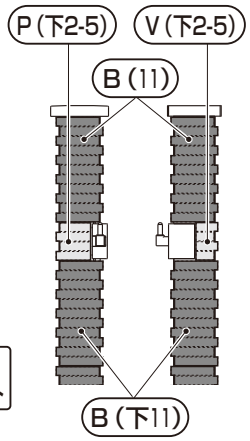


図9-7

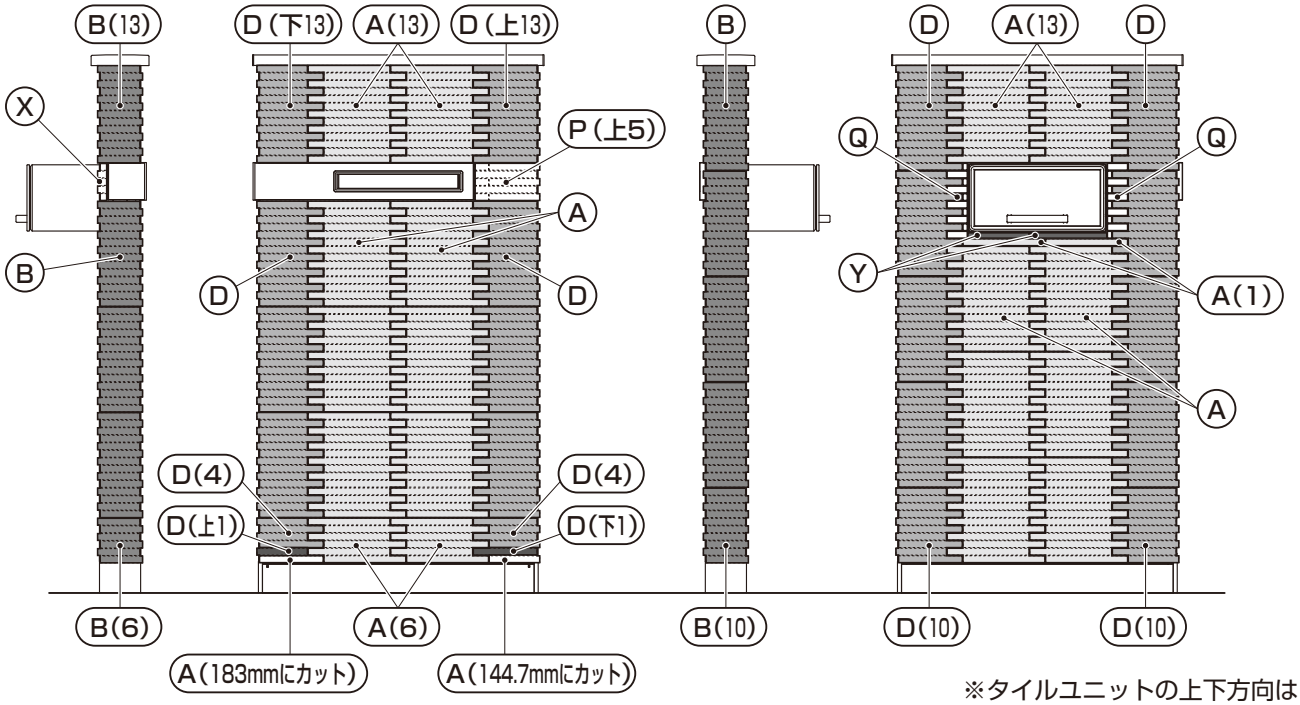
9.（つづき）

ポイント

●施工場所に有余地があればタイルを事前に仮並べしてください。
●表示説明
A（5）：ユニット識別番号Aを上または下から5段分にカット
A（上5）：ユニット識別番号Aを上から5段分にカット　A（下5）：ユニット識別番号Aを下から5段分にカット
A（上2-5）：ユニット識別番号Aを上から2−5段分にカット　無表記：上段のユニットと同じ
※タイルユニットをカットする際は、タイルの配列（目地位置）に注意してください。（下記イラストを参照してください。）
※2Bポストの場合はタイルのカットが必要になります。詳細は補足「2Bポスト時のタイル割付け」を参照してください。

9-2　細割ボーダー

（1）独立仕様

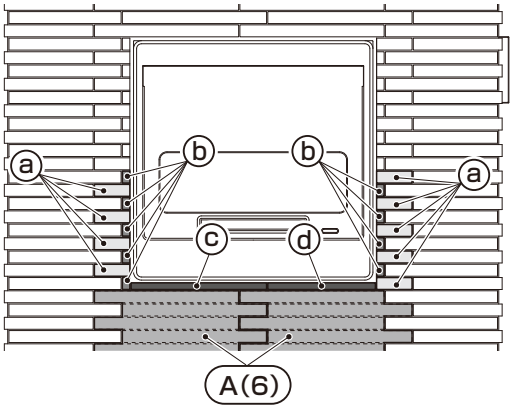


※タイルユニットの上下方向は
P.34を参照してください。

図9-8　門袖

補足

【2Bポスト時のタイル割付け】
●下記を参考にタイルをカット、割付けをしてください。



ⓐ：L＝58mm　9本
ⓑ：L＝12mm　9本
ⓒ：L＝221mm×H＝11mm　1本
ⓓ：L＝175mm×H＝11mm　1本

ポイント

●施工場所に有余地があればタイルを事前に仮並べしてください。
●表示説明

A（5）：ユニット識別番号Aを上または下から5段分にカット
A（上5）：ユニット識別番号Aを上から5段分にカット　　A（下5）：ユニット識別番号Aを下から5段分にカット
A（上2-5）：ユニット識別番号Aを上から2−5段分にカット　　無表記：上段のユニットと同じ

※タイルユニットをカットする際は、タイルの配列（目地位置）に注意してください。（下記イラストを参照してください。）
※2Bポストの場合はタイルのカットが必要になります。詳細はP.48補足「2Bポスト時のタイル割付け」を参照してください。

（2）門柱仕様　調整金具カバー

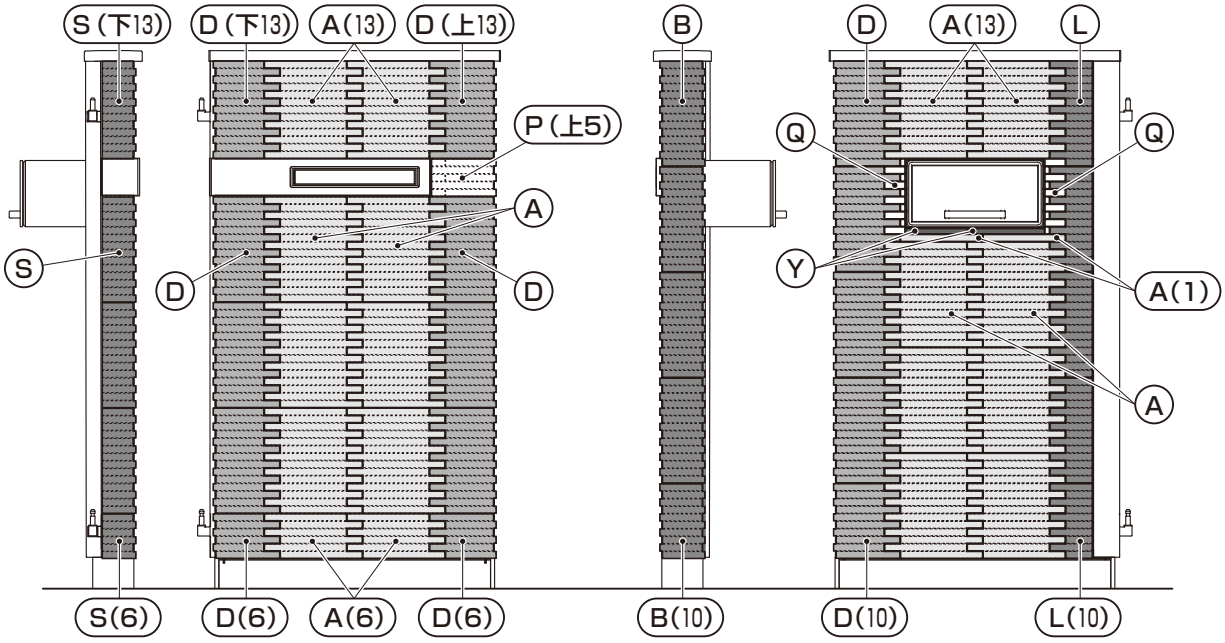


図9-9　門袖

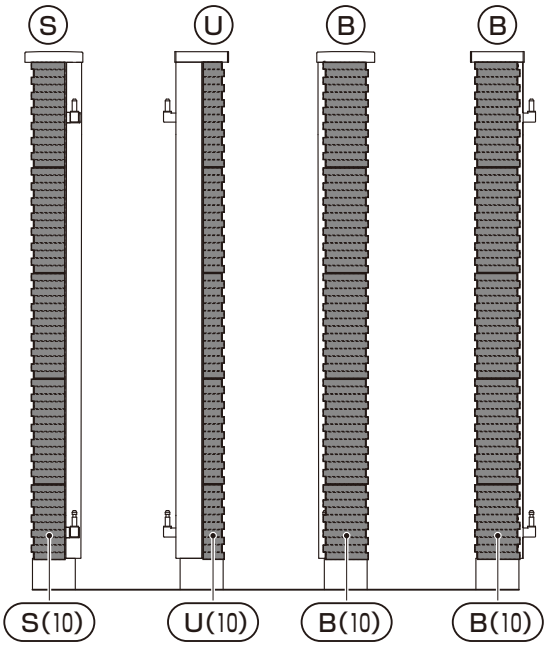


図9-10　120角門柱

※タイルユニットの上下方向はP.34を参照してください。

9.（つづき）

ポイント

●施工場所に有余地があればタイルを事前に仮並べしてください。
●表示説明
A (5)：ユニット識別番号Aを上または下から5段分にカット
A (上5)：ユニット識別番号Aを上から5段分にカット　A (下5)：ユニット識別番号Aを下から5段分にカット
A (上2-5)：ユニット識別番号Aを上から2−5段分にカット　無表記：上段のユニットと同じ
※タイルユニットをカットする際は、タイルの配列（目地位置）に注意してください。（下記イラストを参照してください。）
※2Bポストの場合はタイルのカットが必要になります。詳細はP.48補足「2Bポスト時のタイル割付け」を参照してください。

（3）門柱仕様　ピースカバー（H14門扉吊り仕様の場合）

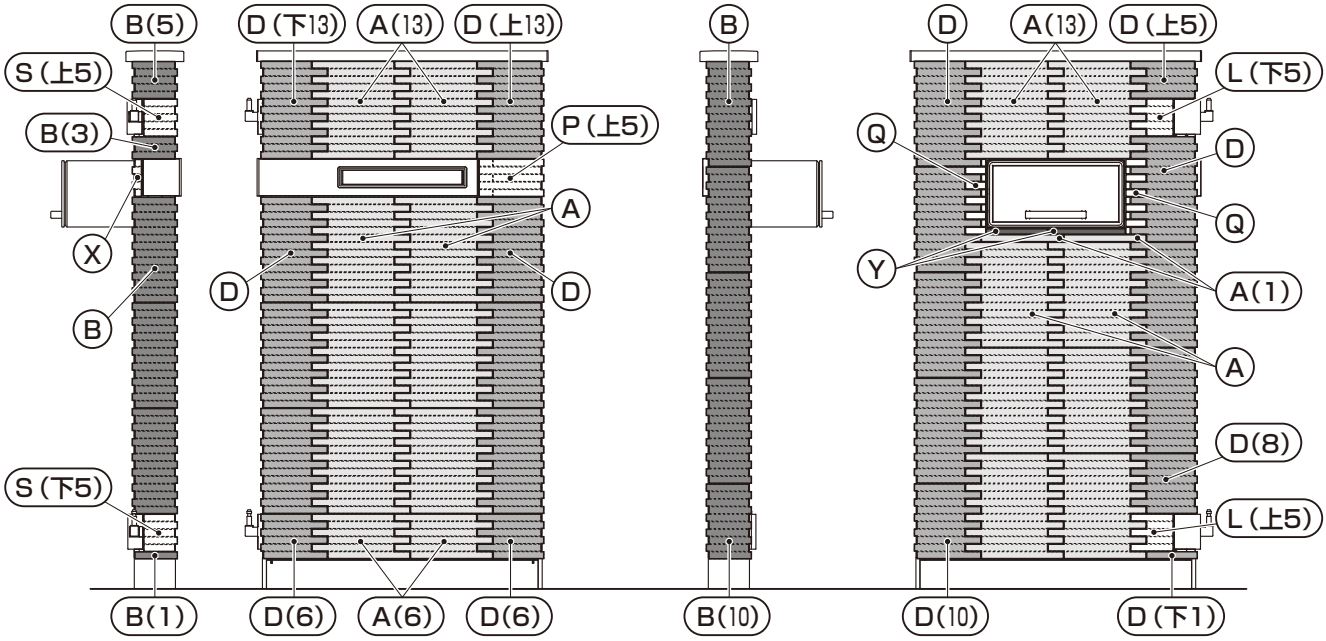


図9-11　門袖

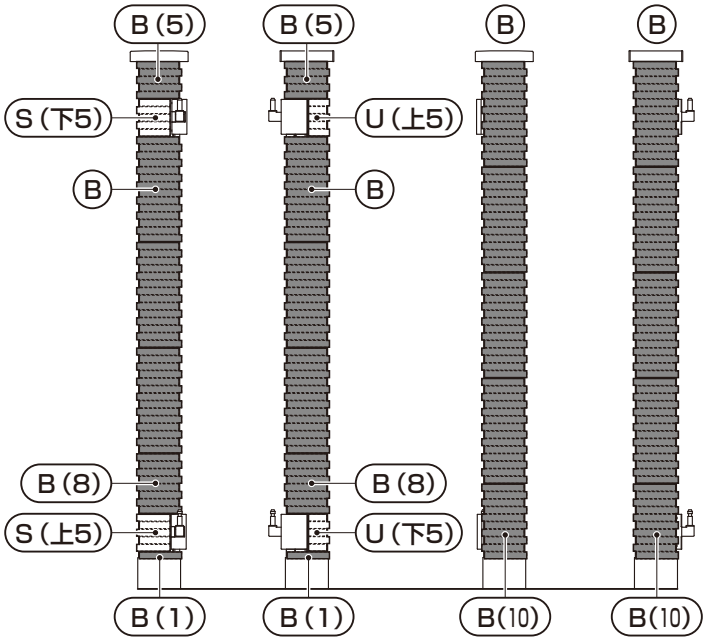


図9-12　120角門柱

※タイルユニットの上下方向はP.34を参照してください。

補 足

●H12門扉吊り仕様の場合は下記の図を参考にしてください。

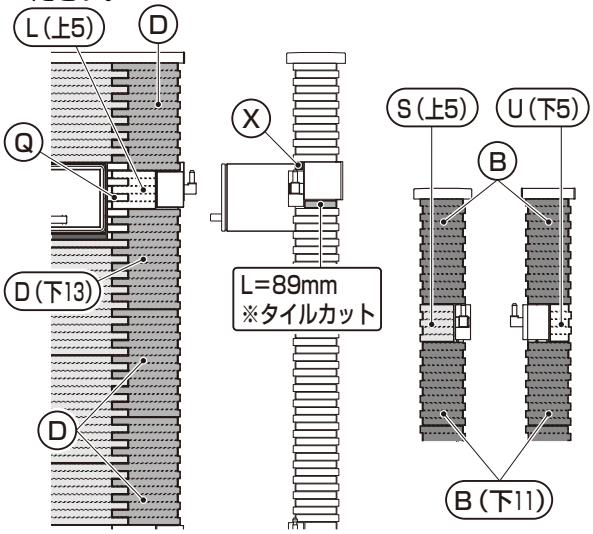


図9-13　図9-14

ポイント

●施工場所に有余地があればタイルを事前に仮並べしてください。
●表示説明

A (5)：ユニット識別番号Aを上または下から5段分にカット
A (上5)：ユニット識別番号Aを上から5段分にカット　A (下5)：ユニット識別番号Aを下から5段分にカット
A (上2-5)：ユニット識別番号Aを上から2−5段分にカット　無表記：上段のユニットと同じ

※タイルユニットをカットする際は、タイルの配列（目地位置）に注意してください。（下記イラストを参照してください。）
※2Bポストの場合はタイルのカットが必要になります。詳細は補足「2Bポスト時のタイル割付け」を参照してください。

9-3　サイモン

（1）独立仕様

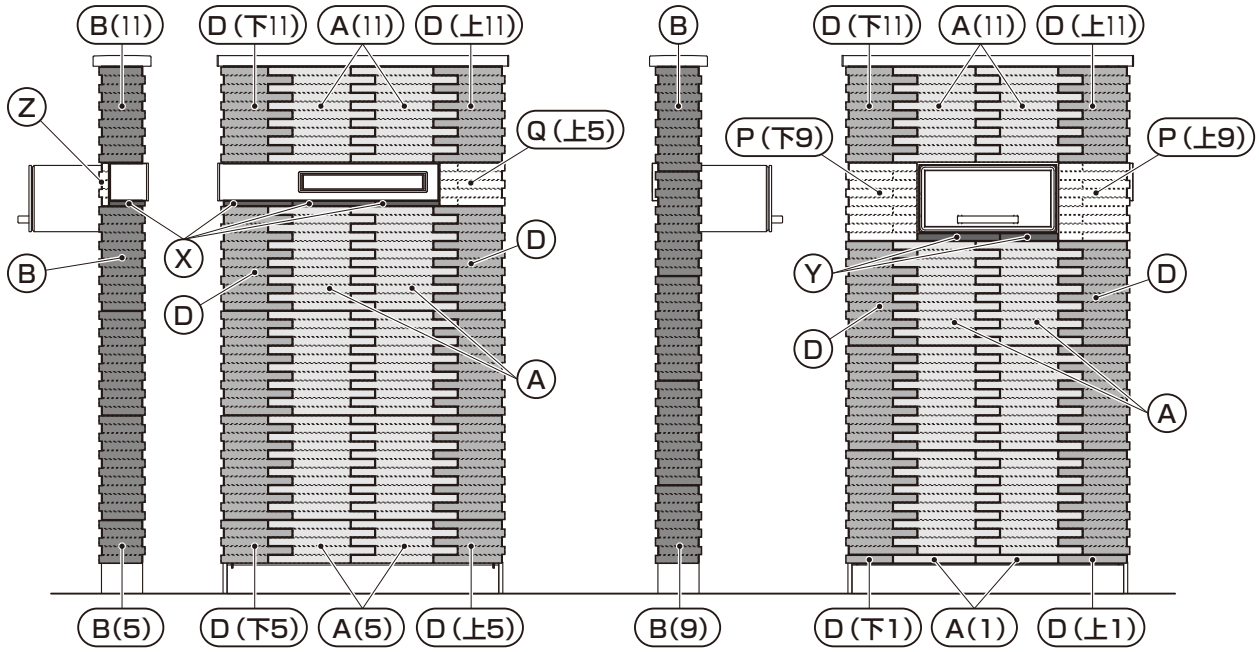
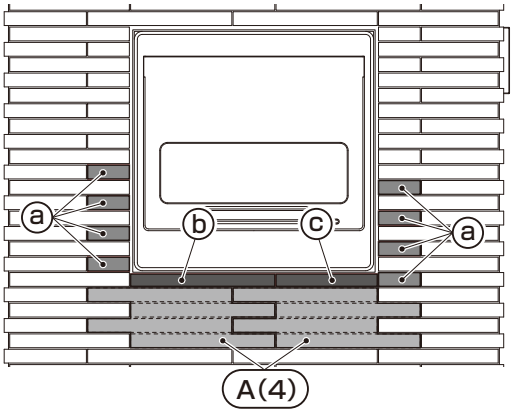


図9-15　門袖

※タイルユニットの上下方向はP.35を参照してください。

補 足

【2Bポスト時のタイル割付け】
●下記を参考にタイルをカット、割付けをしてください。



ⓐ：L=68mm　8本
ⓑ：L=235mm×H=20mm　1本
ⓒ：L=165mm×H=20mm　1本

9.（つづき）

ポイント

●施工場所に有余地があればタイルを事前に仮並べしてください。
●表示説明

(A (5))：ユニット識別番号Aを上または下から5段分にカット
(A (上5))：ユニット識別番号Aを上から5段分にカット　(A (下5))：ユニット識別番号Aを下から5段分にカット
(A (上2-5))：ユニット識別番号Aを上から2−5段分にカット　無表記：上段のユニットと同じ

※タイルユニットをカットする際は、タイルの配列（目地位置）に注意してください。（下記イラストを参照してください。）
※2Bポストの場合はタイルのカットが必要になります。詳細はP.51補足「2Bポスト時のタイル割付け」を参照してください。

（2）門柱仕様　調整金具カバー

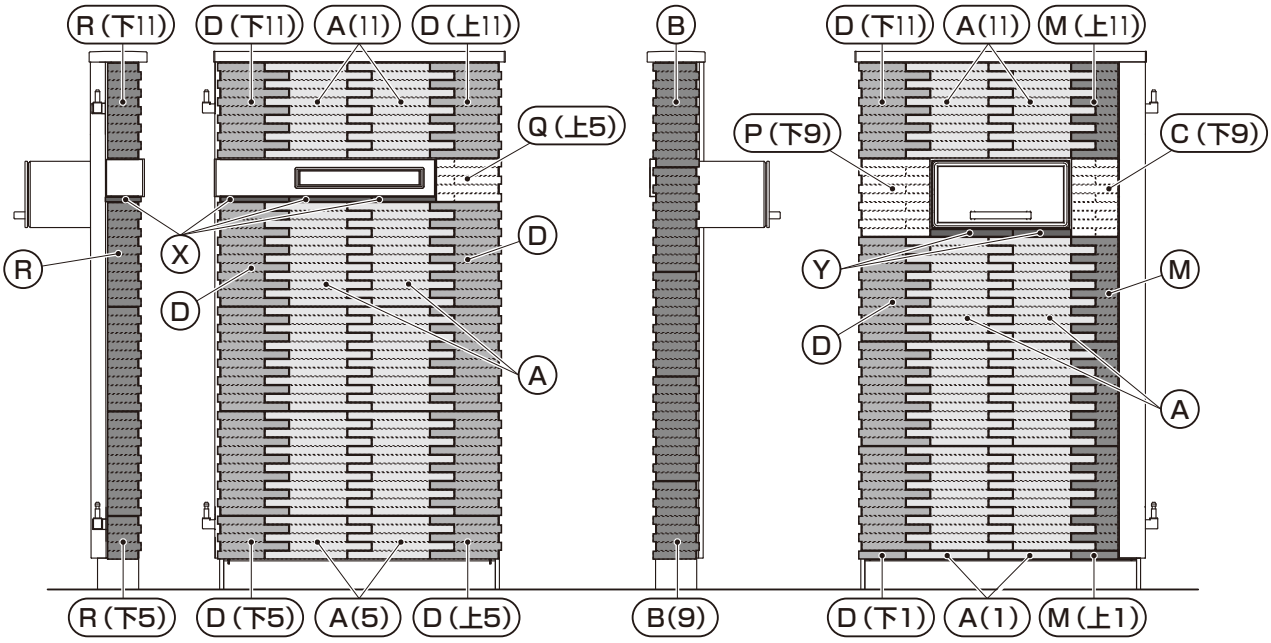


図9-16　門袖

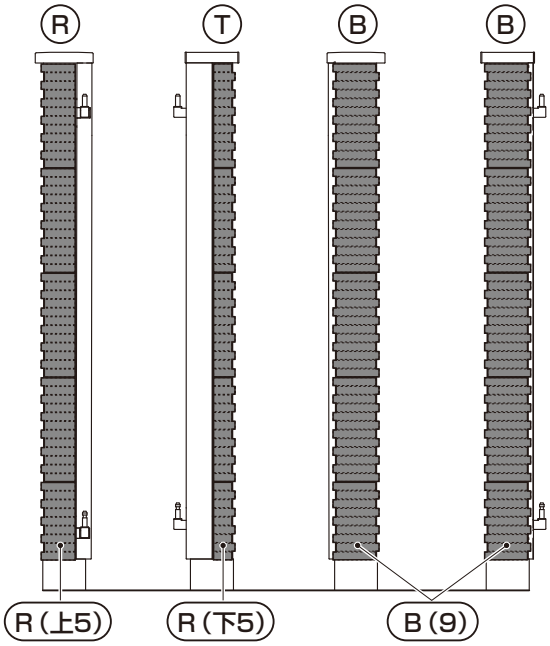


図9-17　120角門柱

※タイルユニットの上下方向はP.35を参照してください。

ポイント

●施工場所に有余地があればタイルを事前に仮並べしてください。

●表示説明

(A (5)) : ユニット識別番号Aを上または下から5段分にカット

(A (上5)) : ユニット識別番号Aを上から5段分にカット　(A (下5)) : ユニット識別番号Aを下から5段分にカット

(A (上2-5)) : ユニット識別番号Aを上から2−5段分にカット　無表記 : 上段のユニットと同じ

※タイルユニットをカットする際は、タイルの配列（目地位置）に注意してください。（下記イラストを参照してください。）

※2Bポストの場合はタイルのカットが必要になります。詳細はP.51補足「2Bポスト時のタイル割付け」を参照してください。

（3）門柱仕様　ピースカバー（H14門扉吊り仕様の場合）

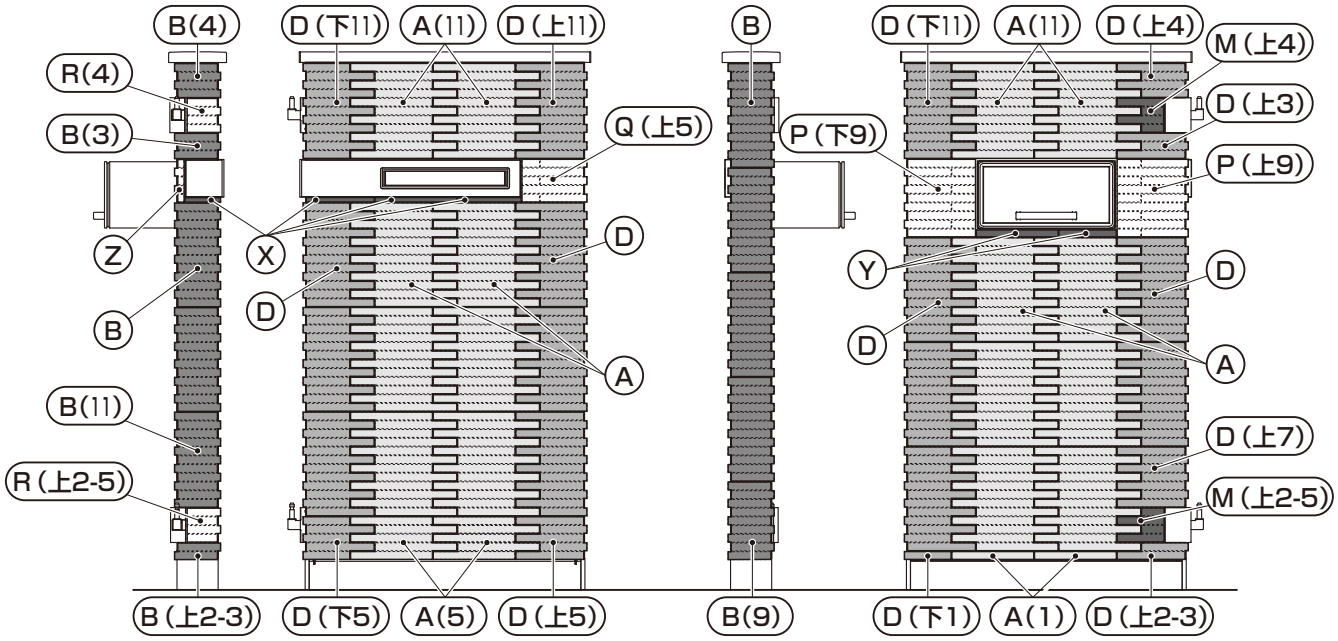


図9-18　門袖

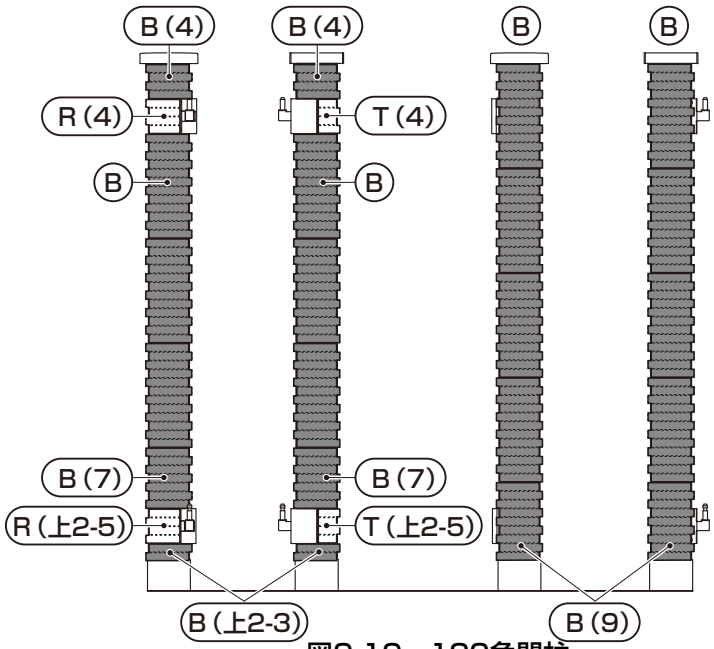


図9-19　120角門柱

※タイルユニットの上下方向はP.35を参照してください。

補足

●H12門扉吊り仕様の場合は下記の図を参考にしてください。

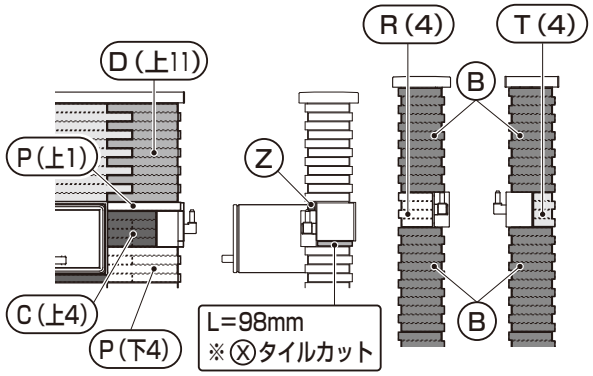


図9-20　図9-21

7　仕上げの施工:塗り仕上げ

1-1　塗り仕上げの工法および推奨材料

※工法は本取説の内容にしたがってください。
※推奨材料は「エスケー化研（株）ベルアート」です。

⚠注意

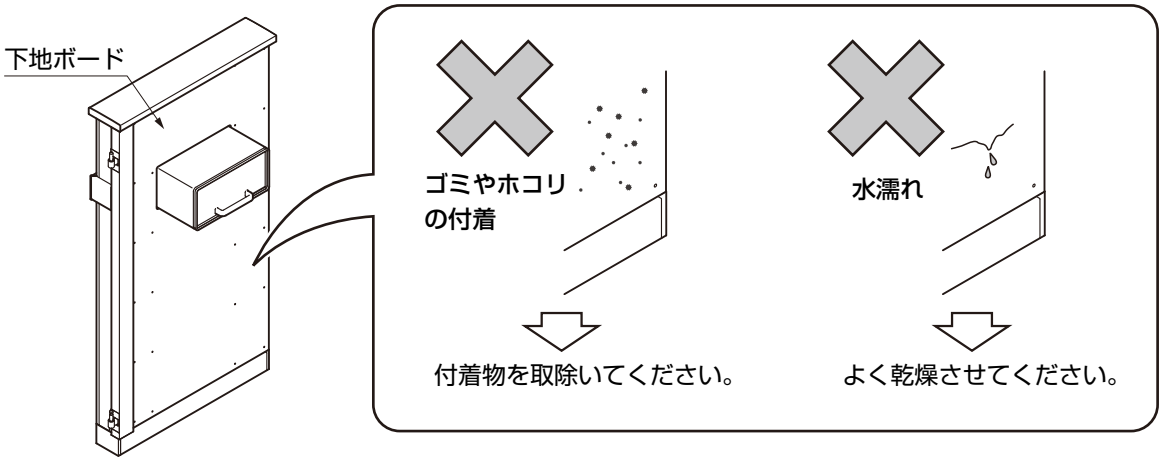
●推奨材料以外は使用しないでください。コーナー部などにクラックが発生するおそれがあります。

1-2　塗り仕上げの手順

※使用する材料については、すべて現場手配となります。使用材料は下記のとおりです。

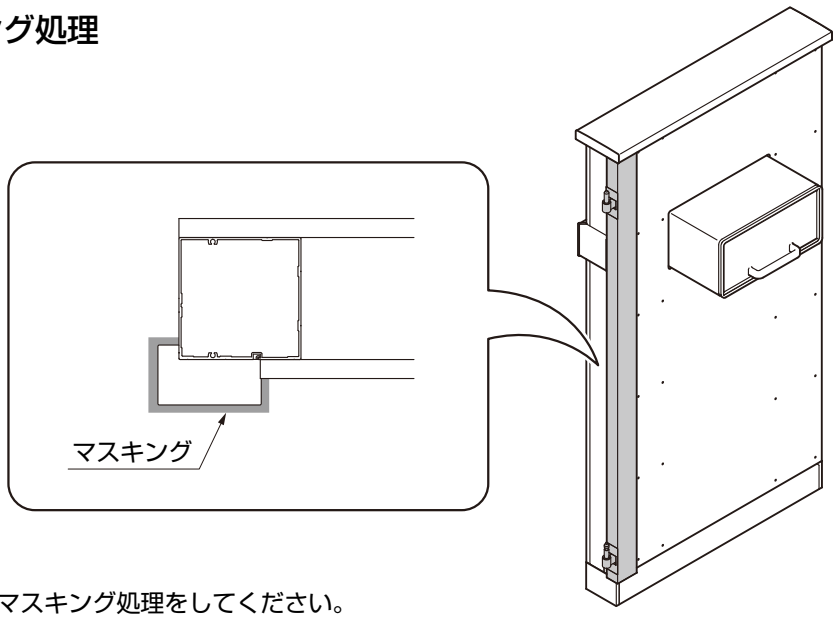
●ジョイント部処理：SK弾性コークN（SK弾性プライマー同梱）
　　SKハードクロス＃50
●ベルアート塗り　：SK水性弾性シーラー
　　ベルアート

（1）施工面の確認



①下地ボードの表面を確認してください。

（2）マスキング処理



①図を参照し、マスキング処理をしてください。

（3）塗り仕上げ　※ベルアート塗りの詳細については「エスケー化研（株）」の施工要領書をご覧ください。

ジョイント部およびアルミ形材部等の処理

①SK弾性コークNプライマーの塗布
塗布場所：アルミ形材柱90角・50×90、調整金具ピースカバー下地
下地ボード固定ネジ頭

↓

②SK弾性コークNの塗布
塗布場所：アルミ形材柱90角・50×90、調整金具ピースカバー下地
下地ボード固定ネジ頭

↓

③SKハードクロス＃50の貼付け
貼付け場所：アルミ形材と下地ボードのジョイント部

↓

④SK弾性コークNの塗布
塗布場所：アルミ形材柱90角・50×90、調整金具ピースカバー下地
下地ボード固定ネジ頭

→

ベルアート塗り（※）

⑤SK水性弾性シーラーの塗布

↓

⑥ベルアートの塗布（基層塗り）

↓

⑦ベルアートの塗布（模様塗り）

↓

完了

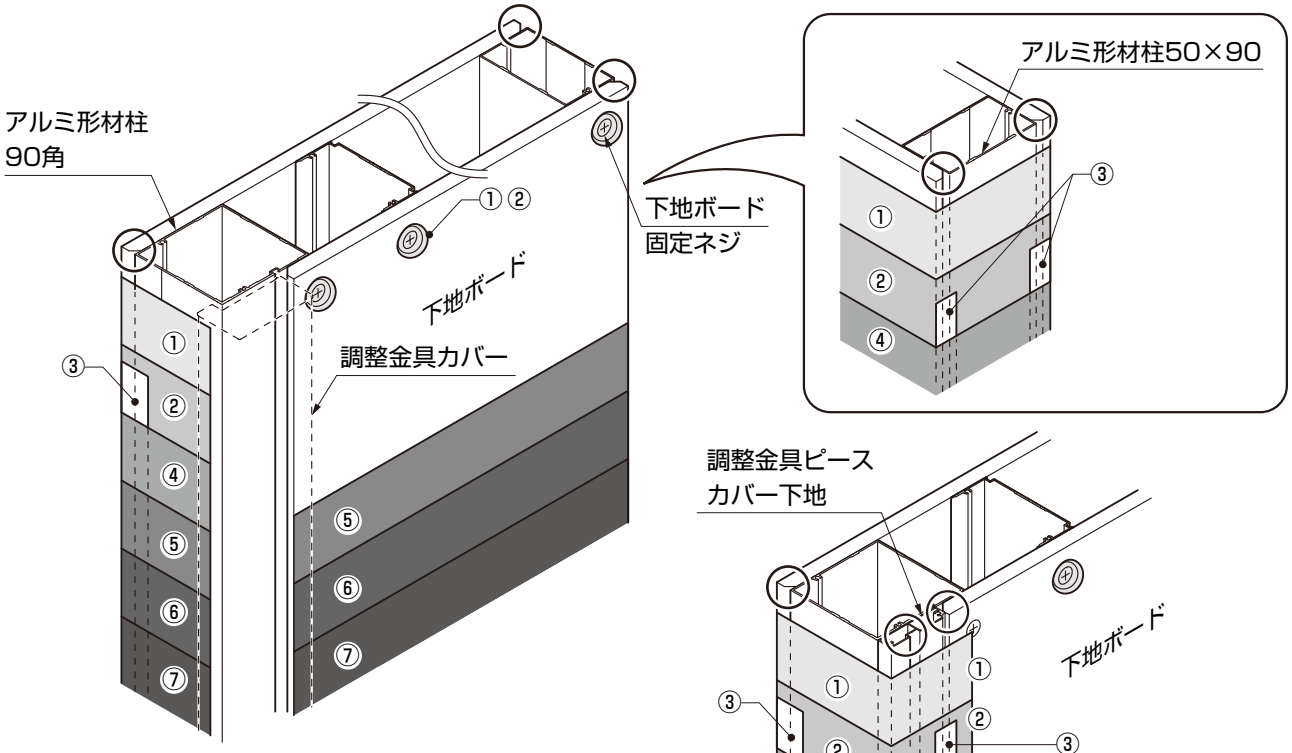


図7-1　調整金具カバーの場合

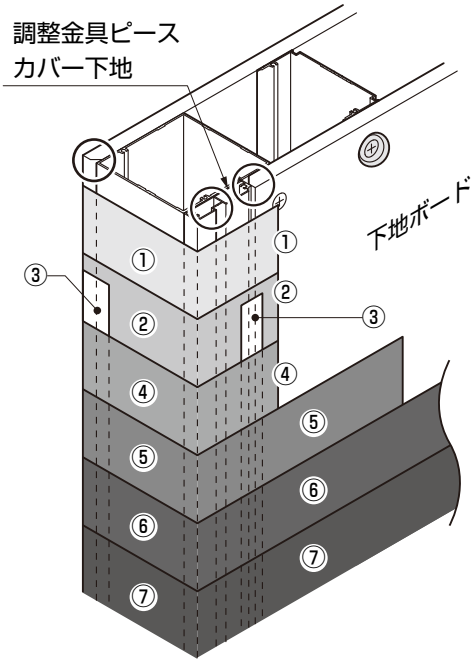


図7-2　調整金具ピースカバーの場合

ポイント

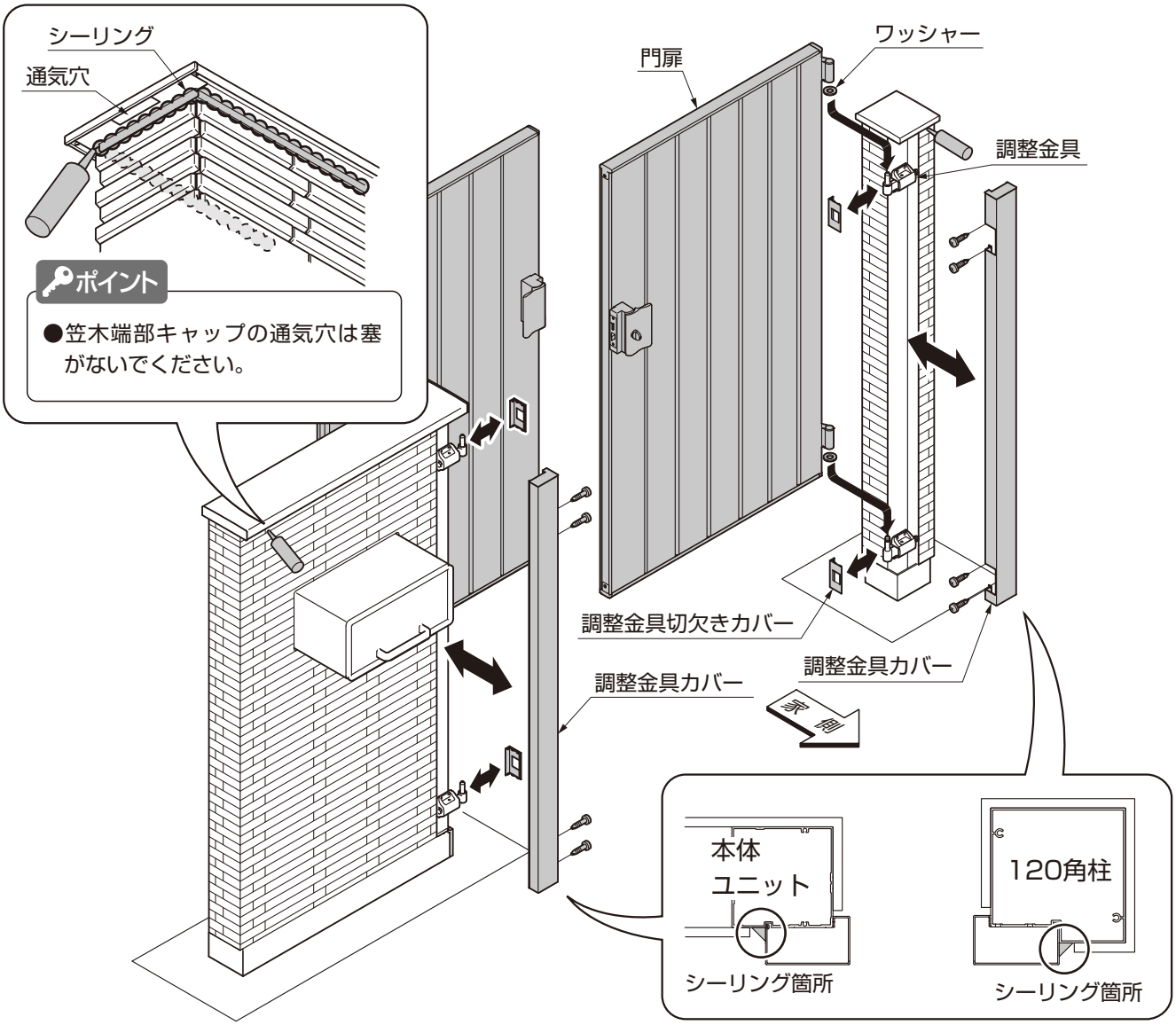
●イラストの〇部には「①SK弾性コークNプライマー」と「②SK弾性コークN」を十分に塗布してください。

①塗り材を施工してください。

8　門扉の吊込み　※門柱仕様の場合の作業です。

ポイント

●タイルの施工が完了した後に、門扉の吊込みを行なってください。
●門扉の吊込み手順、調整金具の調整方法は、門扉に付属の取付説明書をご確認ください。



①本体ユニット、120角門柱の調整金具カバー（あるいは調整金具ピースカバー）を外してください。
②ワッシャーを調整金具に取付け、門扉を吊り込んでください。
③調整金具を調整してください。
④①で外したカバーを取付けてください。
⑤調整金具カバー、笠木ベースの指定の箇所をシーリングしてください。

ポイント

●メンテナンス時に調整金具カバーを外す場合は、シーリングをカットし、メンテナンス後に再度シーリングしてください。

取説コード
B078

JZZ626839C
201405A_1039
201512D_1049